

株式会社 KIT



 **RADENデザイナー**

テクニカル集 画面編

はじめに

この度は弊社ソフトウェア『RADEN』をご使用いただき、誠にありがとうございます。
本書は、RADEN を使用する方々を対象にした実用書です。RADEN の実用的な使い方を説明します。

著作権および商標について

RADEN は、(株) KIT の登録商標です。

Microsoft および Windows は、米国マイクロソフト社の米国、および その他の国における登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標、または登録商標です。

本書の一部または全部を許可なく複製、複写、転載することを禁止します。

Copyright (c) 2016 KIT Co.,Ltd. All Rights Reserved.

❖画面

目次

画面表示	1
1. 文字を表示する	1
2. ボタンを表示する	2
3. 画像を表示する	3
4. 音を鳴らす	4
5. カレンダーを表示する	5
6. カレンダーに前後の月を表示する	6
7. 進捗状況を表示する（プログレスバー）	7
8. 背景画像を設定する	9
9. リストのヘッダーを変更する	10
10. リストに表示する日時の形式を変更する	11
11. リストに表示する数値の形式を変更する	12
12. リストの欄を結合して表示する	13
13. リストのテキスト位置を指定する	14
14. リストの列幅を自動調整する	15
15. リストの列幅に合わせて表示を調整する	16
16. リストの偶数行と奇数行で色分ける	17
17. リストの表示行数を指定する	18
画面入力	19
18. 文字を入力する	19
19. 数字のみ入力させる	20
20. 日付や時間を入力する	21
21. パスワードを入力する	22
22. 入力桁数を制限する	23
23. 入力不可にする	24
24. 画面上でフォルダを選択する	25
25. 画面上でファイルを選択する（画像表示）	26
26. 画面上でファイルを選択する（保存）	27
27. 選択肢から1つだけ入力する（ラジオボタン）	28
28. 選択肢から1つだけ入力する（コンボボックス）	29
29. 選択肢から複数選択して入力する（チェックボックス）	30

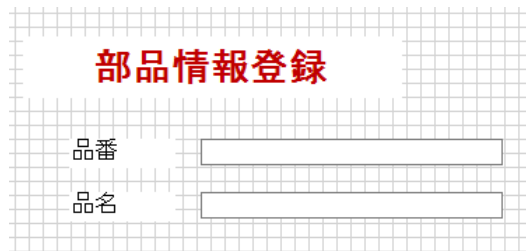
30.	リストに文字や数値を入力する	31
31.	リストからチェック入力する（チェックリスト）	32
32.	リストに選択肢をつける（コンボボックス）	33
33.	リストで日付を選択する（日付選択）	34
34.	リストにボタンをつける	35
画面アクション		36
35.	複数のイベントで共通のアクションを使う	36
36.	テキストボックスを空にする	37
37.	文字と文字をつなげる	38
38.	文字列の一部を抜き出す	39
39.	四捨五入／切り上げ／切り捨て	40
40.	除算の余りを表示する	41
41.	除算で少数点まで表示する	42
42.	消費税を計算して表示する	43
43.	日付から年／月／日を取得する	44
44.	日付から曜日を取得する	45
45.	リストの合計値を表示する	46
46.	リストの平均値を表示する	47
47.	リストの最大値を表示する	48
48.	リストから最小値を表示する	49
49.	リストに行を追加する	50
50.	条件に当てはまる文字列の色を変える（リスト）	51
51.	条件に当てはまる欄の色を変える（リスト）	52
52.	リストのページ番号を表示する	53
53.	リストに行番号を付与する	54
54.	リストの最終行を自動で選択する	55
55.	今月のカレンダーを表示する	56
56.	カレンダーで選択した日付を表示する	57
57.	カレンダーから表示中の年を取得する	58
58.	ボタンのクリック時に動作する	59
59.	ON／OFF 状態の切り替えボタンを表示する	60
60.	ボタン以外にもクリック動作を設定する	61
61.	メッセージボックスを表示する	63
62.	メッセージボックスから動作を分岐する	64
63.	エラーメッセージを表示する	65
64.	ダイアログでメッセージを表示する	66

65.	時間経過で動作を実行する.....	68
66.	タイトルバーに文字列を表示する.....	70
67.	表示文字列を点滅させる	71
68.	Tab キーによる移動順を設定する.....	72
69.	複数のチェックボックスから一つだけ選択する.....	73
画面切り替え操作.....		74
70.	ボタンで次の画面に切り替える	74
71.	時間経過で次の画面に切り替える.....	75
72.	ダイアログを表示する	76
73.	ダイアログを閉じる.....	77
74.	リストのボタンからダイアログを表示する。	78
75.	他の画面へデータを渡す	79
76.	ダイアログの戻り値で表示を更新する	80
77.	アプリケーションを終了する	81
78.	別の RADEN アプリケーションを呼び出す	82
79.	RADEN 以外の実行ファイルを呼び出す.....	83
ファイル入力／出力		84
80.	CSV ファイルからデータを読み込む	84
81.	CSV ファイルが更新されたらデータを読み込む.....	86
82.	リストのデータを CSV ファイルに出力する	87

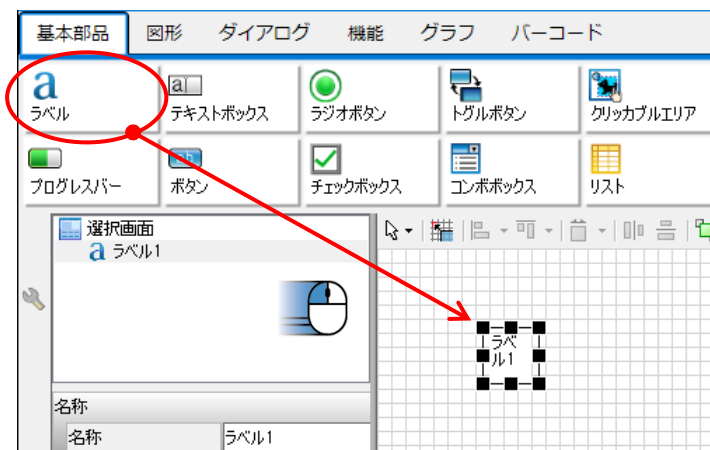
画面表示

1. 文字を表示する

画面に文字を表示する時は、ラベル部品を使用します。



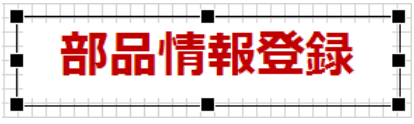
基本部品からラベル部品を編集エリアへドラッグ&ドロップで配置します。



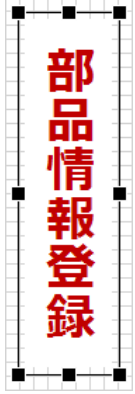
配置したラベルを選択すると、ツールエリアに表示されたプロパティウィンドウから「テキスト」「フォント」「文字色」「テキスト方向」などを設定できます。

表示	
テキスト	部品情報登録
フォント	MS ゴシック, 20.25pt, style=Bold
文字色	 192, 0, 0
文字点滅色	
背景色	 White
背景点滅色	
テキスト配置	中央
テキスト方向	横書き
境界スタイル	境界線なし

横書き



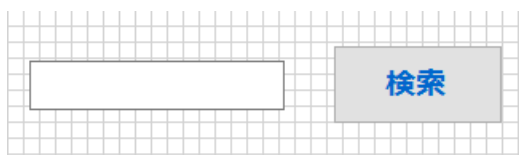
縦書き



2. ボタンを表示する

画面にボタンを表示する時は、ボタン部品を使用します。

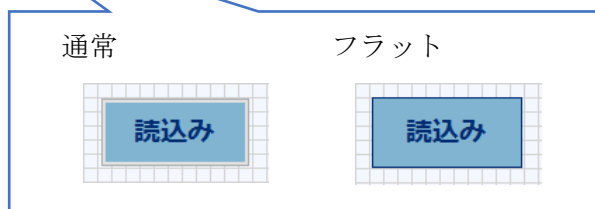
ボタン部品はアクションを設定することで、クリック一つでアプリケーション内に様々な動作を起こすことができます。



基本部品からボタン部品を編集エリアへドラッグ&ドロップで配置します。

配置したボタンを選択すると、プロパティウィンドウから「テキスト」「フォント」「ボタンスタイル」などを設定できます。

表示	
テキスト	読み込み
フォント	メイリオ, 14.25pt, style=Bold
文字色	 0, 44, 113
背景色	 129, 180, 209
テキスト配置	中央
ボタンスタイル	フラット
表示状態	表示

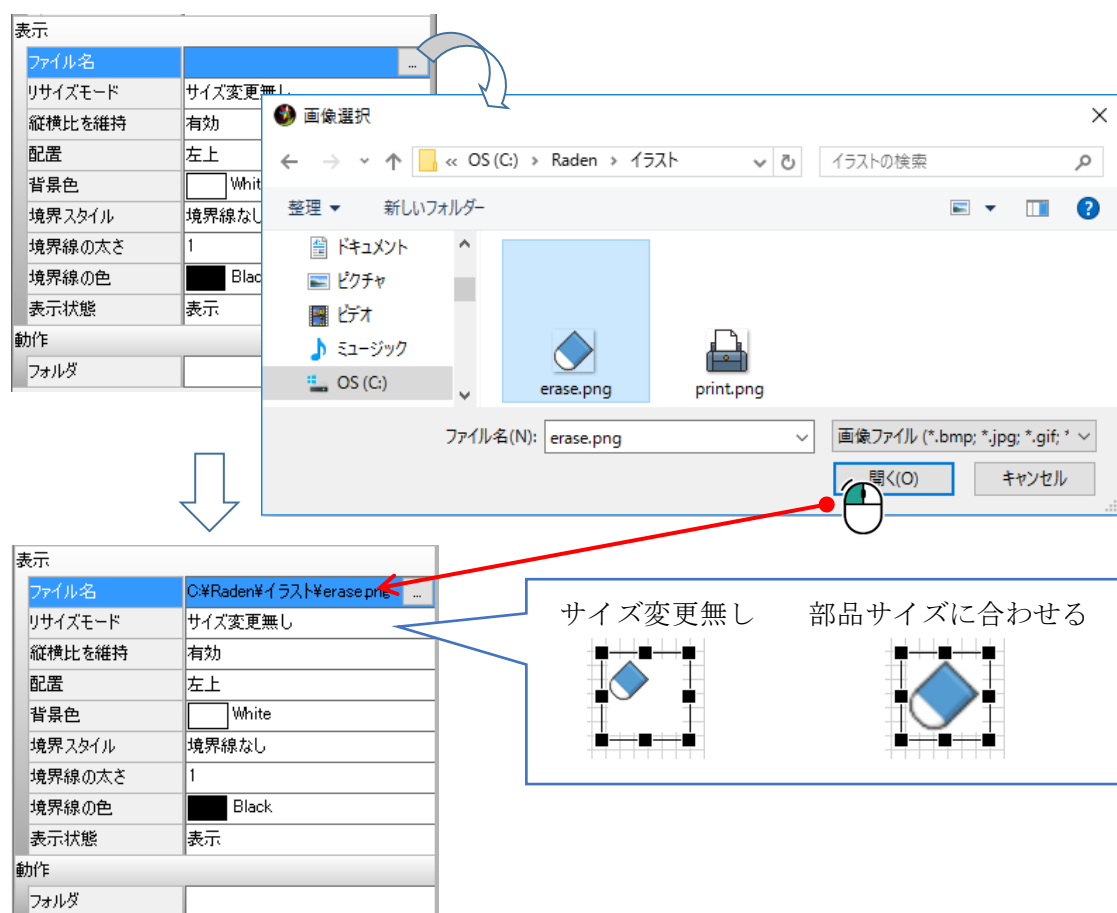


3. 画像を表示する

画面にイラストや写真などの画像を表示する時は、画像部品を使用します。

住所 1  削除
住所 2

編集エリアに画像部品を配置し、「ファイル名」プロパティに画像ファイルを設定します。



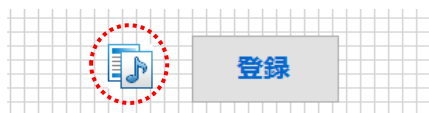
画像部品にはクリック時のアクションを設定することができます。消しゴムやプリンタのイラストなどを表示し、クリックイベントのアクションからテキストの削除や印刷が行えます。

4. 音を鳴らす

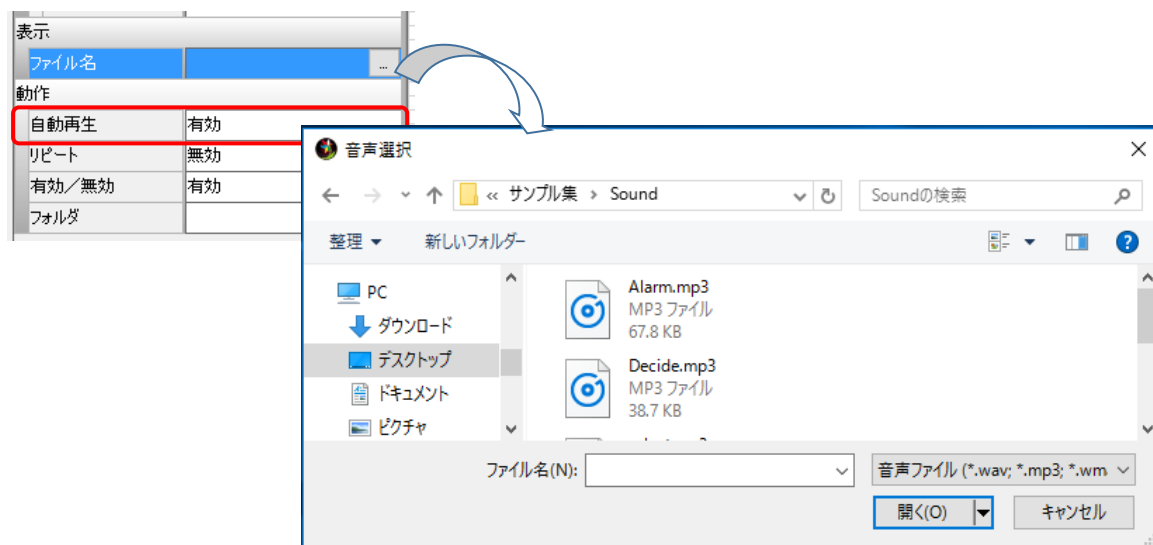
効果音を鳴らしたり、音楽を再生したりする時は、音声部品を使用します。

一定時間の経過により警告音やアラーム音を鳴らすことや、ボタンの押下により音を鳴らすことができます。

※この部品は実行時画面に表示されません。

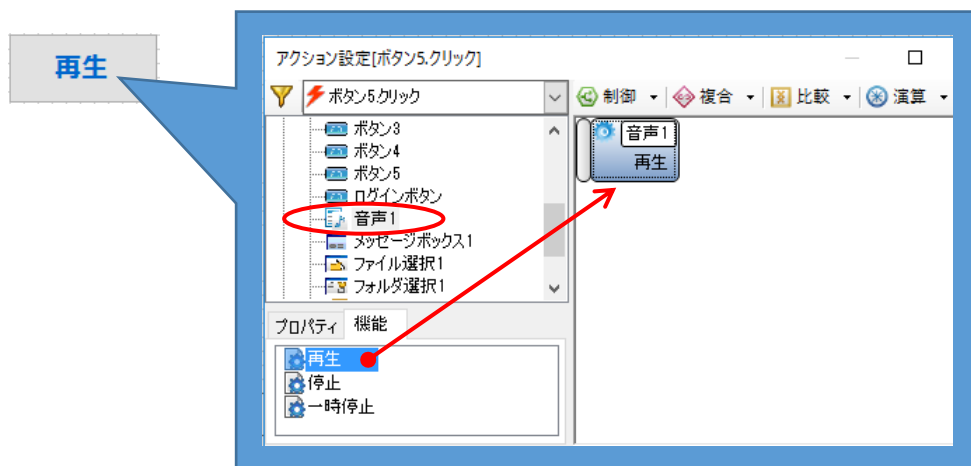


編集エリアに音声部品を配置し、「ファイル名」プロパティからファイルを設定します。



「自動再生」プロパティを「有効」にすると、画面の表示時に音声再生されます。

「自動再生」プロパティを「無効」にし、ボタンのクリックイベントにアクションを設定すると、ボタンのクリック時に音声再生されます。



5. カレンダーを表示する

画面にカレンダーを表示する時は、カレンダー部品を使用します。

2016年6月						
日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9

画面に配置したカレンダーを選択すると、プロパティウィンドウから「フォント」「テキスト配置」などを設定できます。

曜日ごとに色やフォントを変えたい場合、「表示設定」プロパティを開きます。変更する曜日の列を選択し、下部の「フォント」「背景色」「文字色」を設定します。

表示

表示月

2016/06/27 10:56

年月表示

年月表示

前・次月表示

表示

週の開始曜日

Sunday

表示言語

既定の言語

表示設定

(設定)

フォント

メイリオ, 9.75pt

文字色

Black

背景色

White

テキスト配置

中央

境界スタイル

境界線あり

境界線の太さ

1

境界線の色

Black

グリッド線の色

Black

グリッド線の幅

1

表示状態

表示

カレンダー表示設定

2016年6月

日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	1	2
3	4	5	6	7	8	9

フォント

メイリオ, 9pt

背景色

文字色

OK

キャンセル

6. カレンダーに前後の月を表示する

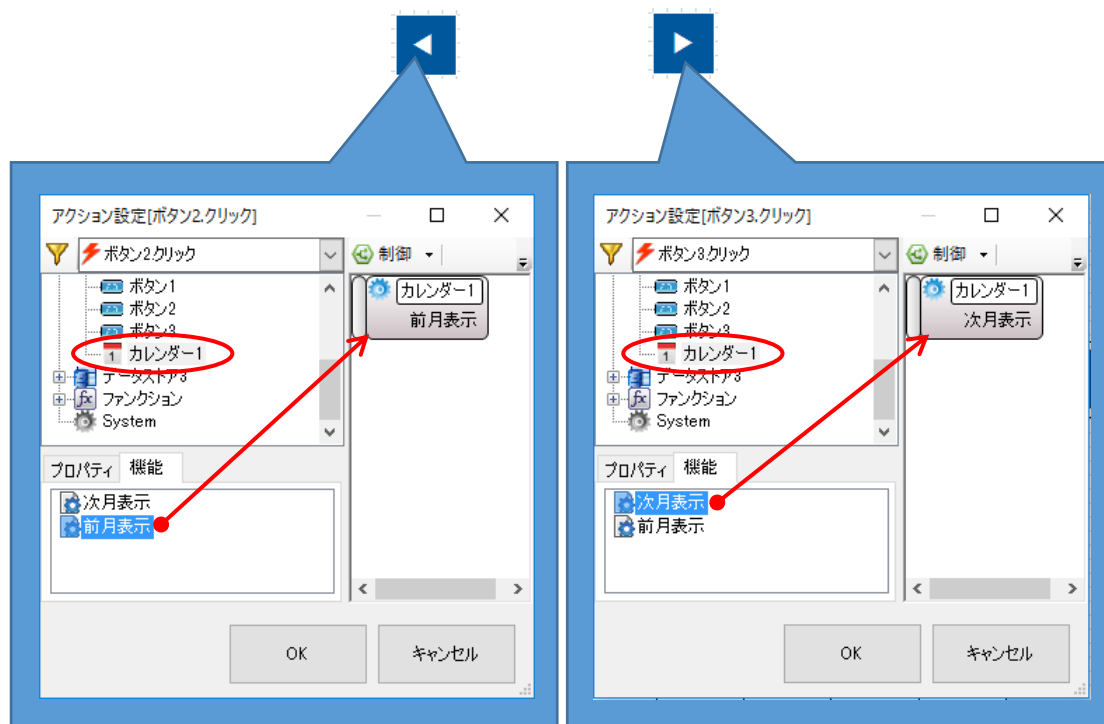
カレンダーで表示中の月の、次の月や前の月を表示させます。カレンダー部品のみでは切り替えることができないので、ボタン部品などにアクションを設定します。



2016年6月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11



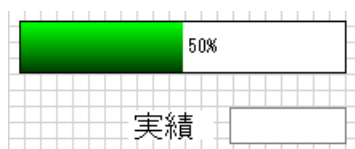
アクションは下図のように作成します。



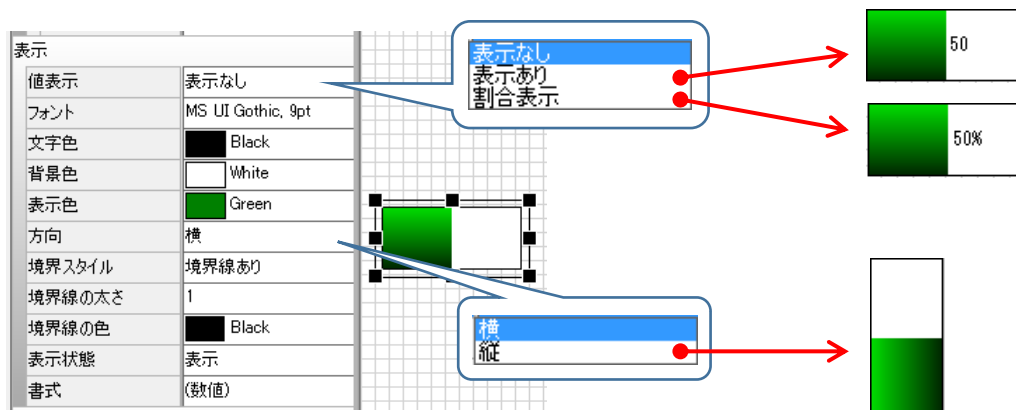
7. 進捗状況を表示する（プログレスバー）

進捗状況を表示する時は、プログレスバー部品を使用します。

作業の進捗状況をバーの色の変化で表示でき、作業がどの程度完了したか一目で分かるようになります。

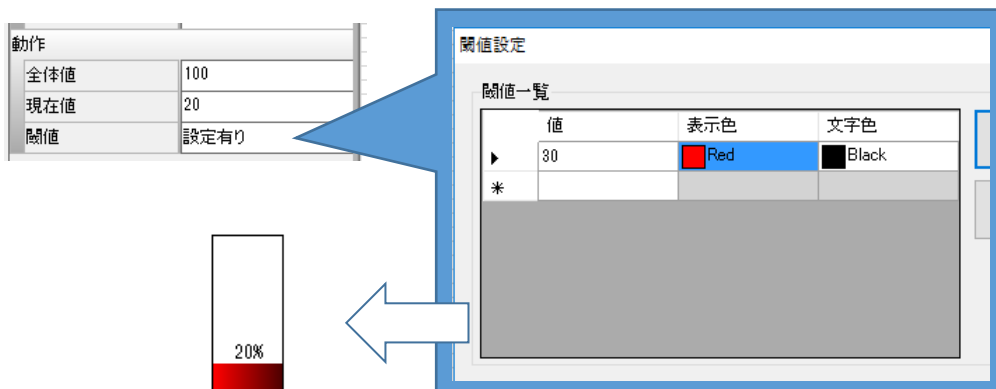


編集エリアにプログレスバーを配置し、プロパティを設定します。編集エリアでは全体値の 50%の位置にバーが表示されます。



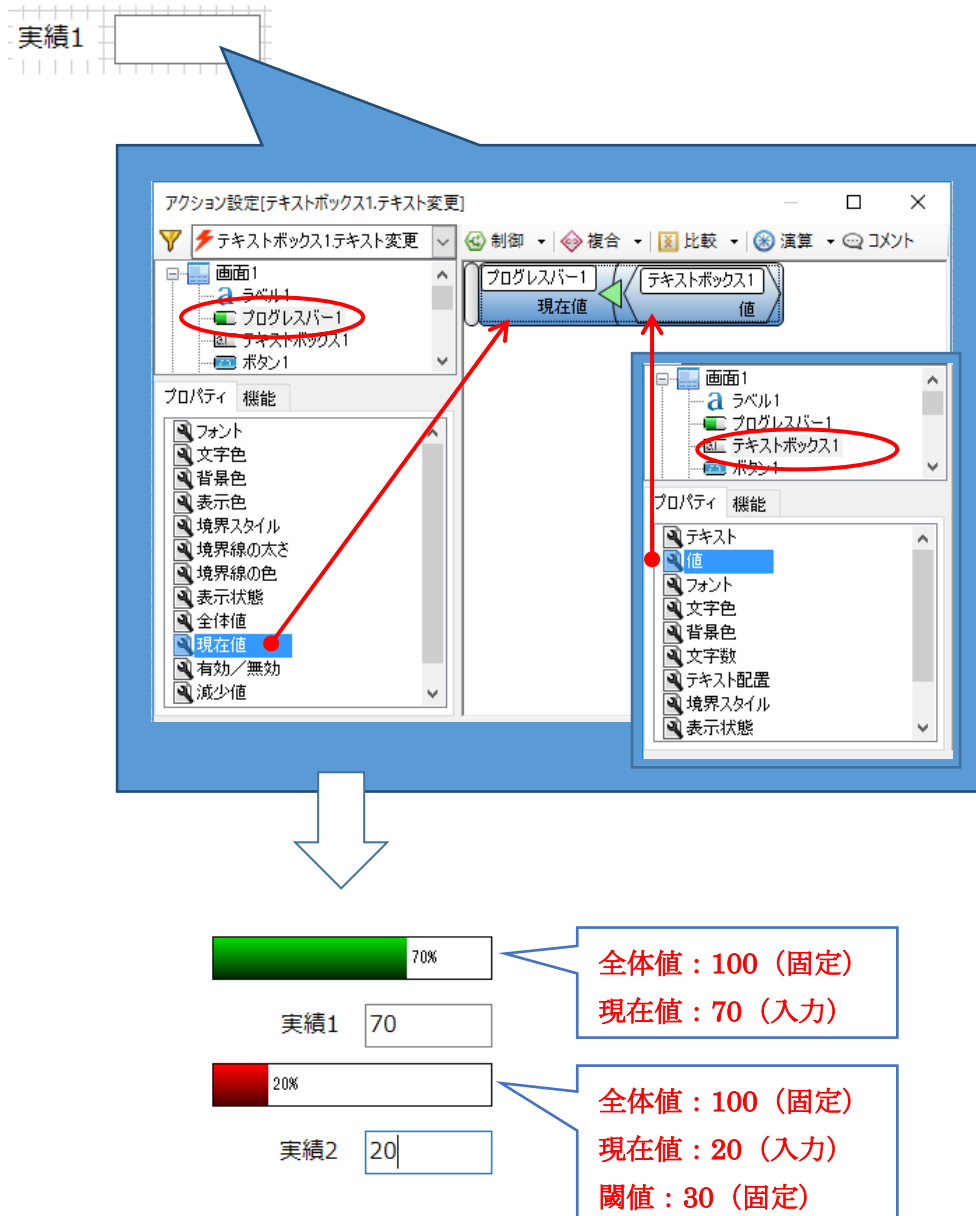
現在値がある基準値を下回った場合にバーの表示を変化させるためには、「閾値」プロパティを設定します。

下図は、値が「30」を下回った場合に表示色を変える設定です。現在値「20」が閾値「30」未満のため、表示色が変わります。



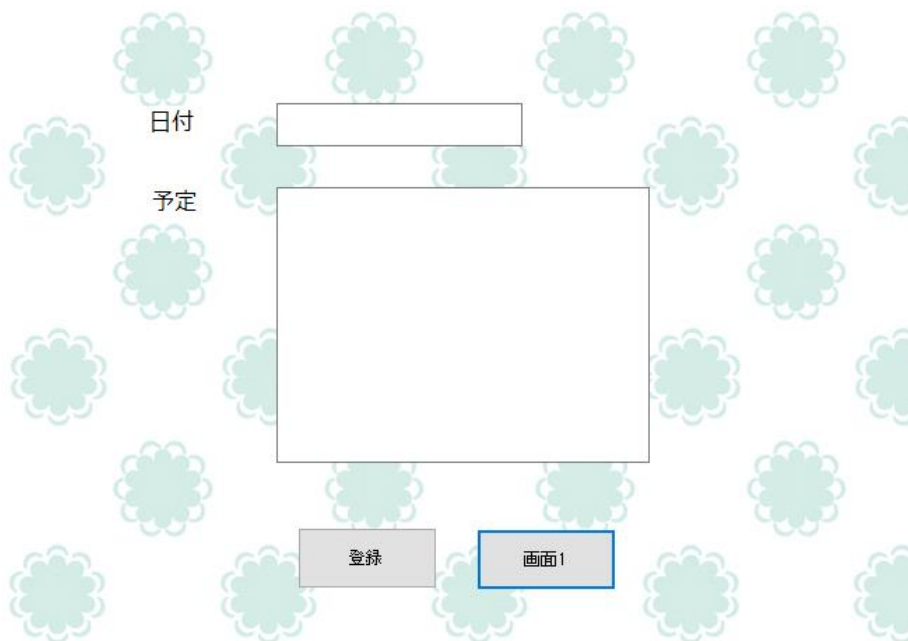
プログレスバーは、全体値と現在値の設定によって表示します。固定の値は部品に設定し、実際の入力などで値が変化するのは、アクションから設定します。

ここでは、テキストボックスから入力した数値が、プログレスバーの現在値に反映されるよう、テキスト変更イベントにアクションを設定します。

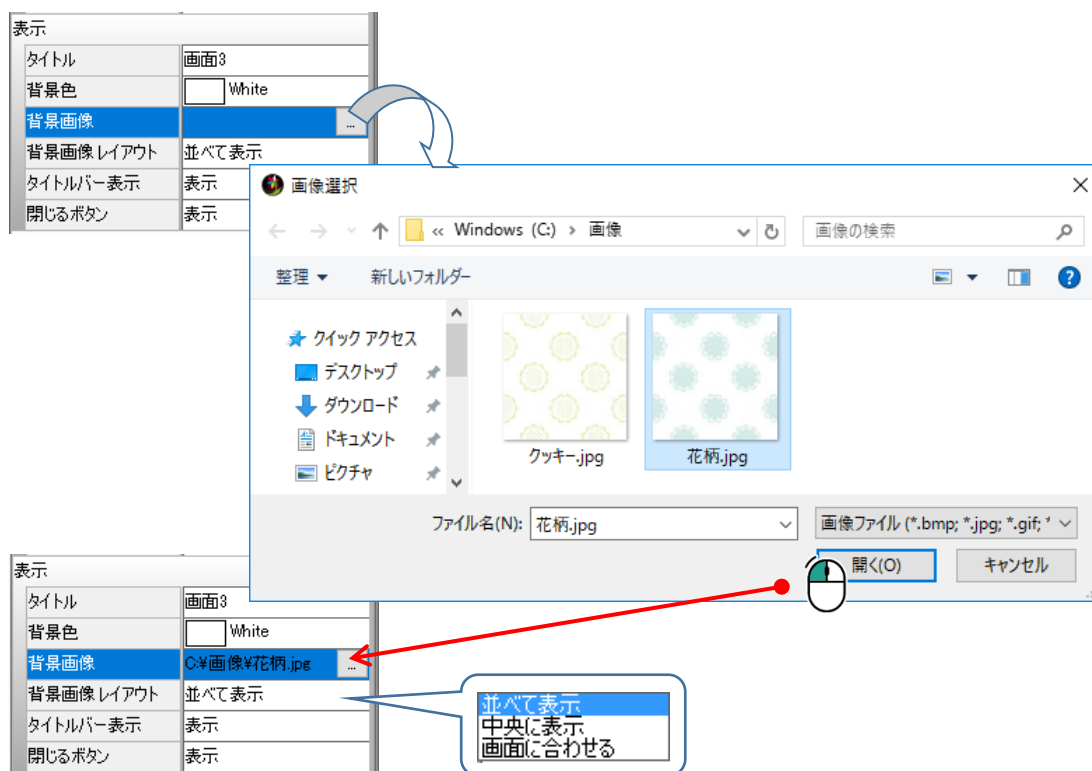


8. 背景画像を設定する

画面やダイアログの背景に画像を表示させます。



オブジェクト関連図で画面を選択もしくは編集エリアで背景を選択して、「背景画像」プロパティを設定します。

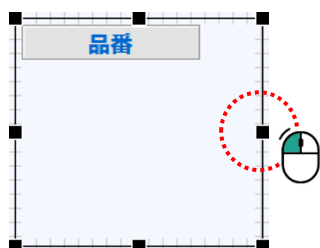


9. リストのヘッダーを変更する

リスト部品の「ヘッダー」の色やサイズ、フォントなどを変更します。

品番	品名	種類	個数	単位	金額

「ヘッダー」を編集するには、リスト全体を選択します。列を選択している場合は、リスト周囲に出るバウンディングボックスを選択するとリスト全体に切り替わります。



選択後、プロパティウィンドウから「ヘッダー」を変更します。ヘッダーのほかに、リストに表示される文字の形式や、全体の背景の色も変えることができます。

表示

表示開始行	0
表示行数	0
行の高さ	25
フォント	メイリオ, 12pt
文字色	0, 102, 204
背景色	244, 247, 253

ヘッダー表示

ヘッダー表示	表示
ヘッダー行の高さ	25
ヘッダーフォント	メイリオ, 12pt, style=Bold
ヘッダー文字色	0, 102, 204
ヘッダー背景色	ControlLight
ヘッダー文字配置	中央

罫線表示

罫線表示	表示
偶数行の背景色	
奇数行の背景色	
境界スタイル	境界線なし
表示状態	表示

品番	品名
111-111	AAAA
222-222	BBBB
333-333	CCCC
444-444	DDDD
555-555	EEEE

文字の大きさを変えてもヘッダー自体の大きさは変わらないので、その都度ヘッダーの高さを調節します。

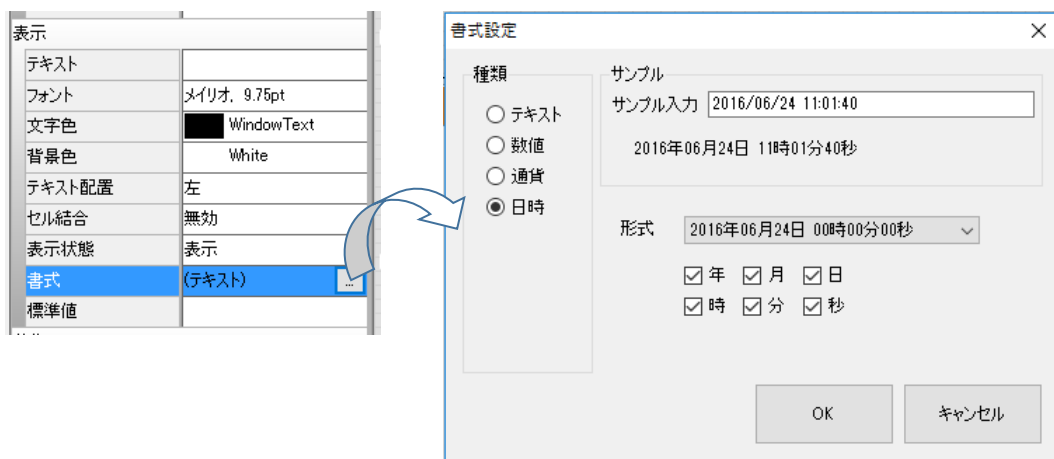
また、リストのフォントや色は列ごとにも変更できます。その場合、列ごとの設定が優先されます。

10. リストに表示する日時の形式を変更する

リストの「書式」プロパティでは、「テキスト」「数値」「通貨」「日時」の何れかを設定することができます。ここでは「日時」の設定方法を紹介します。

品番	品名	日付	個数	単位	金額
111-111	AAAA	2016年02月05日	10	個	¥100
222-222	BBBB	2016年05月21日	200	本	¥2,000
333-333	CCCC	2016年09月03日	300	個	¥3,000
444-444	DDDD	2016年11月12日	4,000	冊	¥40,000
555-555	EEEE	2016年12月23日	5,000	枚	¥50,000

リストの設定したい列を選択し、「書式」プロパティから「書式設定」を開きます。



初期設定ではテキストになっているので、「日時」に変更して形式を選択します。また、下部にあるチェックボックスから、表示する項目を選択できます。

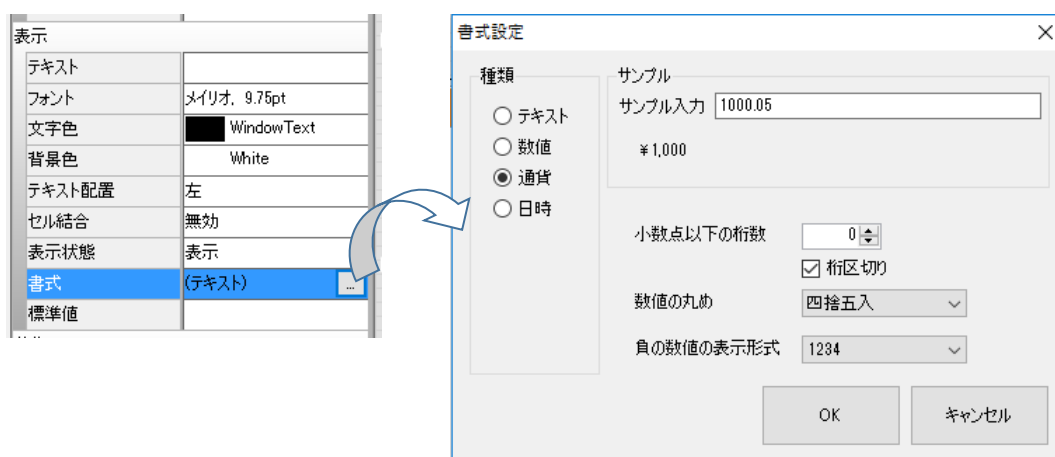


11. リストに表示する数値の形式を変更する

リストの「書式」プロパティでは、「テキスト」「数値」「通貨」「日時」の何れかを選択することができます。ここでは「数値」と「通貨」の設定方法を紹介します。

品番	品名	日付	質量	単位	金額
111-111	AAAA	2016年02月05日	1,001.69	g	¥100
222-222	BBBB	2016年05月21日	20.50	g	¥2,000
333-333	CCCC	2016年09月03日	333.47	g	¥3,000
444-444	DDDD	2016年11月14日	421.00	g	¥40,000
555-555	EEEE	2016年12月23日	5,000.20	g	¥50,000

リストの設定したい列を選択し、「書式」プロパティから「書式設定」を開きます。



初期設定ではテキストになっているので、「数値」または「通貨」に変更して形式を選択します。桁区切りをつけたい場合はチェックボックスにチェックを入れ、必要な項目を変更します。

☐ テキスト
☐ 数値
☒ 通貨
☐ 日時

小数点以下の桁数
☒ 桁区切り
 数値の丸め
 負の数値の表示形式

➡

金額
 ¥100
 ¥2,000
 ¥3,000
 ¥40,000

☐ テキスト
☒ 数値
☐ 通貨
☐ 日時

小数点以下の桁数
☒ 桁区切り
 数値の丸め
 負の数値の表示形式

➡

質量
 1,001.69
 20.50
 333.47
 421.00
 5,000.20

12. リストの欄を結合して表示する

リストの列に同じデータが並んでいる場合に、自動で上下の欄を結合させることができます。

※編集タイプがテキストボックスになっている時のみ適用されます。

品番	品名	種類	個数	単位	金額
111-111	AAAA	AAA	10	個	¥100
222-222	BBBB	AAA	200	本	¥2,000
333-333	CCCC	BBB	300	個	¥3,000
444-444	DDDD	CCC	4,000	冊	¥40,000
555-555	EEEE	CCC	5,000	枚	¥50,000

結合させたい列を選択して、「セル結合」プロパティを「有効」にします。

表示	
テキスト	
フォント	メイリオ, 11.25pt
文字色	■ WindowText
背景色	■ White
テキスト配置	中央
セル結合	有効 ...
表示状態	表示
書式	(テキスト)
標準値	
動作	
リサイズモード	変更なし
文字列の制御	なし
実行時リサイズ	無効
編集タイプ	テキストボックス
読み取り専用	有効
日本語入力モード	コントロールなし

種類	種類
AAA	AAA
AAA	AAA
BBB	BBB
CCC	CCC
CCC	CCC
CCC	CCC
DDD	DDD
EEE	EEE



「読み取り専用」プロパティを「無効」にしている場合、「セル結合」プロパティを「有効」にしても結合することはできません。セル結合を使用する時は、「読み取り専用」プロパティを「有効」にしましょう。

13. リストのテキスト位置を指定する

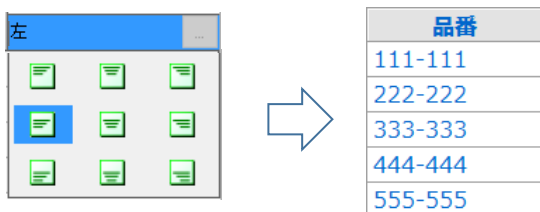
リストのテキストを中央、左寄せ、右寄せなどに変更します。

品番	品名	種類	個数	単位	金額
111-111	AAAA	AAA	10	個	¥100
222-222	BBBB		200	本	¥2,000
333-333	CCCC	BBB	300	個	¥3,000
444-444	DDDD	CCC	4,000	冊	¥40,000
555-555	EEEE		5,000	枚	¥50,000

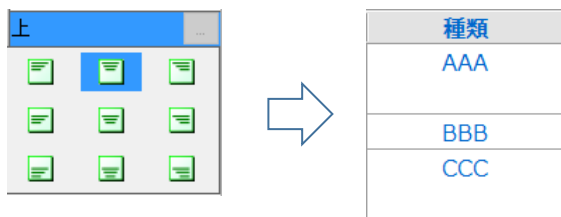
変更する列を選択し、「テキスト配置」プロパティを設定します。

表示	
テキスト	
フォント	メイリオ, 9.75pt
文字色	■ WindowText
背景色	■ White
テキスト配置	左 ...
セル結合	無効
表示状態	表示
書式	(テキスト)
標準値	

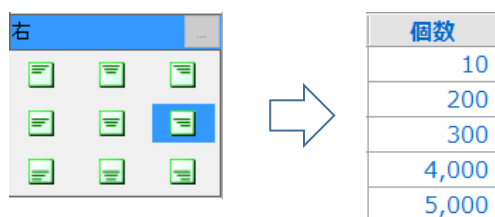
- ・ テキスト配置 : 左



- ・ テキスト配置 : 上



- ・ テキスト配置 : 右

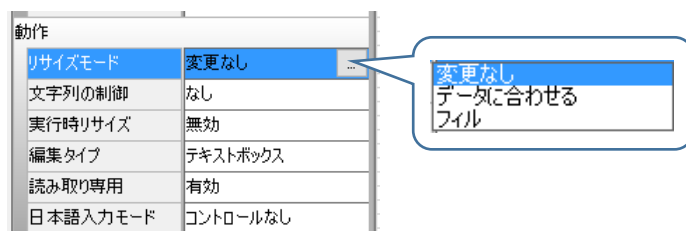


14. リストの列幅を自動調整する

表示するデータに合わせて、リストの列幅を自動調整します。

品番	品名	種類	個数	単位	金額
111-111	AAAAAAAAAAAAAAAA	AAA	10	個	¥100
222-222	BBBBBBBBBBBBBBBB	AAA	200	本	¥2,000
B1001	CCCCCCCCCCCCCCCC	BBB	300	個	¥3,000

リストの「リサイズモード」プロパティを設定します。



- ・変更無し

列の「幅」プロパティで設定した値で表示します。

- ・データに合わせる

文字数によって列幅が自動調整されます。

品番	品名
111-111	AAAAAAAA...
222-222	BBBBBBBB...

⇒

品番	品名
111-111	AAAAAAAAAAAAAAAA
222-222	BBBBBBBBBBBBBBBB

- ・フィル

リストの表示領域の幅を満たすように、列幅が調整されます。

単位	金額
個	¥100
本	¥2,000

⇒

単位	金額
個	¥100
本	¥2,000



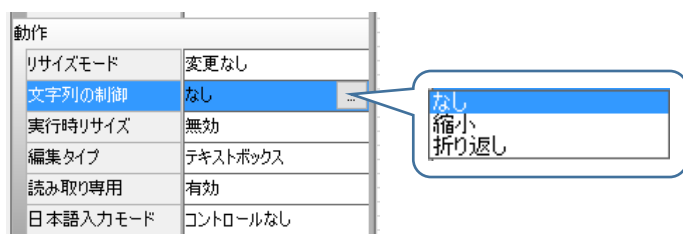
「データに合わせる」は、表示するデータの最大文字数をチェックして列幅を決めるため、データ件数によってはリスト表示に時間がかかることがあります。

15. リストの列幅に合わせて表示を調整する

リストの列幅に表示データが収まるよう、文字のサイズや位置を自動調整します。

品番	品名	種類	個数	単位	金額
111-111	AAAAAAAAAA AAAAA	AAA	10	個	¥100
222-222	BBBBBBBBBB BBBBB	AAA	200	本	¥2,000
B1001	CCCCCCCCC CCCCC	BBB	300	個	¥3,000

リストの「文字列の制御」プロパティを設定します。



・縮小

セル幅に収まるように文字の大きさが縮小されます。

品番	品名	種類
111-111	AAAAAAAAAAAAA	AAA
222-222	BBBBBBBBBBBBB	AAA

・折り返し

セル幅に収まるように文字を折り返して表示します。

折り返した文字が表示されるように、行の高さを調整して使用します。

品番	品名	種類
111-111	AAAAAAAAAA AAAAA	AAA
222-222	BBBBBBBBBB BBBBB	AAA

16. リストの偶数行と奇数行で色分ける

リストの偶数行と奇数行で背景色を分けます。

日付	目的	乗車駅	～	降車駅	交通機関	金額
2016/6/5	打ち合わせ	名古屋	～	上小田井	名鉄	¥240
2016/6/14	展示会	名古屋	～	金山	JR	¥340
2016/6/14	展示会	名古屋	～	金山	JR	¥340

リストを選択して、プロパティウィンドウから「偶数行の背景色」「奇数行の背景色」を設定します。

ヘッダー表示	表示
ヘッダー行の高さ	25
ヘッダーフォント	メイリオ, 12pt, style=Bold
ヘッダー文字色	Black
ヘッダー背景色	MenuHighlight
ヘッダー文字配置	中央
罫線表示	表示
偶数行の背景色	GradientInactiveCa...
奇数行の背景色	
境界スタイル	境界線あり
表示状態	表示

標準 カスタム システム

白	薄赤	薄黄	薄緑	薄青	薄紫
薄赤	赤	黄	緑	青	紫
薄黄	黄	緑	青	紫	黒
薄緑	緑	青	紫	黒	
薄青	青	紫	黒		
薄紫	紫	黒			
黒	黒	黒	黒	黒	黒

「セル結合」プロパティを「有効」にしている列がある場合、その列は設定が反映されません。また、「編集タイプ」プロパティで「コンボボックス」「ボタン」を適用している列も色は変わりません。

17. リストの表示行数を指定する

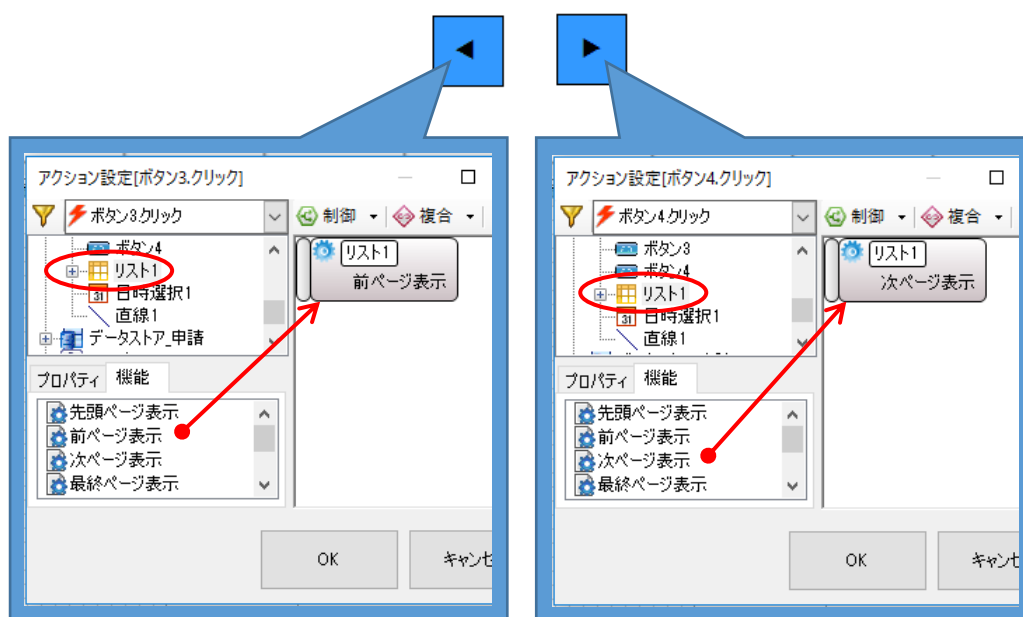
リストに表示する行数がリストの高さを超えると、リストの右端に縦のスクロールバーが表示されます。リストの「表示行数」プロパティを設定すると、スクロールバーは表示されません。

日付	目的	乗車駅	～	降車駅	交通機関	金額
2016/06/05	打ち合わせ	名古屋	～	上小田井		¥240
2016/06/14	展示会	名古屋	～	金山		¥340
2016/06/14	展示会	名古屋	～	金山		¥340
合計						2240

リストを選択し、「表示行数」プロパティを設定します。行数を指定せず、全データを表示させるには「0」を入力します。

表示	
表示開始行	0
表示行数	3
行の高さ	25
フォント	メイリオ, 11.25pt
文字色	WindowText
背景色	White

表示されていないデータは、ボタンなどのアクションによって表示を切り替えることが出来ます。



画面入力

18. 文字を入力する

画面から文字や数字を入力するには、テキストボックス部品を使用します。画面にテキストボックスを配置し、情報入力の画面などが作成できます。

入力ダイアログ

情報入力

社員No

名前

住所 1

住所 2

TEL

生年月日

テキストボックスを配置し、位置や横のサイズはマウスで設定します。テキストの高さは「フォント」プロパティを設定すると自動的に変わります。初期状態では、1行に設定されています。2行以上のテキスト入力が必要な場合、「複数行」プロパティを「有効」に設定してください。

名称	
名称	テキストボックス_名前
位置・サイズ	
表示	
テキスト	
複数行	無効
フォント	メイリオ, 12pt
文字色	■ WindowText
背景色	□ Window
テキスト配置	左

社員No

名前

住所 1

名称	
名称	テキストボックス_メモ
位置・サイズ	
表示	
テキスト	
複数行	有効
フォント	メイリオ, 12pt
文字色	■ WindowText
背景色	□ Window
テキスト配置	左

メモ

19. 数字のみ入力させる

数字以外の文字が入力できないように制限する場合、テキストボックスの「日本語入力モード」「書式」プロパティを設定します。

住所 1  削除

住所 2

TEL

入力のためのテキストボックスを配置し、半角の数字しか入力できないように制限します。

テキストボックスの「日本語入力モード」プロパティを「OFF」に設定します。更に「書式」プロパティを「数値」に設定します。

住所 1

住所 2

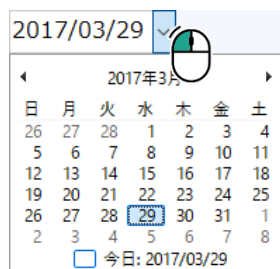
TEL

 削除

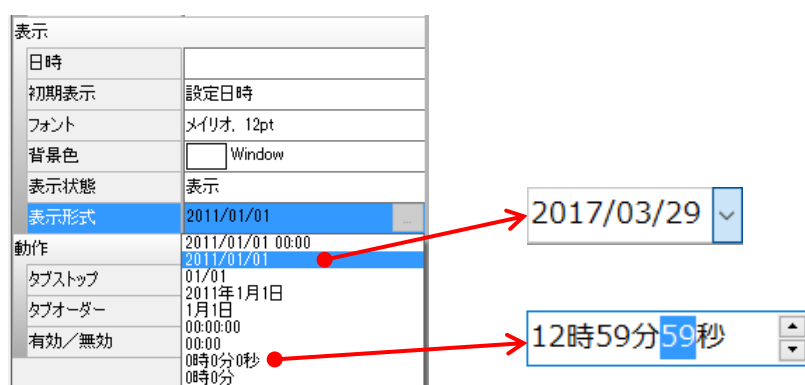
動作	
タブストップ	有効
タブオーダー	0
有効／無効	有効
日本語入力モード	OFF
書式	数値

20. 日付や時間を入力する

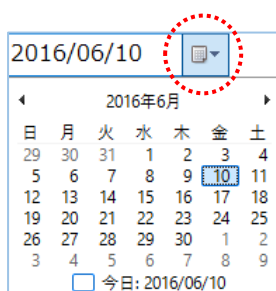
画面から日付や時間を入力する場合、日時選択部品を使用します。
カレンダーを表示して日付を入力できます。



表示の詳細は、「表示形式」プロパティの選択リストから選択してください。「表示形式」プロパティで時間の表示を選択した場合、時刻を変更するボタンが表示されます。



※RADENver.3.1.8 以前のバージョンでは、日付選択の表示が異なります。

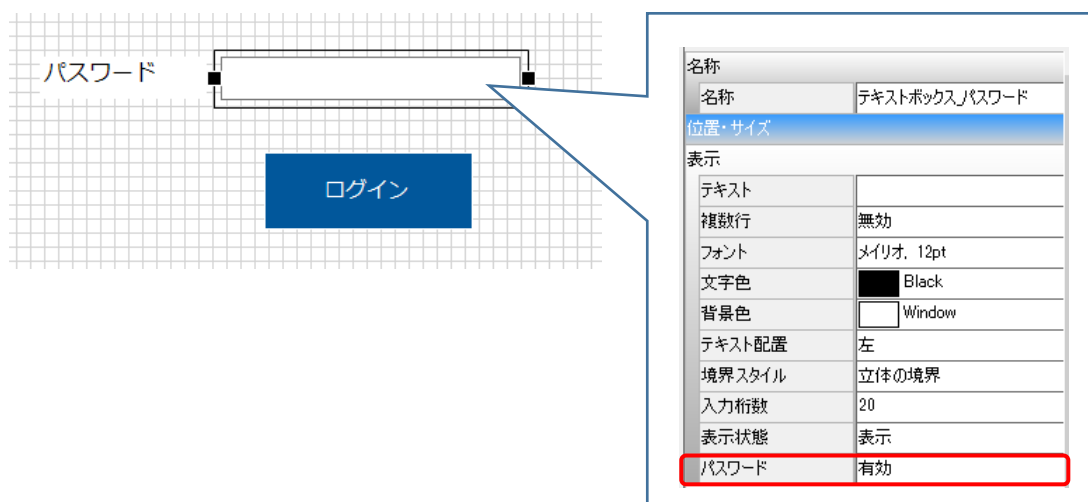


21. パスワードを入力する

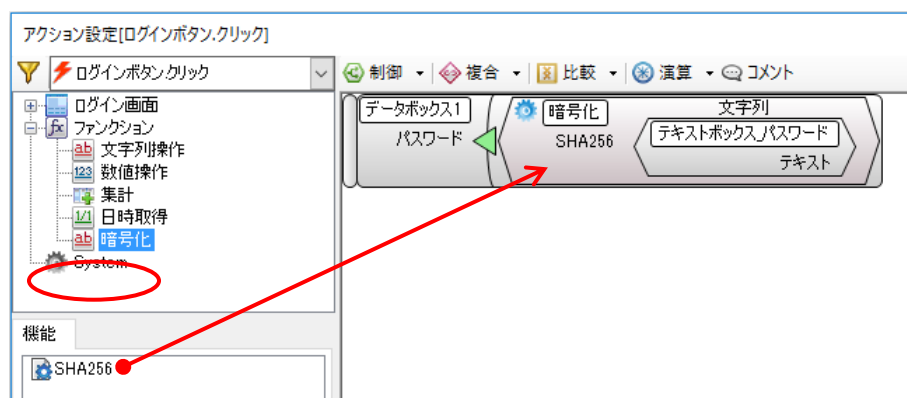
パスワード入力・表示する場合、入力した文字が読み取られないように記号で表示されます。



テキストボックスをパスワード入力用として使う場合、「パスワード」プロパティを「有効」に設定します。



パスワードの暗号化は、ファンクションの暗号化機能を使用します。



22. 入力桁数を制限する

テキストボックスに入力する文字数を制限します。郵便番号や電話番号などの字数が決まっているものや、入力文字数を表示範囲に合わせたい場合に使用します。

〒	1234567 (ハイフンなし)
住所	
	(1行18文字)

テキストボックスの「入力桁数」プロパティに文字数を入力します。

表示	
テキスト	123456789
複数行	無効
フォント	メイリオ, 12pt
文字色	 WindowText
背景色	 White
テキスト配置	左
境界スタイル	立体の境界
入力桁数	7
表示状態	表示
パスワード	無効



23. 入力不可にする

テキストボックスは通常、入力可能な状態になっていますが、編集禁止にする場合、入力不可にします。

〒	1234567	(ハイフンなし)
住所	愛知県名古屋市〇〇区〇〇町一-二-三	
	〇〇マンション〇〇二号室	
変更		

テキストボックスの「有効／無効」プロパティを「無効」にします。

テキストボックスの色が薄くなり、入力不可になります。

動作	
タブストップ	有効
タブオーダー	10
有効／無効	無効
日本語入力モード	コントロールなし
書式	指定なし

有効

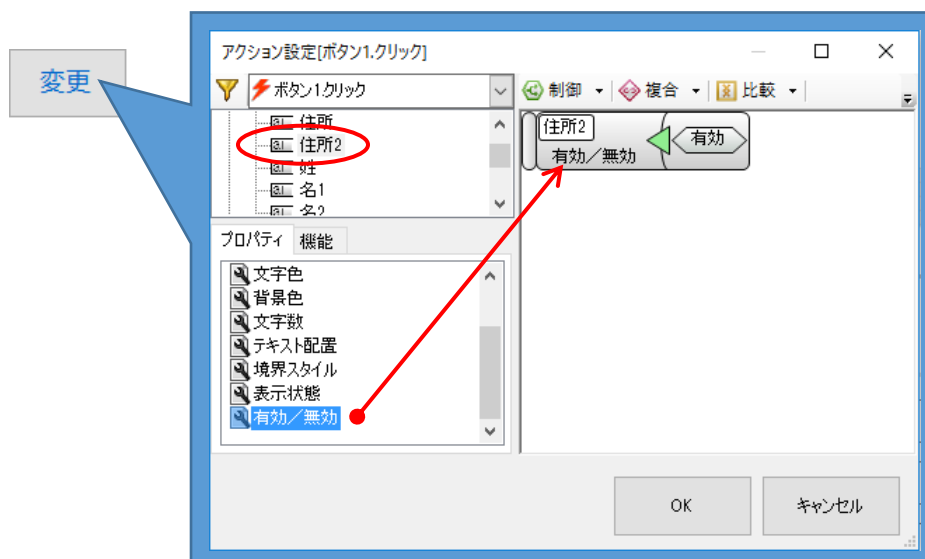
愛知県名古屋市〇〇区〇〇町一-二-三

↓

無効

愛知県名古屋市〇〇区〇〇町一-二-三

システム起動時に有効／無効を切り替える場合は、ボタンのクリックイベントなどにアクションを設定して切り替えます。

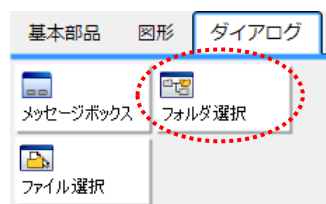


24. 画面上でフォルダを選択する

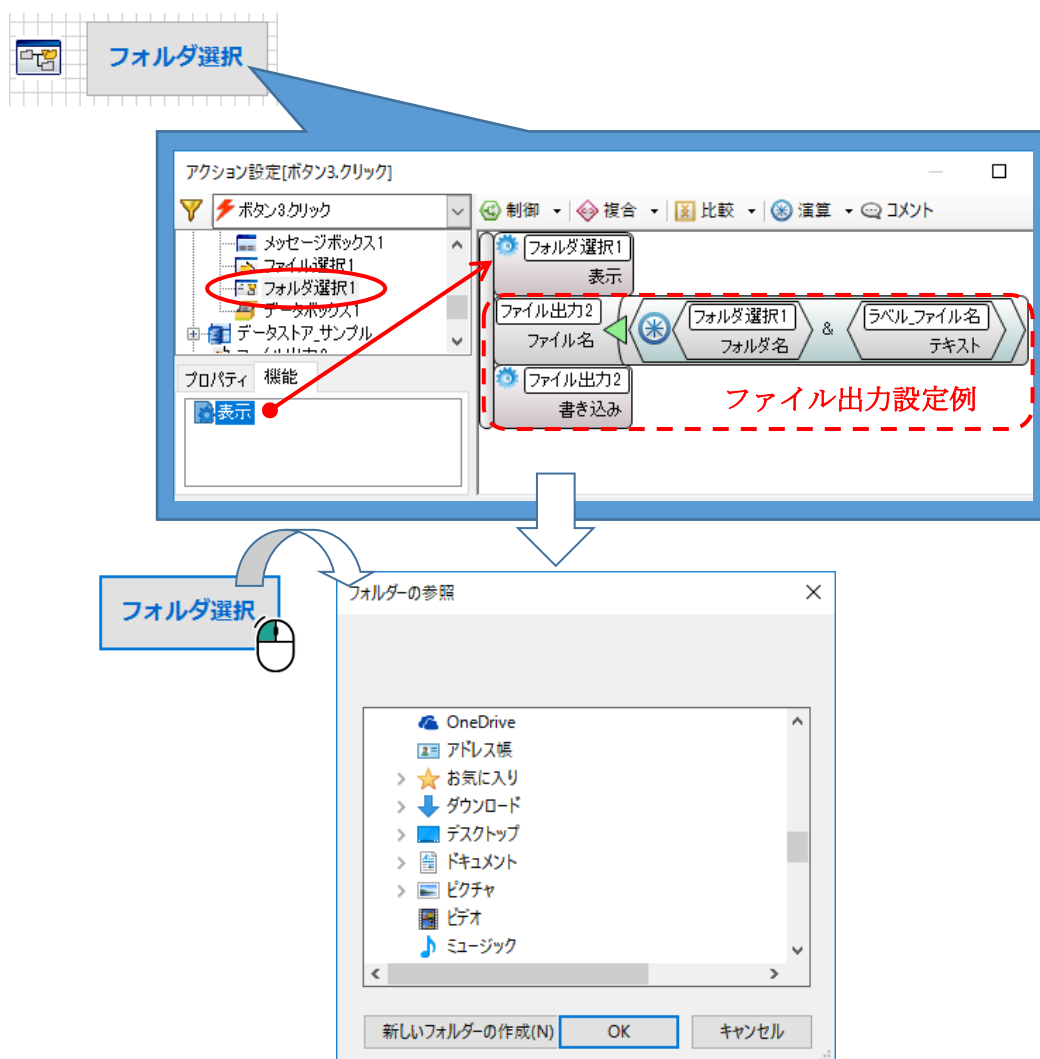
画面やダイアログ上にフォルダの参照画面を表示します。

ファイルを保存する時のフォルダの選択、新規フォルダの作成が行えます。ファイル出力などに便利な機能ですが、この部品はフォルダ選択機能のみのため、ラベルやテキストボックスなど別の部品でファイル名を保持する必要があります。

※この部品は実行時画面に表示されません。



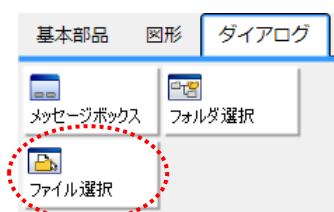
フォルダ選択部品を配置し、ボタンのクリックイベントなどにフォルダの参照画面を表示するアクションを設定します。



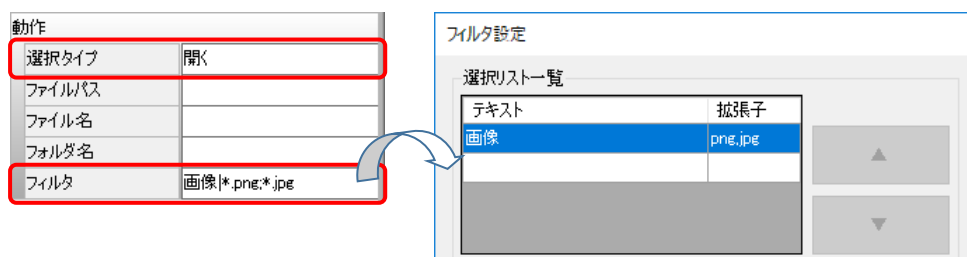
25. 画面上でファイルを選択する（画像表示）

画面やダイアログ上にファイル選択画面を表示させ、ファイルからデータを読み込みます。ファイル入力や画像、音声などの部品と併用すると便利な機能です。

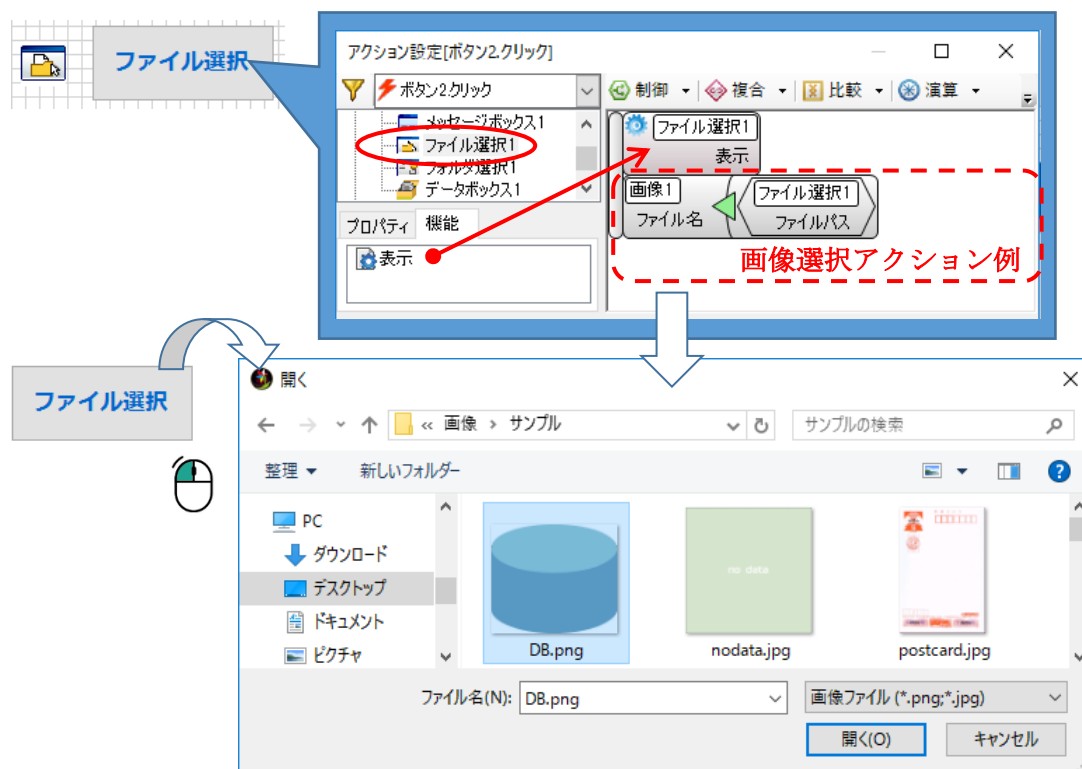
※この部品は実行時、画面に表示されません。



ファイル選択の「選択タイプ」プロパティから「開く」を選択します。特定の拡張子のみ表示させたい場合は、「フィルタ」プロパティを設定します。1つの項目に複数の拡張子名を設定するには「png,jpg」のように半角カンマで区切って入力します。



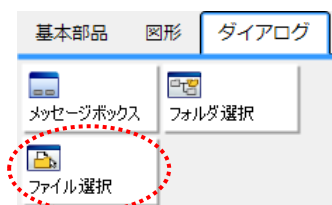
ファイル選択画面を表示するアクションを、ボタンのクリックイベントなどに作成します。



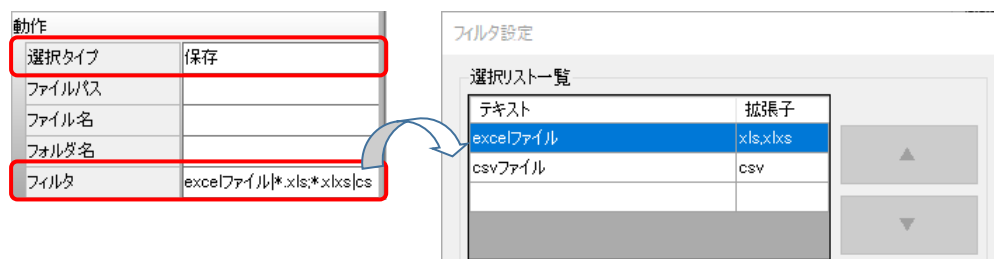
26. 画面上でファイルを選択する（保存）

画面やダイアログ上にファイル選択画面を表示させ、ファイルにデータを書き込みます。ファイル出力と併用すると便利な機能です。

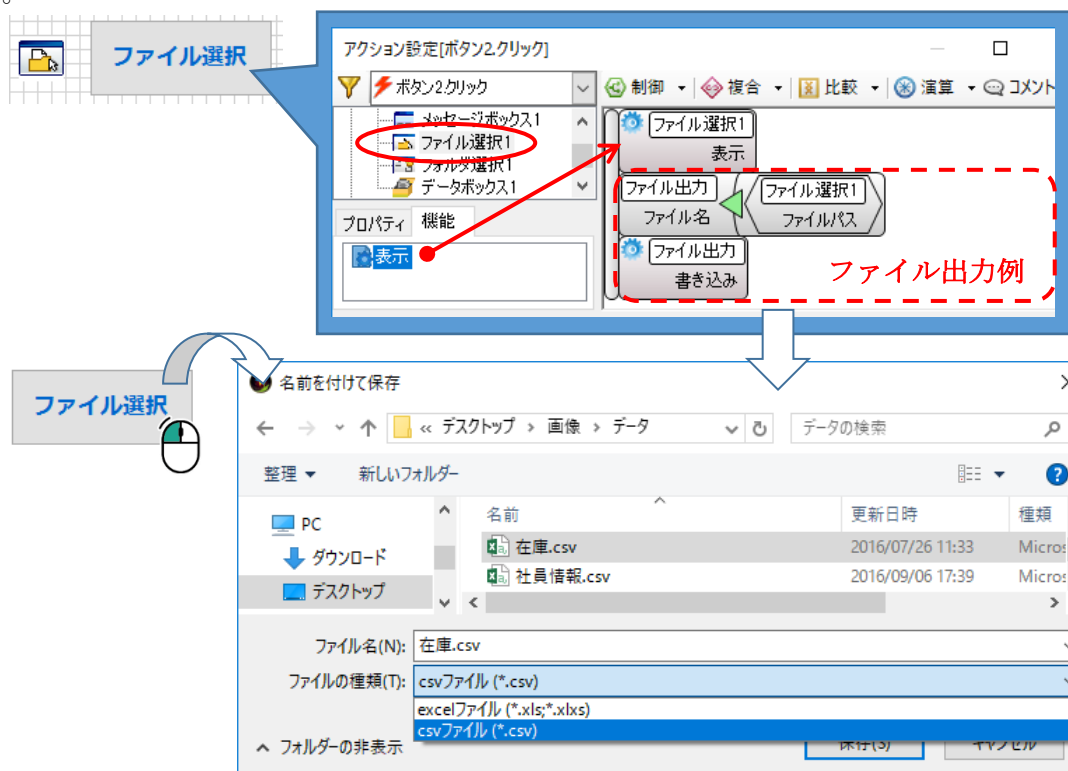
※この部品は実行時、画面に表示されません。



ファイル選択の「選択タイプ」プロパティから「保存」を選択します。特定の拡張子のみ保存させたい場合は、「フィルタ」プロパティを設定します。1つの項目に複数の拡張子名を設定するには「xls,xlsx」のように半角カンマで区切って入力します。



ファイル選択画面を表示するアクションを、ボタンのクリックイベントなどに作成します。



27. 選択肢から1つだけ入力する（ラジオボタン）

複数候補から1つだけ回答を選択して入力する場合、ラジオボタン部品を使用します。例えば、「はい／いいえ」や「法人／個人」のように、どちらか1つを確実に選択させたい項目に使用します。

☒ はい
 ☐ いいえ
 サイズ
 ☐ 大
 ☒ 中
 ☐ 小

「選択リスト設定」プロパティからラジオボタンの選択項目を設定します。「配置モード」「行数」プロパティなどで表示の設定を行います。

The diagram illustrates the configuration of a radio button component. It shows a properties panel on the left, visual layout examples at the top, and the 'Select List Settings' dialog at the bottom.

Properties Panel:

表示	
フォント	メイリオ, 12pt
背景色	White
境界スタイル	境界線なし
境界線の太さ	1
境界線の色	Black
配置モード	縦方向優先
行(列)数	2
ラジオボタン縦間隔	5
ラジオボタン横間隔	5
表示状態	表示

動作:

選択リスト設定	(選択リスト)
タブストップ	有効
タグ	0

Visual Layout Examples:

- 縦方向優先 (Vertical Priority): Items are arranged in two rows. Item 1 and 2 are in the first row, while Item 3 and 4 are in the second row.
- 横方向優先 (Horizontal Priority): Items are arranged in two rows. Item 1 and 3 are in the first row, while Item 2 and 4 are in the second row.

Select List Settings Dialog:

The dialog shows a table of items to be added to the radio button list.

表示テキスト	表示色	設定値	初期選択
はい	Black	はい	☒
いいえ	Black	いいえ	☐

Buttons: 追加 (Add), 削除 (Delete), 一つ上へ移動 (Move Up One).

設定値は表示テキストと同じ文字列でも使用可能ですが、別の値を設定できます。

Example 1: Using different values

表示テキスト	表示色	設定値	初期選択
はい	Black	true	☒
いいえ	Black	false	☐

Example 2: Using different values

表示テキスト	表示色	設定値	初期選択
大	Black	L	☐
中	Black	M	☒
小	Black	S	☐

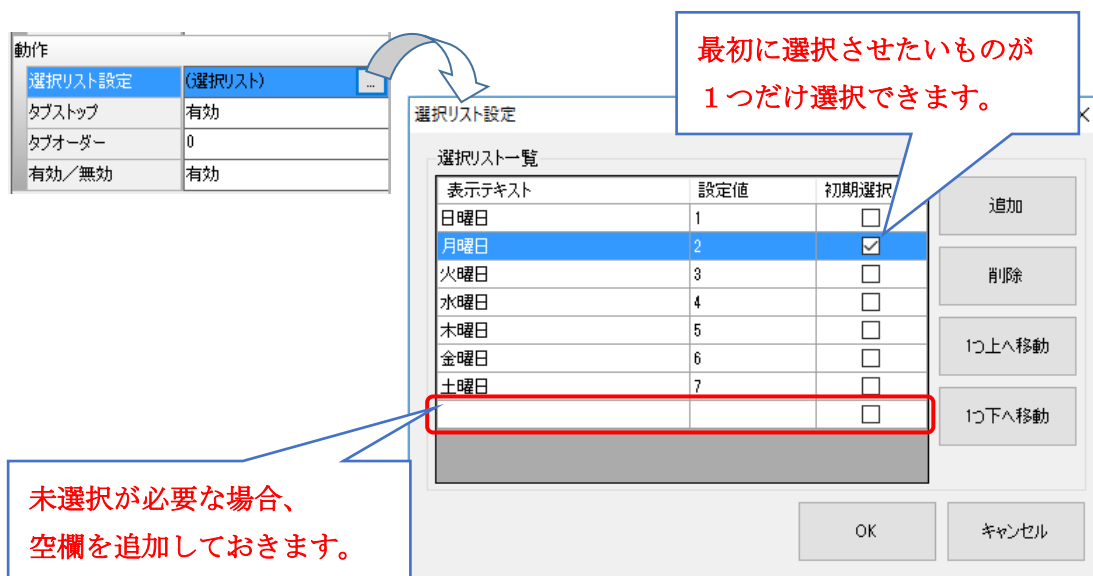
28. 選択肢から 1 つだけ入力する（コンボボックス）

複数候補から 1 つだけ回答を選択して入力する時は、コンボボックス部品を使用します。

決められた候補をリストで表示し、画面から選択させたい時に便利です。



あらかじめ「選択リスト設定」プロパティからの選択項目を設定します。



29. 選択肢から複数選択して入力する（チェックボックス）

複数用意された選択肢の中から複数選択し、回答を入力する場合、チェックボックス部品を使用します。

- ☒ 帳票プラグイン
- ☐ グラフプラグイン
- ☒ バーコードプラグイン

チェックボックスは、1つの項目にチェックを入れたり外したりできるボタンが1つ付いています。項目の数だけチェックボックスを並べて配置します。プロパティウィンドウから表示する文字列を入力し、初期表示時の「選択状態」プロパティなどを設定します。

表示	
テキスト	バーコードプラグイン
フォント	メイリオ, 12pt
文字色	Black
背景色	White
表示状態	表示

動作	
選択状態	OFF
選択時(ON)の値	1
選択時(OFF)の値	0
タブストップ	有効
タブオーダー	0
有効/無効	有効

☐ 帳票プラグイン
☐ グラフプラグイン
☐ バーコードプラグイン

選択状態「ON」の場合
☒ バーコードプラグイン

アクション設定では、主に選択状態を取得して次のアクションに利用します。また、アクション設定からも「テキスト」や「選択値」プロパティの設定を変更できます。

データリンクでは選択時の値を「選択値」として、テーブルに保存や取得をして選択状態を表示する際に使用します。ただし、データリンクから表示のテキストは変更できません。

30. リストに文字や数値を入力する

画面に文字や数値を入力する表を作成したい場合、リスト部品を使用します。簡単な項目リストや料金表を作成できます。

項目	金額
ボールペン	100
A4用紙	1,200
カッター	24

追加

上図のような表から文字を入力する場合、列ごとに入力できるように設定します。リスト部品は初期状態では読み取り専用を設定されているので、各列の「読み取り専用」プロパティを「無効」にします。

項目	金額
----	----

表示

テキスト	
フォント	メイリオ, 12pt
文字色	0, 102, 204
背景色	White
テキスト配置	左
セル結合	無効
表示状態	表示
書式	(テキスト)
標準値	

動作

リサイズモード	変更なし
文字列の制御	なし
実行時リサイズ	無効
編集タイプ	テキストボックス
読み取り専用	無効
日本語入力モード	ON

テキスト入力のため、日本語入力モードを ON に設定します。

表示

テキスト	
フォント	メイリオ, 12pt
文字色	0, 102, 204
背景色	White
テキスト配置	右
セル結合	無効
表示状態	表示
書式	(数値)
標準値	

動作

リサイズモード	変更なし
文字列の制御	なし
実行時リサイズ	無効
編集タイプ	テキストボックス
読み取り専用	無効
日本語入力モード	使用不可

書式を数値に設定すると日本語入力モードが自動的に使用不可になります。

31

31. リストからチェック入力する（チェックリスト）

画面に表示したリストの列にチェックボックスを表示し、チェックリストのような表を作成します。

社員No	名前	出欠
1001	木村 隆一	☒
1002	田中 光一	☒
1003	木下 太郎	☐
1004	鈴木 茂	☒
1005	佐々木 誠	☒
1006	山本 一郎	☐

チェックボックスを表示させたい列を選択し、「編集タイプ」プロパティを「チェックボックス」に設定します。リストでチェックボックスを使用する際は、必ず「読み取り専用」プロパティを「無効」にします。

「出欠」列のプロパティ

チェックボックスのデータを設定します。

32. リストに選択肢をつける（コンボボックス）

リストにコンボボックスを表示させます。入力内容が固定の場合に使用します。

日付	目的	乗車駅	～	降車駅	交通機関	金額
2016/6/5	打ち合わせ	名古屋	～	上小田井	名鉄 ✓	¥240
2016/6/14	展示会	名古屋	～	金山	JR ✓	¥340
2016/6/14	展示会	名古屋	～	金山	JR ✓	¥340

コンボボックスを表示させたい列を選択し、「編集タイプ」プロパティを「コンボボックス」に設定します。表示する項目は「データ」プロパティから設定できますが、選択肢が固定でない場合はデータリンクから設定します。

また、リストでコンボボックスを使用する際は、必ず「読み取り専用」プロパティを「無効」にします。

動作

リサイズモード	変更なし
文字列の制御	なし
実行時リサイズ	無効
編集タイプ	コンボボックス
読み取り専用	無効
日本語入力モード	使用不可

データ

データ	設定有り
-----	------

選択データ設定

テキスト	データ	初期選択
JR	1	☒
名鉄	2	☐
近鉄	3	☐
地下鉄	4	☐
市バス	5	☐
		☐

最初に選択させたいものが
1つだけ選択できます。

未選択が必要な場合、
空欄を追加しておきます。

コンボボックスからテーブルヘデータを保存する
際に渡す、選択値を設定しておくことができ
ます。不要な場合は空白にします。

33. リストで日付を選択する（日付選択）

リストに日付を入力する際に、日時選択部品のようにカレンダーを表示させ選択できます。

日付	目的	乗車駅	～	降車駅	交通機関	金額
2016/06/05	打ち合わせ	名古屋	～	上小田井	▼	¥240
2016/06/10	展示会	名古屋	～	金山	▼	¥340
		名古屋	～	金山	▼	¥340

リストの列を選択し、「編集タイプ」プロパティを「日時選択」に設定します。「書式」プロパティから「日時」を選択し、表示形式を設定します。

また、リストで日時選択を使用する際は、必ず「読み取り専用」プロパティを「無効」にします。

表示状態	表示
書式	(日時)
標準値	
動作	
リサイズモード	データに合わせる
文字列の制御	なし
実行時リサイズ	無効
編集タイプ	日時選択
読み取り専用	無効
日本語入力モード	使用不可

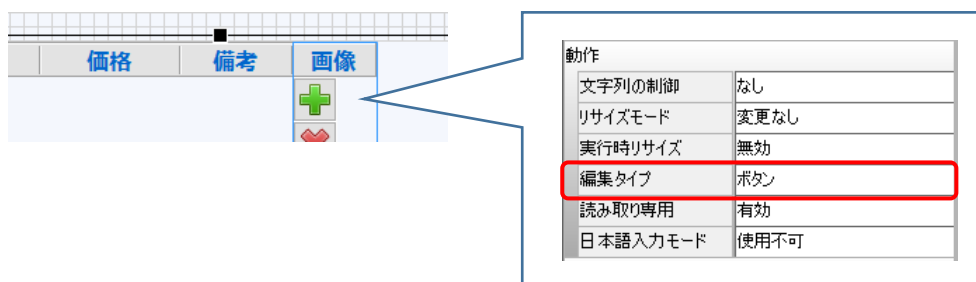
34. リストにボタンをつける

リストのセルにボタンを表示させることができます。

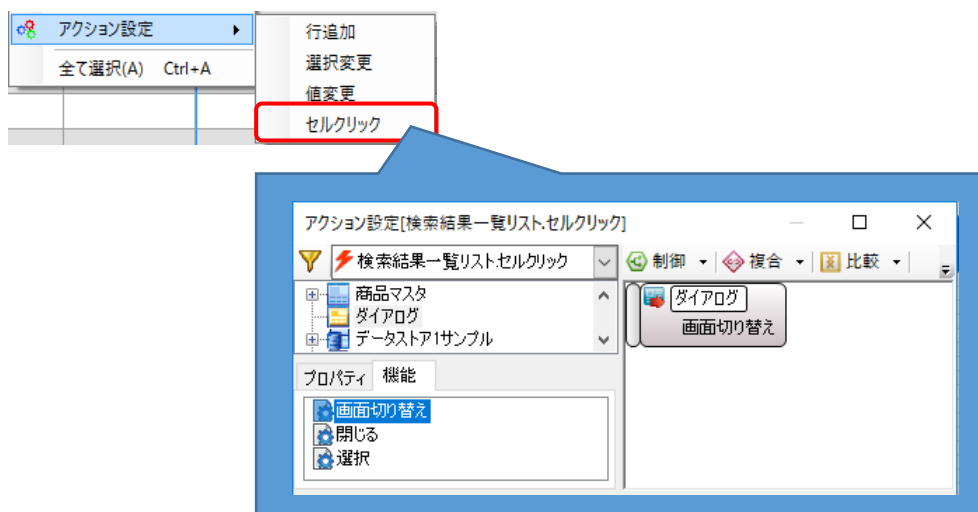
セルクリックイベントと組み合わせて、ボタンの押下で別の画面を開く時などに使用します。

商品ID	商品名	価格	備考	画像
B1111	圧力鍋	¥7,000	ワンタッチ開閉式、10年保証	
B2222	フライパン	¥3,000	IH非対応	
B3333	タッパー	¥500	耐熱	
B4444	包丁	¥2,000	カラー：ピンク	
B5555	ピーラー	¥900	カバー付き	

ボタンを表示させたい列を選択し、「編集タイプ」プロパティを「ボタン」に設定します。



リストのセルクリックイベントに画面切り替えなどのアクションを設定します。



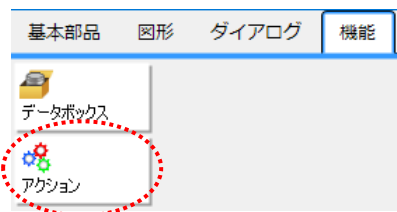
画面アクション

35. 複数のイベントで共通のアクションを使う

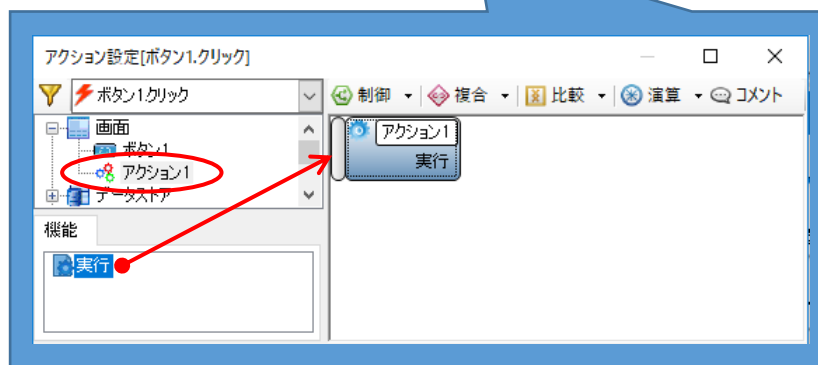
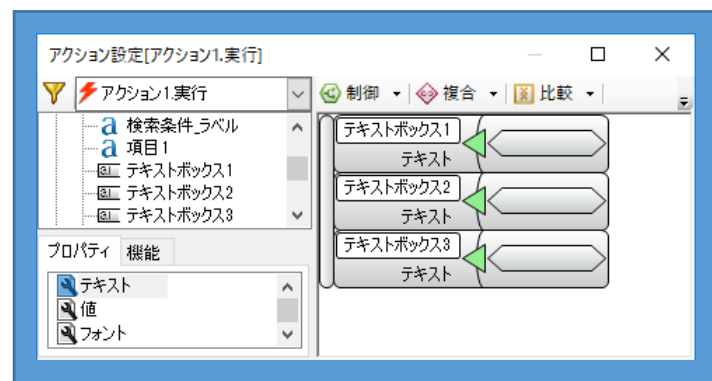
画面内で同じアクションが 2 回以上ある場合、アクション部品に処理をまとめることができます。

また、同一の処理をまとめておくことで、後々修正する際にも分かりやすくなります。

※この部品は実行時、画面に表示されません。

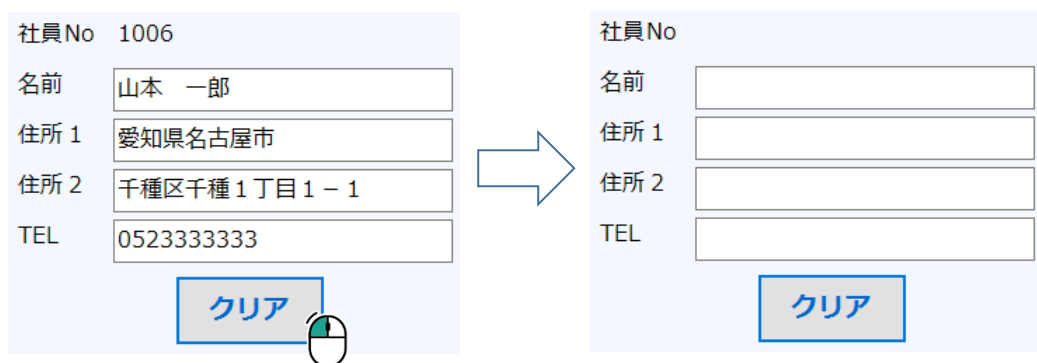


アクション部品の実行イベントに処理を作成し、他の部品のイベントからアクション部品の「実行」機能呼び出します。

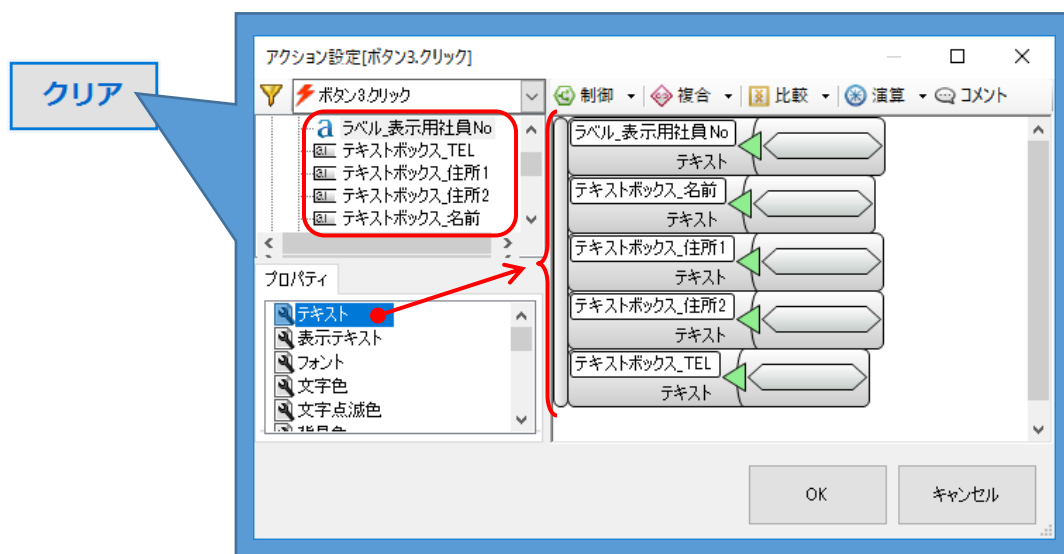


36. テキストボックスを空にする

テキストボックスやラベルに表示・入力した文字をクリアするには、アクションを使用します。



クリア用のボタンを配置し、空にしたいテキストのブロックを配置します。右側の欄を空にしてください。



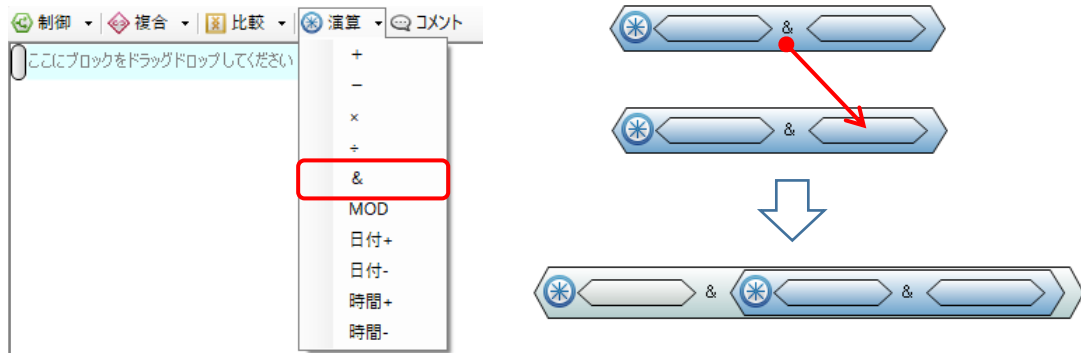
37. 文字と文字をつなげる

複数の文字列を繋げて表示します。

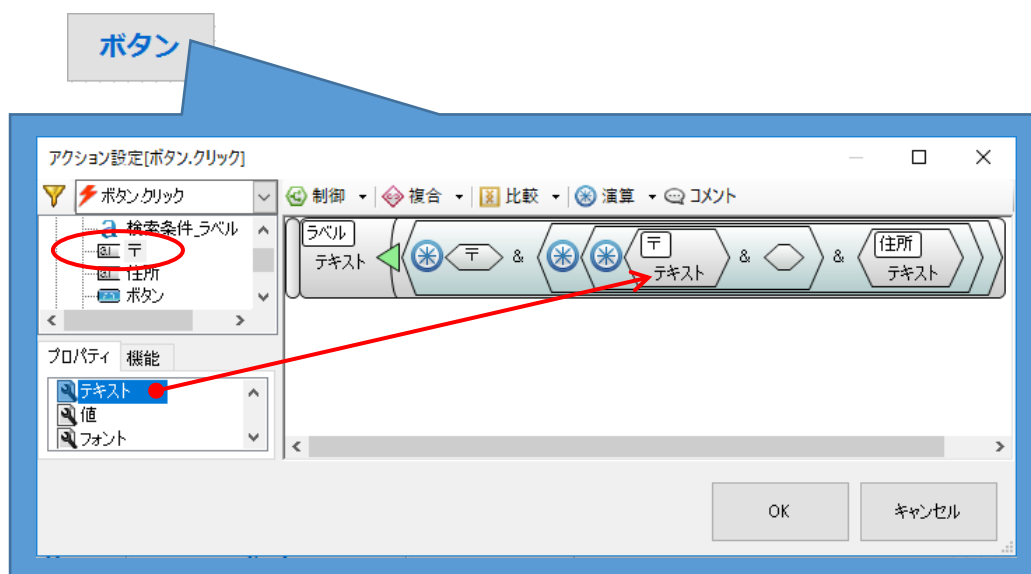
郵便番号	111-111
住所	愛知県名古屋市千種区1-1-1
	〒111-111 愛知県名古屋市千種区1-1-1

文字列と文字列を繋ぐには、アクションの「演算」ブロックから「&」を使用します。繋ぐ文字列が数値と数値の場合、演算の「+」を使用すると加算されてしまうので注意しましょう。

また、3 つ以上の文字列を繋げるには、演算ブロックを組み合わせで作成します。



テキストは直接入力もでき、テキストボックスやラベルなどと組み合わせて使用できます。



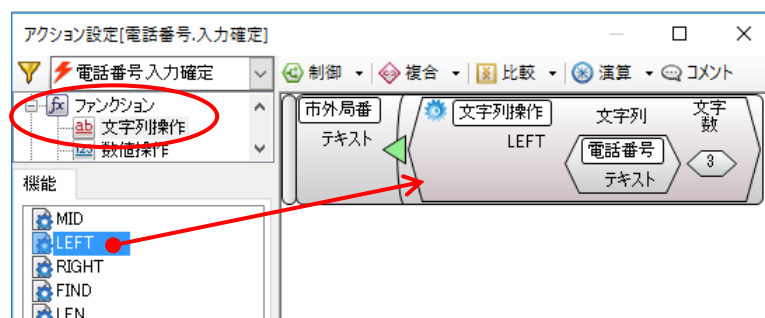
38. 文字列の一部を抜き出す

文字列から指定した文字を抜き出す時は、アクション設定のファンクションから「LEFT」「RIGHT」「MID」機能を使用します。

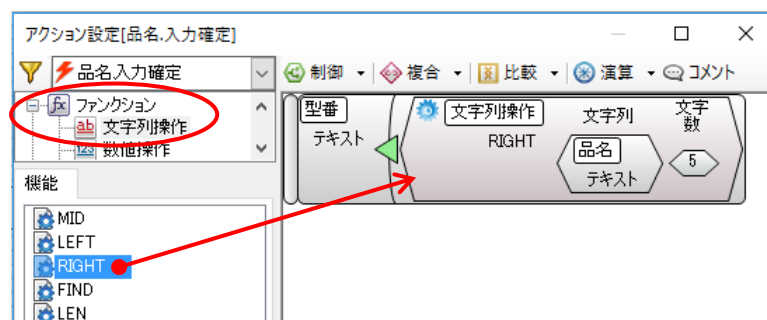
電話番号 052-123-4567 品名 エアコン A-123 RGB値 R074G185B114
市外局番 052 型番 A-123 G 185

ファンクションの「文字列操作」オブジェクトから各ブロックを配置し、使用する文字列と文字数を設定します。

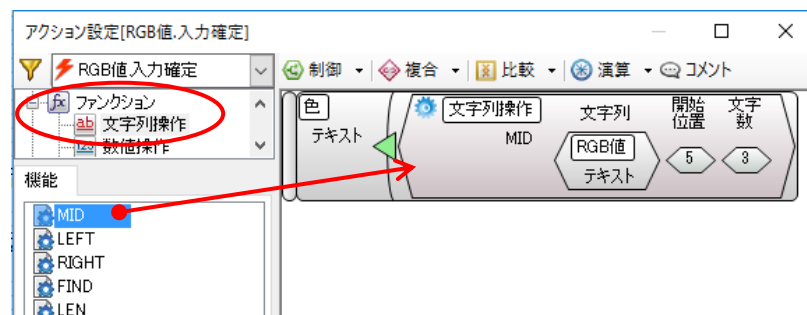
- ・ 左から抜き出す (LEFT)



- ・ 右から抜き出す (RIGHT)



- ・ 抜き出す箇所を指定する (MID)



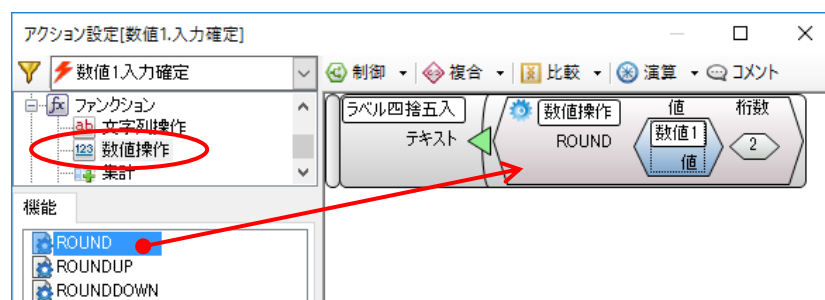
39. 四捨五入／切り上げ／切り捨て

数値の四捨五入／切り上げ／切り捨てを行う時は、アクション設定のファンクションから「ROUND」「ROUNDUP」「ROUNDDOWN」機能を使用します。

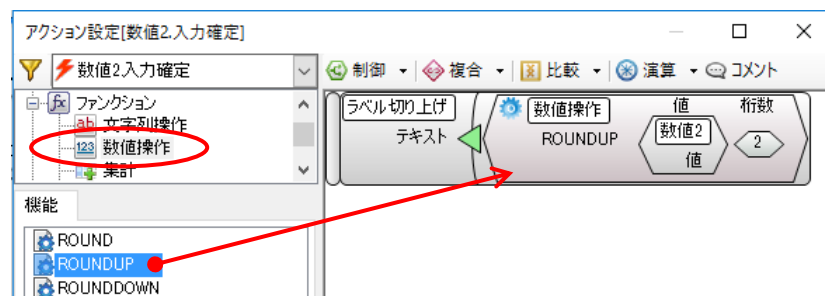
四捨五入	3.1415		3.14
切り上げ	3.1415	➡	3.15
切り下げ	3.1415		3.14

ファンクションの「数値操作」オブジェクトから各ブロックを配置し、使用する値と桁数を設定します。

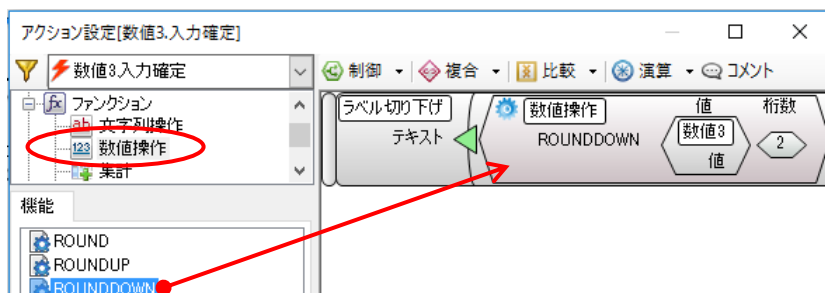
・ 四捨五入 (ROUND)



・ 切り上げ (ROUNDUP)



・ 切り下げ (ROUNDDOWN)

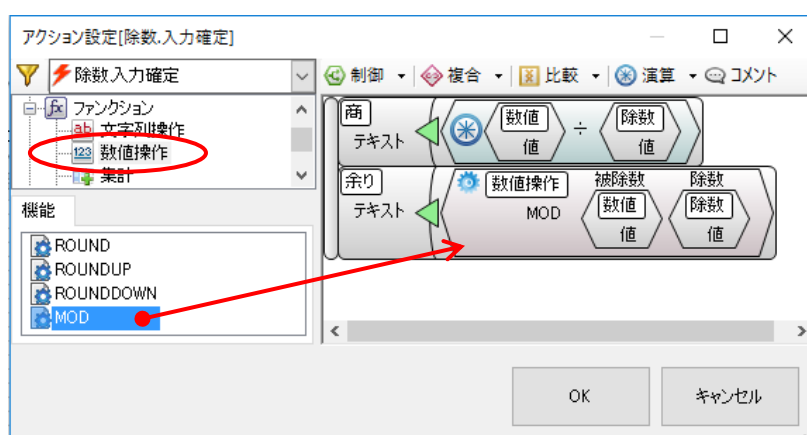


40. 除算の余りを表示する

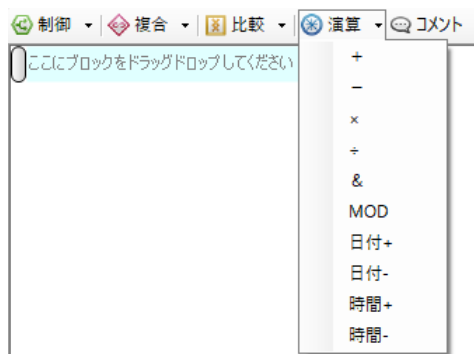
演算で除算の余りを求める時は、アクション設定のファンクションから「MOD」機能を使用します。

$$157 \div 5 = 31 \dots 2$$

ファンクションの「数値操作」オブジェクトから「MOD」ブロックを配置し、被除数と除数を設定します。



アクションの四則演算はツールバーからアイテムを選択し配置します。

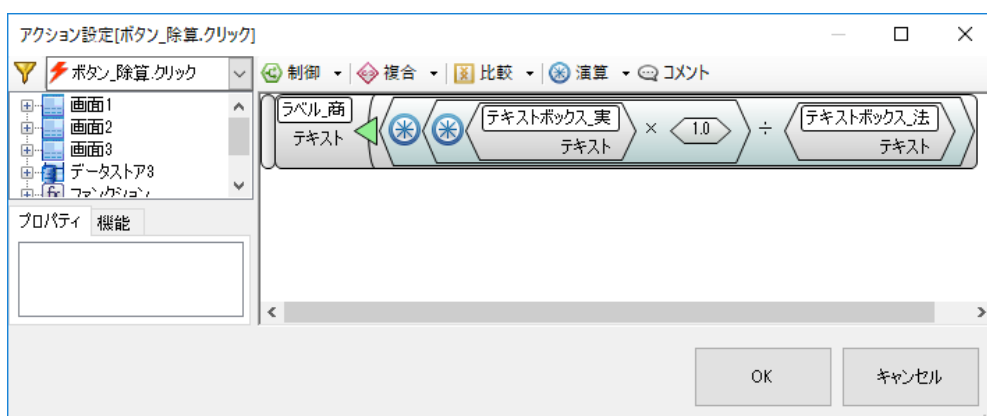


41. 除算で少数点まで表示する

「整数÷整数」の除算の場合、商が整数で表示されます。小数点まで商を表示する時は、「小数÷整数」または「整数÷小数」の式になるようにアクションを作成します。

$$\begin{array}{ccccc} \boxed{1} & \div & \boxed{10} & = & \boxed{0} \\ \boxed{1} & \div & \boxed{10} & = & \boxed{0.1} \end{array}$$

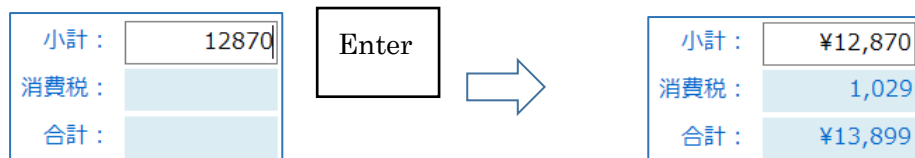
数値を入力するテキストボックスとボタンを配置し、クリックイベントのアクションを下図のように、「割られる数×1.0÷割る数」の式を作成します。



先に「1.0」を乗算しておくことで、小数の式として計算されます。

42. 消費税を計算して表示する

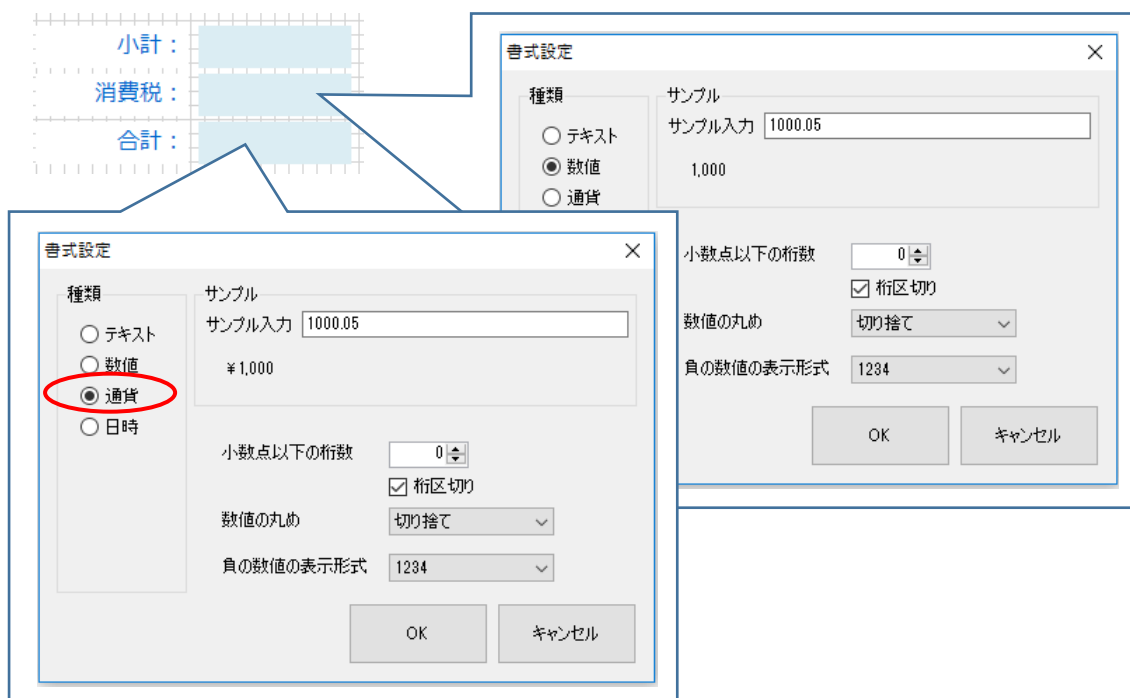
消費税を求めるような数値計算は、アクション設定で行います。計算結果の切り捨てや四捨五入などの指定は表示上の扱なので、「書式」プロパティで設定します。



例えば、上図のように小計を入力確定したタイミングで、小計から消費税と合計を求める場合、テキストボックスの入力確定イベントのアクションに計算式を設定します。

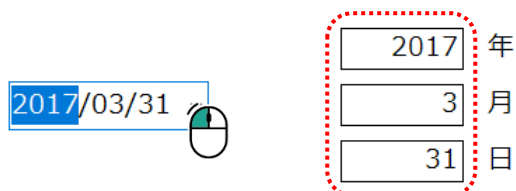


その他、カンマ (,) 区切りや「¥」マークの表示は、「書式」プロパティから設定します。

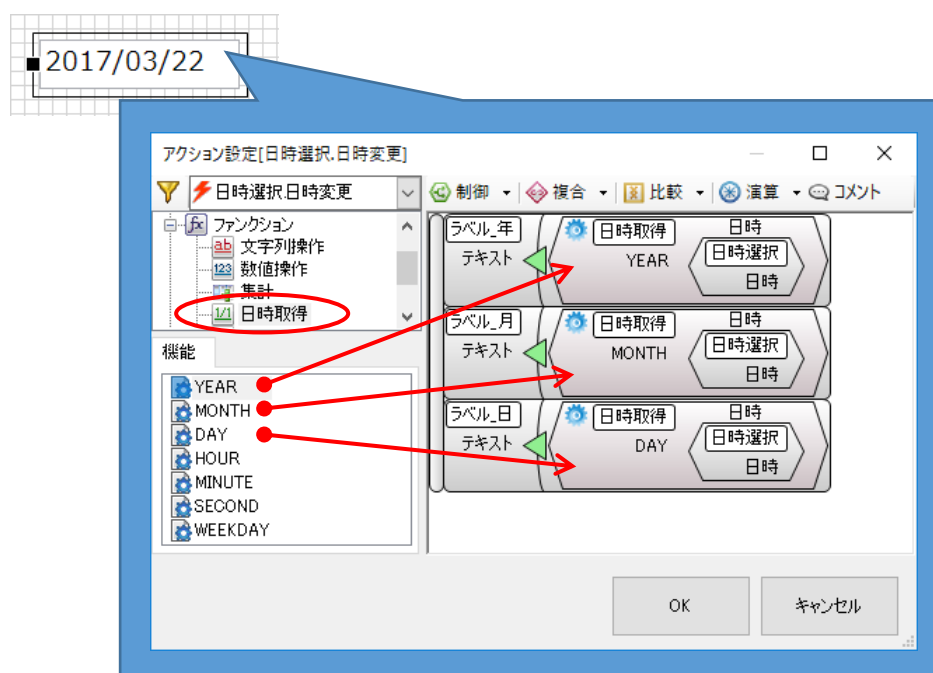


43. 日付から年／月／日を取得する

日時選択部品から年／月／日を取得してラベルに表示します。表示の変更だけの場合、部品の書式でも年／月／日のみを表示することが可能です。データとして年／月／日を取り出す場合は、アクション設定のファンクションから「YEAR」「MONTH」「DAY」機能を使用します。



日時選択部品の日時変更イベントのアクションに、表示するラベル部品のテキストブロックを配置し、ファンクションの「日時取得」オブジェクトから各ブロックを組み合わせます。日時は日付選択部品の「日時」プロパティを使用します。



テーブルには、下図のように保存できます。

年	月	日
2017	3	31
2017	4	1
2017	4	2



YEAR : 年

hour ; 時

WEEKDAY : 曜日

MONTH : 月

MINUTE : 分

DAY : 日

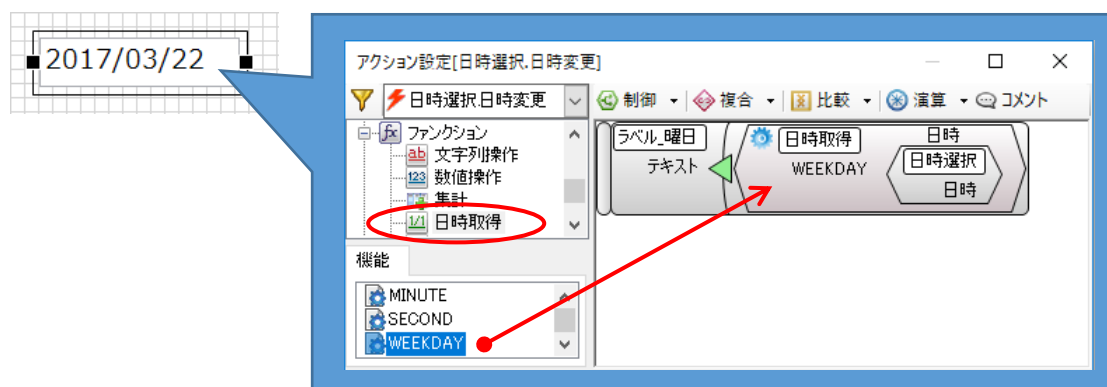
SECOND : 秒

44. 日付から曜日を取得する

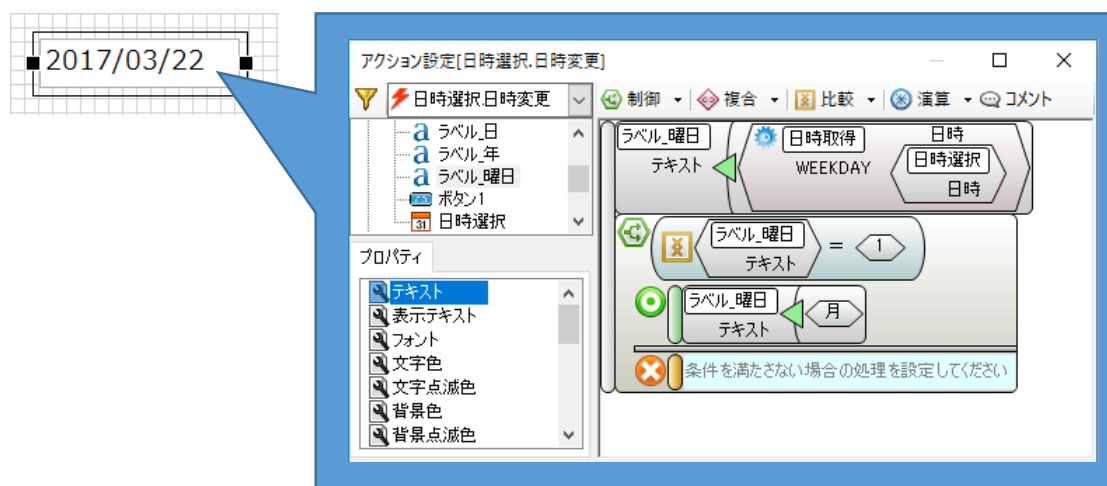
日付の入ったデータから曜日に対応した数値を取得します。アクション設定のファンクションから「WEEKDAY」機能を使用します。



日時選択部品の日時変更イベントのアクションに、表示するラベル部品のテキストブロックを配置し、ファンクションの「日時取得」オブジェクトから「WEEKDAY」ブロックを組み合わせます。日時は日時選択部品の「日時」プロパティを使用します。



WEEKDAY は曜日を数値で返す機能です。取得した数値は、特定の曜日に色を付けることや、曜日名を表示することに使用できます。



WEEKDAY

0 : 日曜日 1 : 月曜日 2 : 火曜日 3 : 水曜日 4 : 木曜日 5 : 金曜日 6 : 土曜日

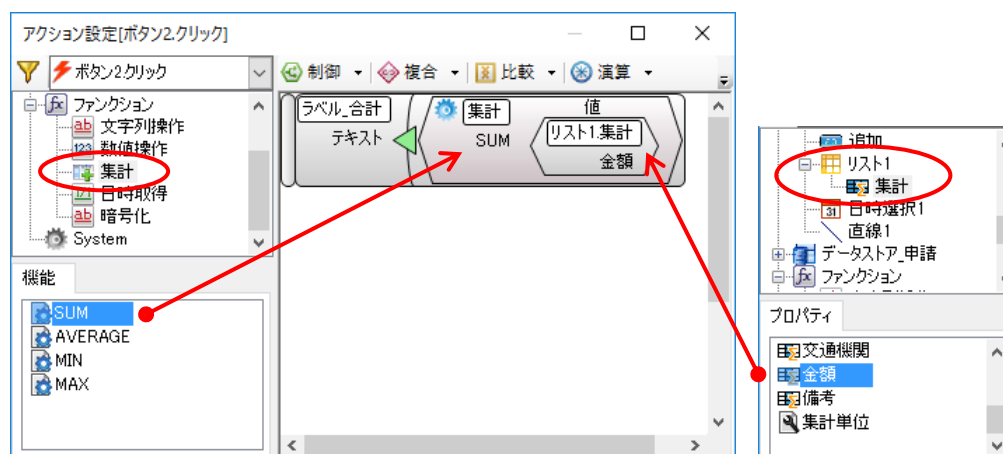
45. リストの合計値を表示する

リストに表示した金額や数値の合計を求める時は、アクション設定からファンクションから「SUM」機能を使用します。求める合計値はラベルやテキストボックス部品に表示します。

日付	目的	乗車駅	～	降車駅	交通機関	金額
2017/03/31	打ち合わせ	名古屋		上小田井	JR	¥240
2017/04/03	展示会	金山		名古屋	JR	¥170
2017/04/03	展示会	名古屋		金山	地下鉄	¥170

合計	¥580
----	------

アクション設定画面に、表示する部品のテキストブロックを配置し、ファンクションの「集計」オブジェクトから「SUM」ブロックを組み合わせます。値はリスト部品の「集計」オブジェクトから、合計を求めたい列のプロパティを使用します。



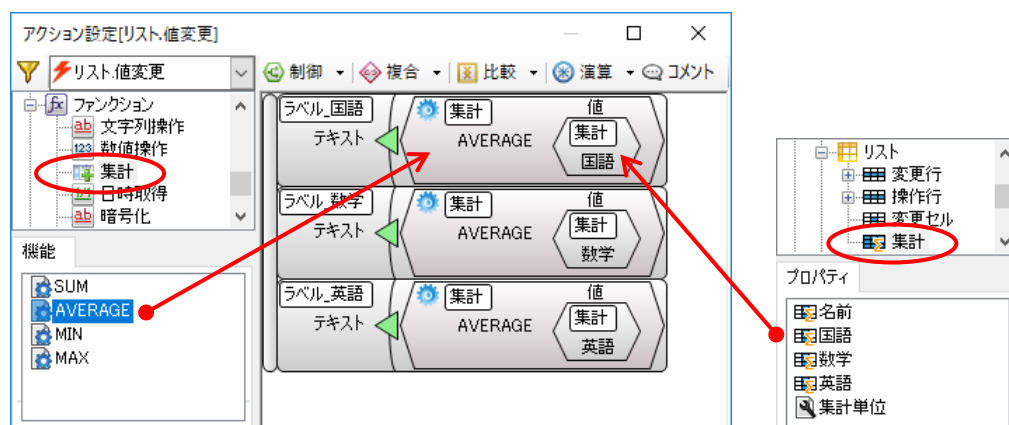
46. リストの平均値を表示する

リストに表示した金額や数値の平均値を求める時は、アクション設定のファンクションから「AVERAGE」機能を使用します。求めた平均値は、ラベルやテキストボックス部品に表示します。

名前	国語	数学	英語
相田 豊	56	94	47
井上 歩美	98	81	88
宇野 大輔	86	63	75
榎本 翔	77	84	53
恩田 穂香	95	74	79

	国語	数学	英語
平均点	82.4	79.2	68.4

アクション設定画面に、表示する部品のテキストブロックを配置し、ファンクションの「集計」オブジェクトから「AVERAGE」ブロックを組み合わせます。値はリスト部品の「集計」オブジェクトから、平均を求めたい列のプロパティを使用します。



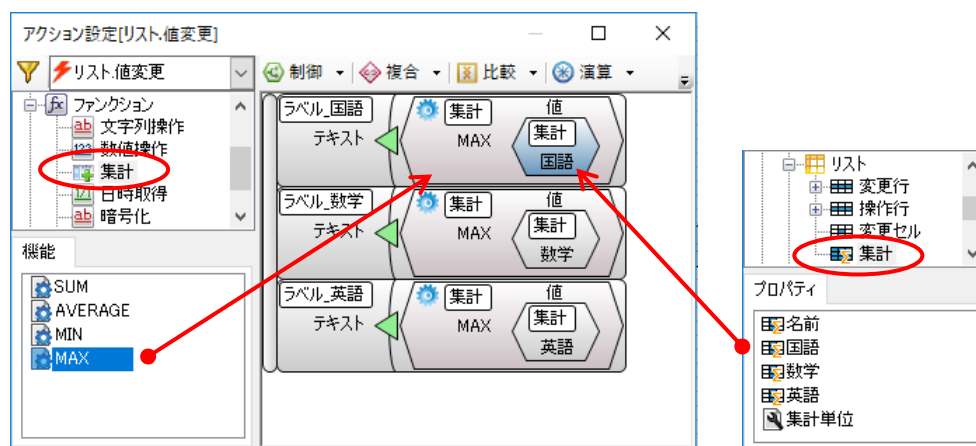
47. リストの最大値を表示する

リストに表示した金額や数値の最大値を求める時は、アクション設定のファンクションから「MAX」機能を使用します。求めた最大値は、ラベルやテキストボックス部品に表示します。

名前	国語	数学	英語
相田 豊	56	94	47
井上 歩美	98	81	88
宇野 大輔	86	63	75
榎本 翔	77	84	53
恩田 穂香	95	74	79

	国語	数学	英語
最低点	98	94	88

アクション設定画面に、表示する部品のテキストブロックを配置し、ファンクションの「集計」オブジェクトから「MAX」ブロックを組み合わせます。値はリスト部品の「集計」オブジェクトから、最大値を求めたい列のプロパティを使用します。



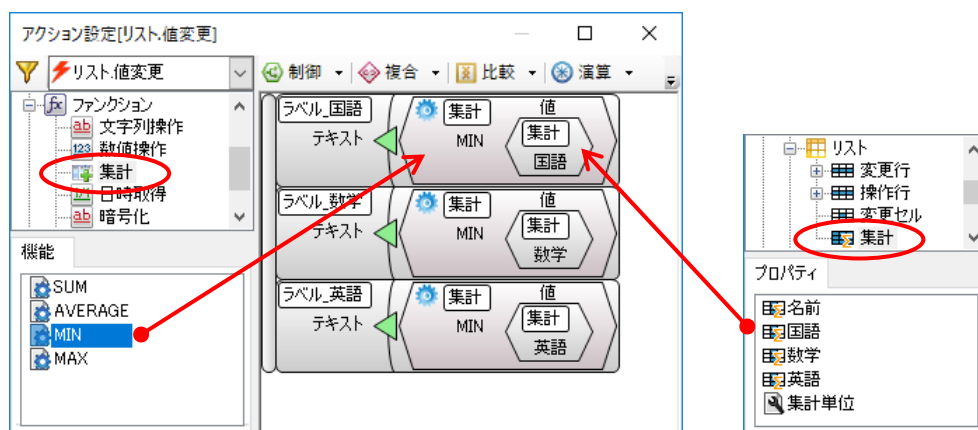
48. リストから最小値を表示する

リストに表示した金額や数値の最大値を求める時は、アクション設定のファンクションから「MIN」機能を使用します。求めた最大値は、ラベルやテキストボックス部品に表示します。

名前	国語	数学	英語
相田 豊	56	94	47
井上 歩美	98	81	88
宇野 大輔	86	63	75
榎本 翔	77	84	53
恩田 穂香	95	74	79

	国語	数学	英語
最低点	56	63	47

アクション設定画面に、表示する部品のテキストブロックを配置し、ファンクションの「集計」オブジェクトから「MIN」ブロックを組み合わせます。値はリスト部品の「集計」オブジェクトから、最小値を求めたい列のプロパティを使用します。



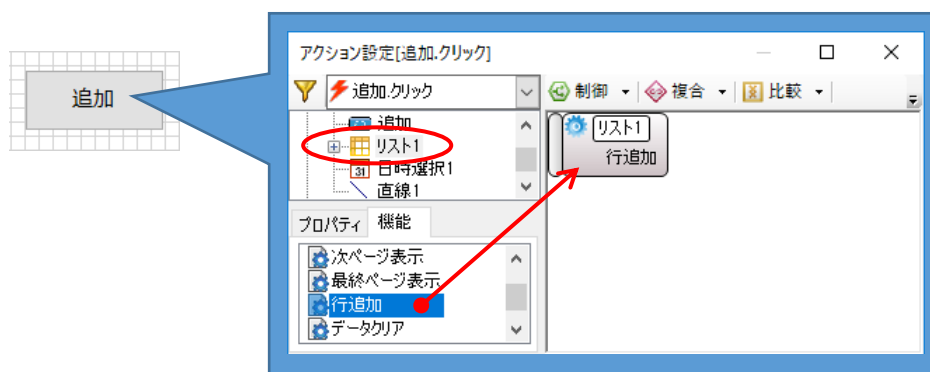
49. リストに行を追加する

リストに空白の行を追加します。リストに新規行を追加する場合、リストの「行追加」機能を使用します。

日付	目的	乗車駅	～	降車駅	交通機関	金額
2017/03/31	打ち合わせ	名古屋	～	上小田井	地下鉄	¥240
2017/04/03	展示会	金山	～	名古屋	JR	¥170
2017/04/03	展示会	名古屋	～	金山	JR	¥170
			～			

追加

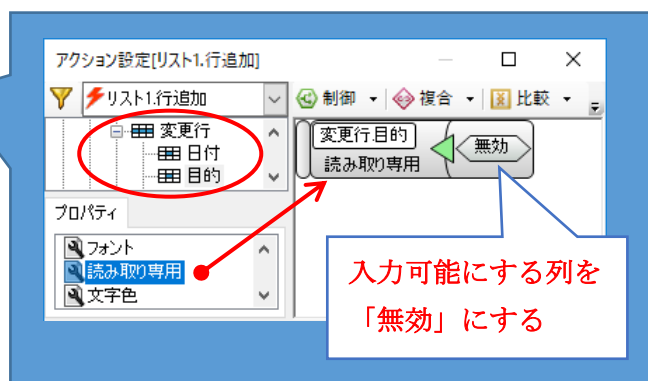
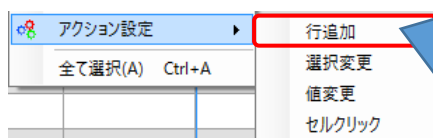
ボタンのクリックのイベントに行を追加するアクションを作成します。



追加した行は、列の「読み取り専用」プロパティを「無効」すると入力できるようになります。全ての行で入力可能にする場合は、あらかじめ部品に設定しておきます。

追加行のみ入力可能にする場合は、部品に「有効」を設定しておき、リストの行追加イベントのアクションから「無効」に切り替えます。

動作	
リサイズモード	変更なし
文字列の制御	なし
実行時リサイズ	無効
編集タイプ	テキストボックス
読み取り専用	有効
日本語入力モード	コントロールなし



入力可能にする列を
「無効」にする

50. 条件に当てはまる文字列の色を変える（リスト）

リストに特定の文字列が表示されている際、文字色を変えます。

8月	気温		
日	平均気温	最高気温	最低気温
1	31.9	38.4	27.3
2	31.1	37.0	27.2
3	30.1	34.0	26.0

リストの値変更イベントに、条件を使用したアクションを作成します。条件は、リストの「変更行」オブジェクトから文字色を変更する列の「値」プロパティを設定します。分岐の処理には「文字色」プロパティを使用し、色を選択します。

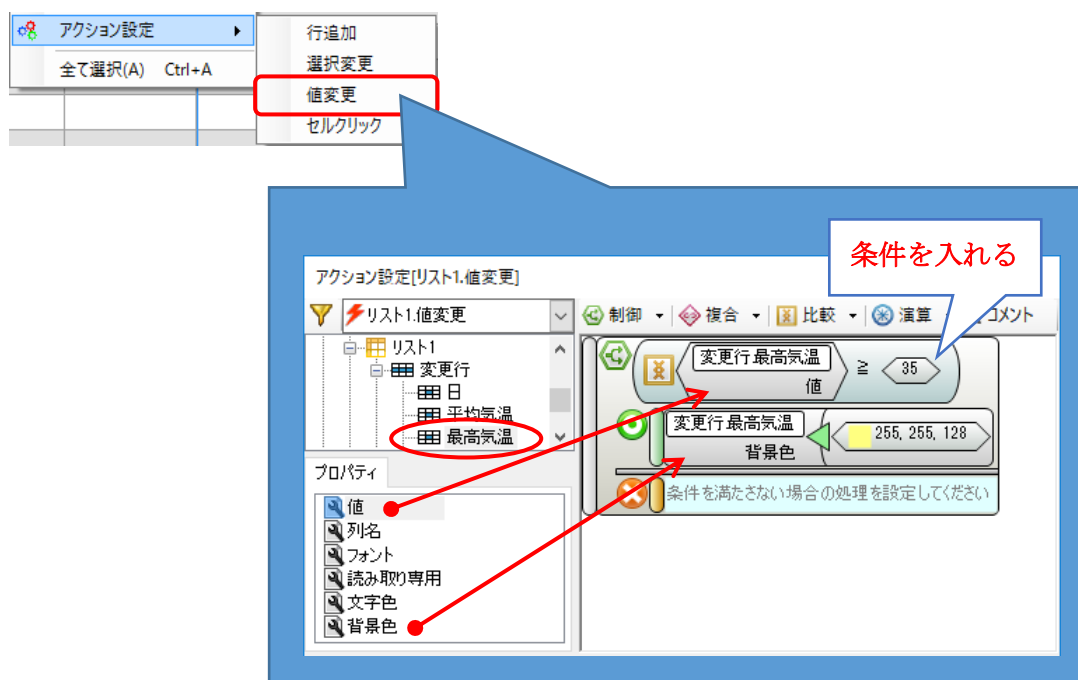


51. 条件に当てはまる欄の色を変える（リスト）

リストに特定の文字列が入力されている際、欄に色を付けます。

8月	気温		
日	平均気温	最高気温	最低気温
1	31.9	38.4	27.3
2	31.1	37.0	27.2
3	30.1	34.0	26.0

リストの値変更イベントに、条件を使用したアクションを作成します。条件は、リストの「変更行」オブジェクトから背景色を変更する列の「値」プロパティを使用し、設定します。分岐の処理には「背景色」プロパティを使用し、色を選択します。



52. リストのページ番号を表示する

リストのページ番号をラベルに表示させます。

リストのプロパティから表示行数を指定した場合は、縦のスクロールバーが表示されません。表示領域を超えたデータは、ページの切り替えをするアクションを作成します。このような場合、リストのプロパティから、ページ総数とページ番号が取得できます。

※ページの切り替えは「17. リストの表示行数を指定する」を参照してください。

実行ID	時間	顧客名	部署	荷姿	荷物
OP002	12:00	BBB株式会社	技術部	段ボール	書類
OP009	11:15	BBB株式会社	技術部	封筒	書類
OP010	11:15	BBB株式会社	技術部	封筒	書類
OP004	10:42	BBB株式会社	技術部	段ボール	精密機器
OP005	11:15	株式会社AAA	営業部	封筒	書類

詳細

1 / 3 ページ

表示に使うラベルを画面に配置し、ページ情報を渡します。

ページ総数はデータが表示された時に取得できるように、リストの値変更イベントに設定し、ページ番号はリストを切替えるクリックイベントに設定します。アクション設定で、リストの「ページ数」「現在ページ」プロパティを使用し作成します。

The image shows two screenshots of the 'アクション設定' (Action Settings) dialog box in a software application.

The top screenshot is titled 'アクション設定[リスト_一覧.値変更]' (Action Settings [List View Value Change]). It shows the 'リスト_一覧' (List View) event selected. In the 'プロパティ' (Properties) section, 'ページ数' (Page Count) is selected. In the 'ラベル' (Label) section, 'ラベル_可変_ページ数' (Label Variable Page Count) is selected, and a red arrow points from the 'ページ数' property to the 'ページ数' label.

The bottom screenshot is titled 'アクション設定[ボタン1.クリック]' (Action Settings [Button 1 Click]). It shows the 'ボタン1.クリック' (Button 1 Click) event selected. In the 'プロパティ' (Properties) section, '現在ページ' (Current Page) is selected. In the 'ラベル' (Label) section, 'ラベル_可変_現在ページ' (Label Variable Current Page) is selected, and a red arrow points from the '現在ページ' property to the '現在ページ' label.

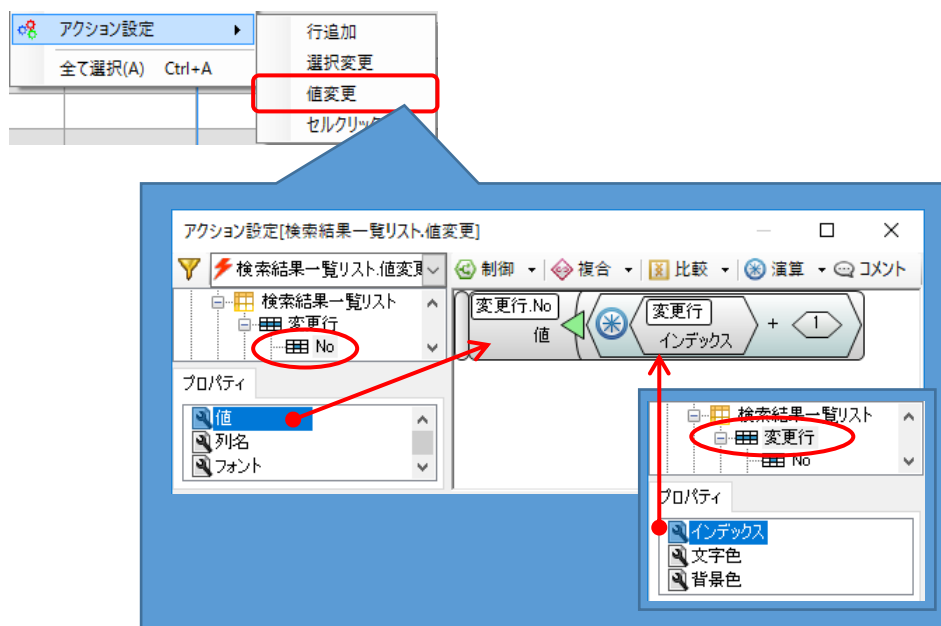
53. リストに行番号を付与する

リストの表示行に連番を付与する場合、リストの「変更行」オブジェクトの「インデックス」プロパティを使用します。

No	注文番号	購入日	商品名	価格	数量	合計金額
1	A1000	2016/10/02	圧力鍋	¥7,000	1	¥7,000
2	A1001	2016/10/14	フライパン	¥3,000	2	¥6,000
3	A1002	2016/10/14	タッパー	¥500	5	¥2,500
4	A1003	2016/11/24	包丁	¥2,000	3	¥6,000
5	A1004	2017/01/31	ピーラー	¥900	1	¥900

リストの値変更イベントに、行番号を付与するアクションを作成します。

インデックスは、リストの先頭行を「0」とした連番を取得するプロパティです。インデックスは「0」から始まるので、行に連番「1」から付与する場合は、「インデックス」+「1」の値を取得するアクションを作成します。



54. リストの最終行を自動で選択する

リストを表示した際、自動で一番下の行を選択させます。

初期状態の場合、先頭行を選択していますが、アクション設定で選択行を変更することができます。

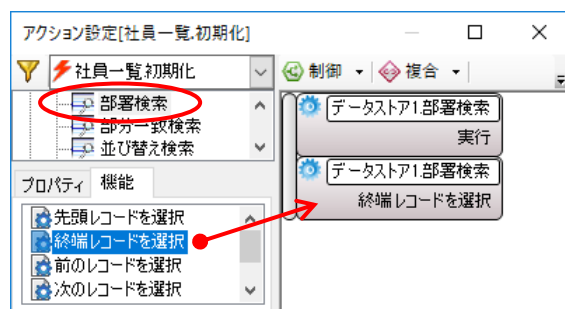
社員No	名前	部署	住所	TEL
1001	鈴木 茂	経理部	愛知県名古屋市	000-111-1111
1002	田中 光一	経理部	愛知県東海市	000-222-2222
2001	山本 信之	営業部	岐阜県岐阜市	000-333-3333
2002	大川 由紀子	営業部	三重県鳥羽市	000-444-4444
3001	野中 和樹	技術部	愛知県碧南市	000-555-5555
3002	川村 加奈	技術部	岐阜県中津川市	000-666-6666



社員No	名前	部署	住所	TEL
1001	鈴木 茂	経理部	愛知県名古屋市	000-111-1111
1002	田中 光一	経理部	愛知県東海市	000-222-2222
2001	山本 信之	営業部	岐阜県岐阜市	000-333-3333
2002	大川 由紀子	営業部	三重県鳥羽市	000-444-4444
3001	野中 和樹	技術部	愛知県碧南市	000-555-5555
3002	川村 加奈	技術部	岐阜県中津川市	000-666-6666

データストアからデータリンクで検索クエリを実行し情報を取得している場合、検索クエリの「終端レコードを選択」機能を使用することができます。

アクションを作成する時は、検索クエリの「実行」機能呼び出した後に設定します。



「前のレコードを選択」「次のレコードを選択」機能を使用すると、他の行も自動で選択できるようになります。

55. 今月のカレンダーを表示する

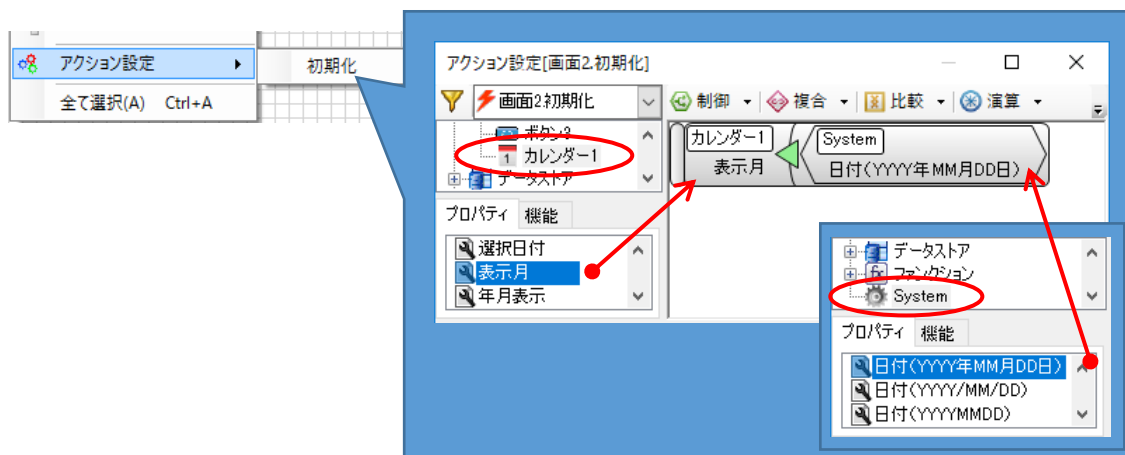
カレンダーに今月を表示する場合、動作させるシステムの現在日時を使用します。

現在日時： 2016年07月14日 05時17分20秒

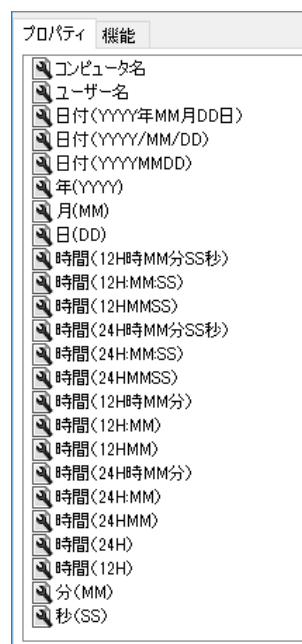
2016年						
7月						
日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	1	2

画面表示時に、毎回現在の日時を取得するように、画面の初期化にアクションを作成します。システムの現在日時を取得するには、アクション設定のシステム部品を使用します。

※System は使用している PC の設定を反映しています。



System のプロパティからは、
コンピュータ名や日時が
取得できます。



56. カレンダーで選択した日付を表示する

カレンダーの日付をクリックし、日付情報をラベルに表示させます。

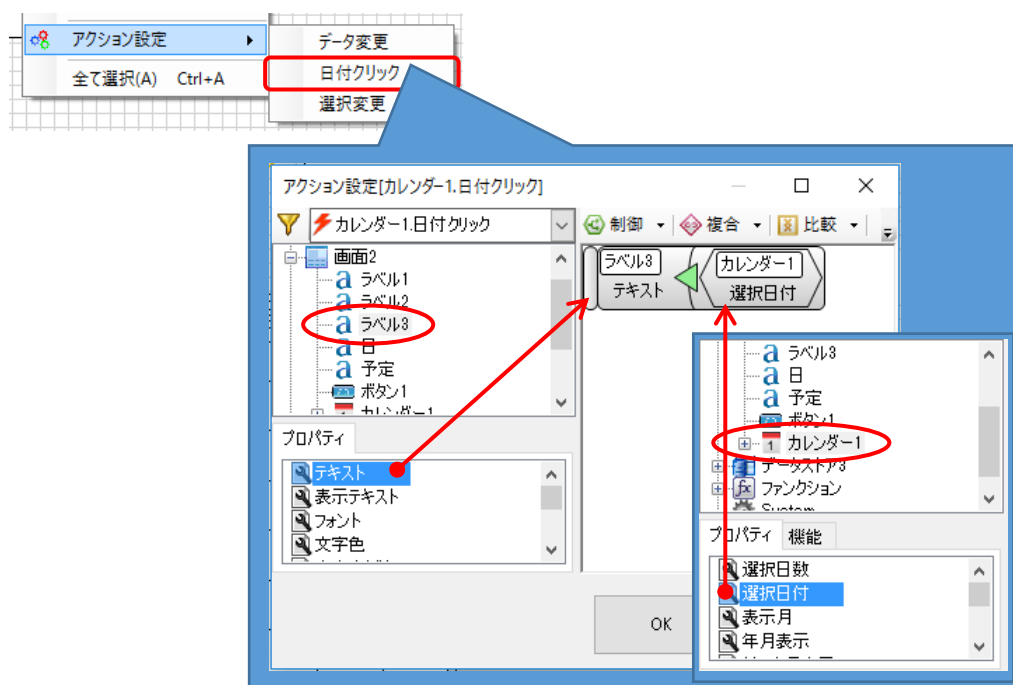
2016年6月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2016年06月08日

カレンダーの「日付選択」プロパティを「有効」にします。「無効」の場合は、カレンダーの日付をクリックしても選択されません。

動作	
日付選択	有効
複数選択	無効
有効/無効	有効

カレンダーの日付クリックイベントに、選択した日付を取得するアクションを設定します。



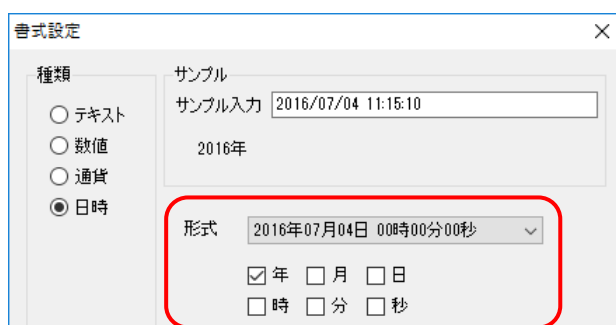
表示するラベルには「書式」プロパティを設定しておきます。設定することによって、年だけ月だけなど、指定した形式で表示できます。

57. カレンダーから表示中の年を取得する

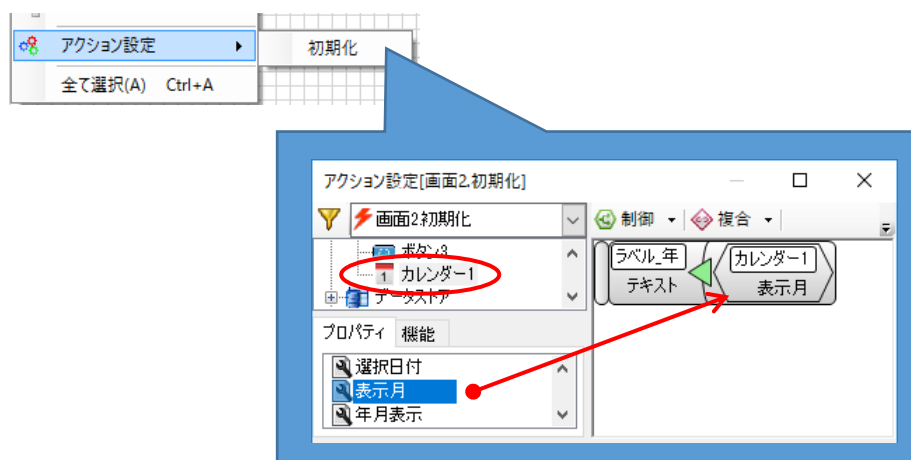
カレンダーの上部に年を表示させる場合、ラベル部品を使用します。

2016年						
6月						
日	月	火	水	木	金	土
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11

カレンダーの上にラベル部品を配置し、「書式」プロパティの種類を「日時」に設定します。「年」のみ取得する場合、書式設定の「形式」を選択したのちに、「年」以外のチェックを外します。



画面の初期化にアクション設定すると、画面表示時にアクションが実行され、「年」が表示されます。アクションは、ラベル部品のテキストブロックに、カレンダー部品の「表示月」ブロックを組み合わせで作成します。



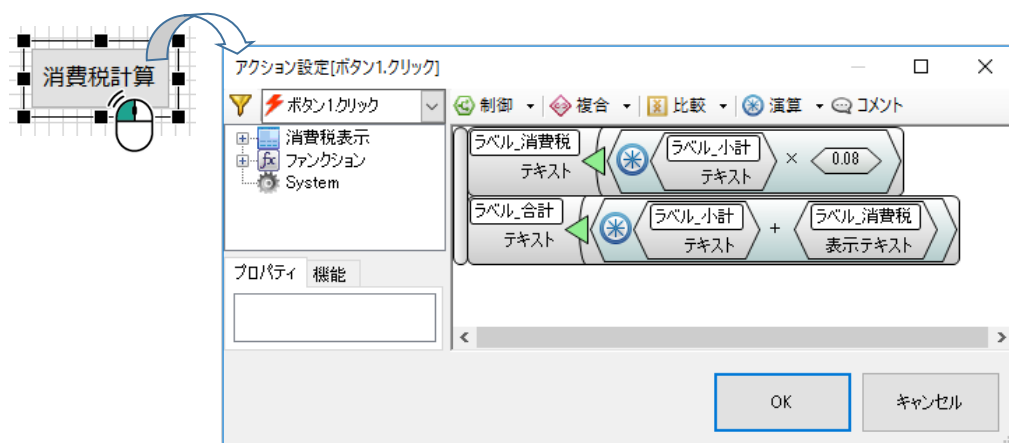
58. ボタンのクリック時に動作する

ボタンのクリック時に、入力した文字を消したり、入力した数の計算をしたりする場合、ボタンのクリックイベントにアクションを設定します。



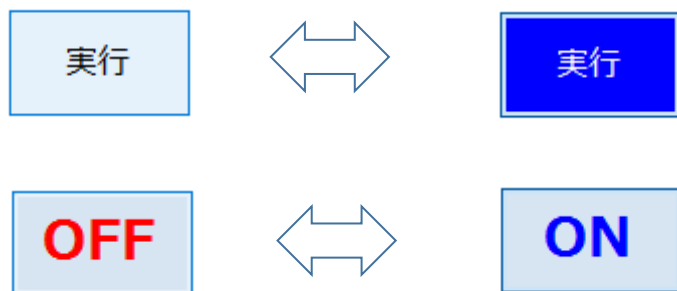
画面に配置したボタン部品のアクション設定画面を開きます。

小計から消費税と合計を求める計算式を設定します。

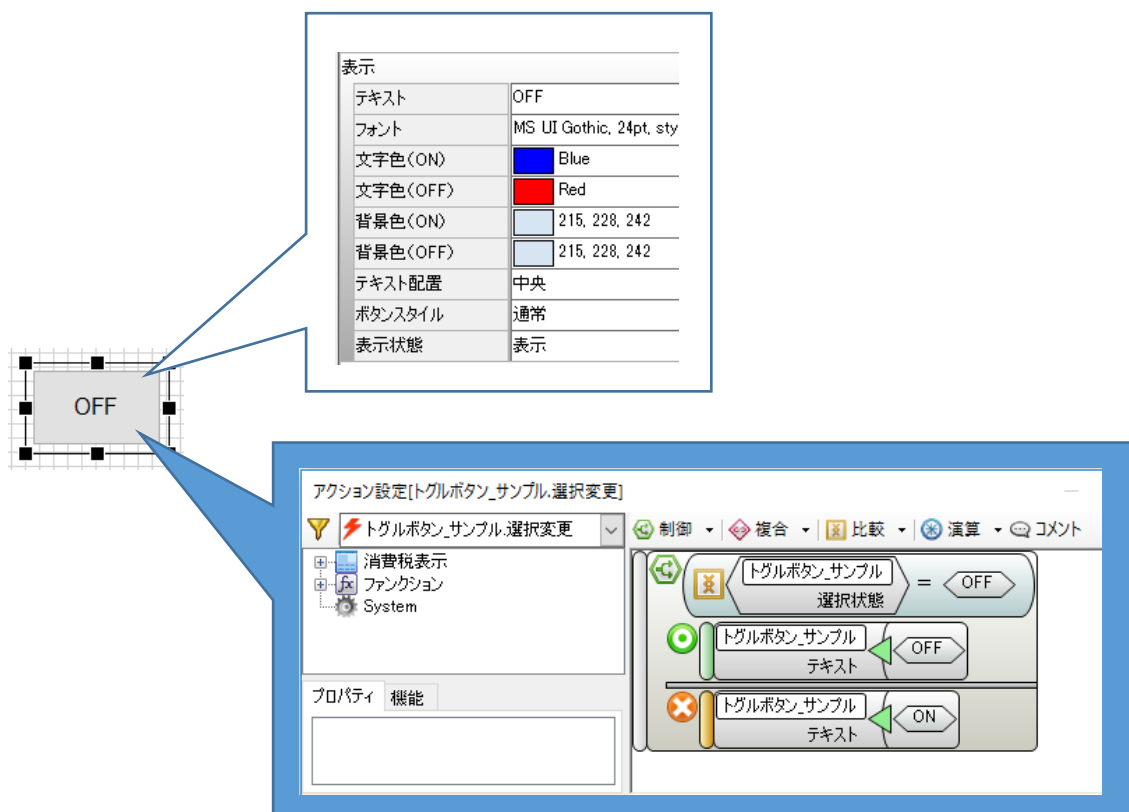


59. ON/OFF 状態の切り替えボタンを表示する

クリックすることで ON/OFF を切り替え、その状態を維持するボタンをトグルボタンと呼びます。ボタンの ON/OFF で色を変えたり、文字を変えたりして使用します。



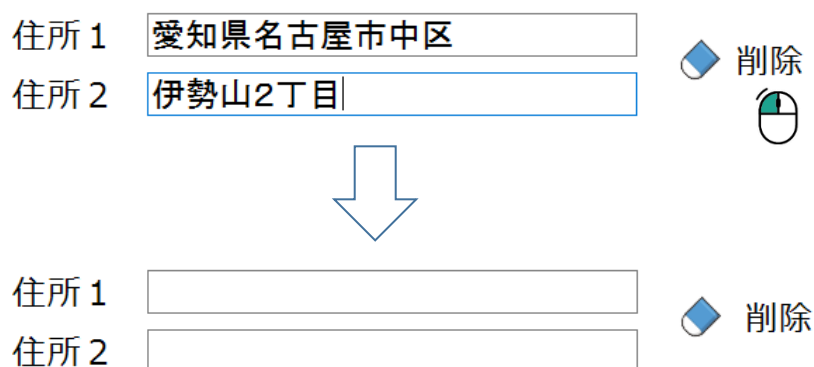
ON/OFF 時の各色は、プロパティウィンドウから設定します。ボタンの表示テキストをクリック時に変更する場合、トグルボタンの選択変更イベントにアクションを作成します。



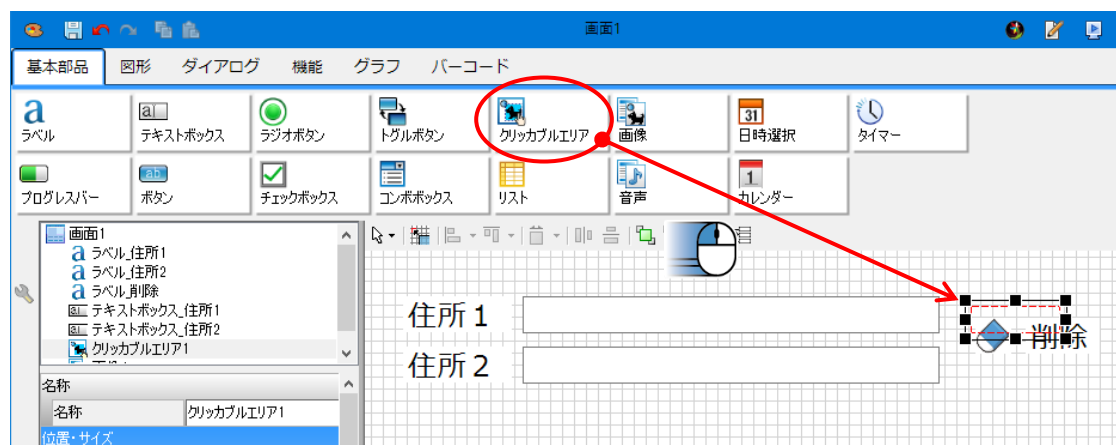
60. ボタン以外にもクリック動作を設定する

ボタン・画像部品には、クリックイベントにアクションを設定することができますが、それ以外の場所にクリック動作を設定する場合は、クリックابلエリア部品を使用します。

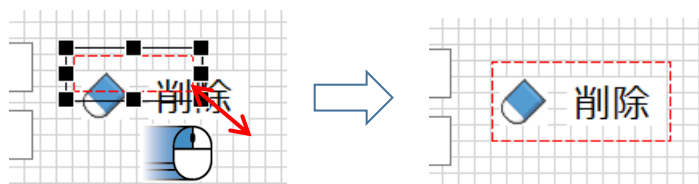
例えば、画像部品とラベル部品上にクリックابلエリア部品を配置し、クリック時の動作を設定できます。



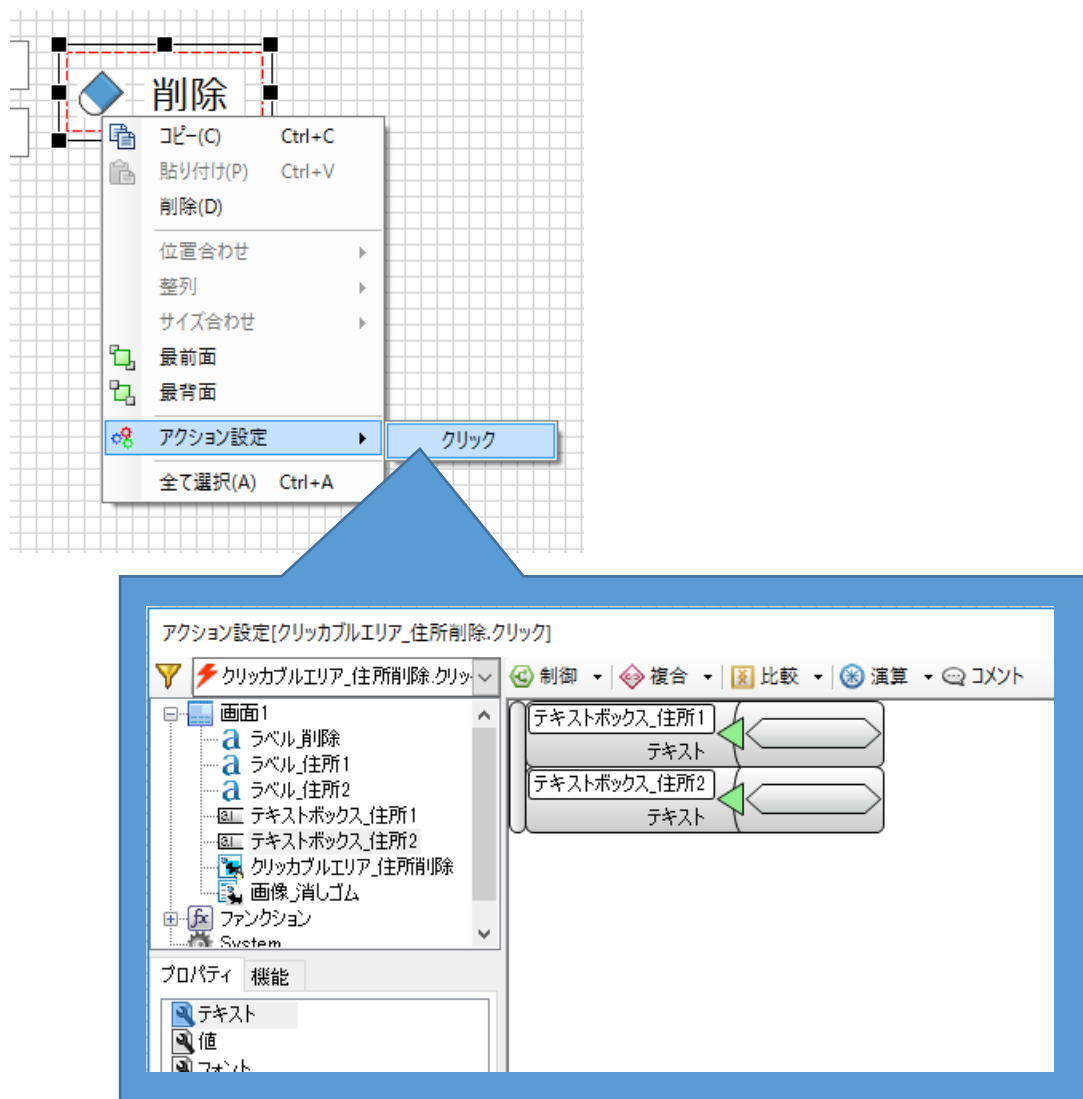
クリックابلエリア部品は、画面に配置すると赤い点線で表示されます。赤い点線の内側がクリック時にアクション実行されるエリアです。



画面に配置した後、クリックابلエリアのサイズを変更します。



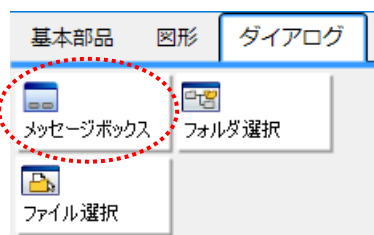
クリック可能なエリアのクリックイベントに住所の削除処理を設定します。



61. メッセージボックスを表示する

ユーザー操作や動作に対するメッセージをポップアップ表示する場合、メッセージボックスを使用します。メッセージボックスを表示して、動作の確認や警告を知らせることができます。

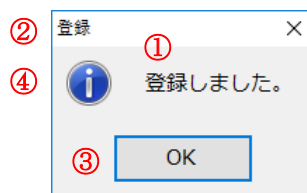
※この部品は実行時、画面に表示されません。



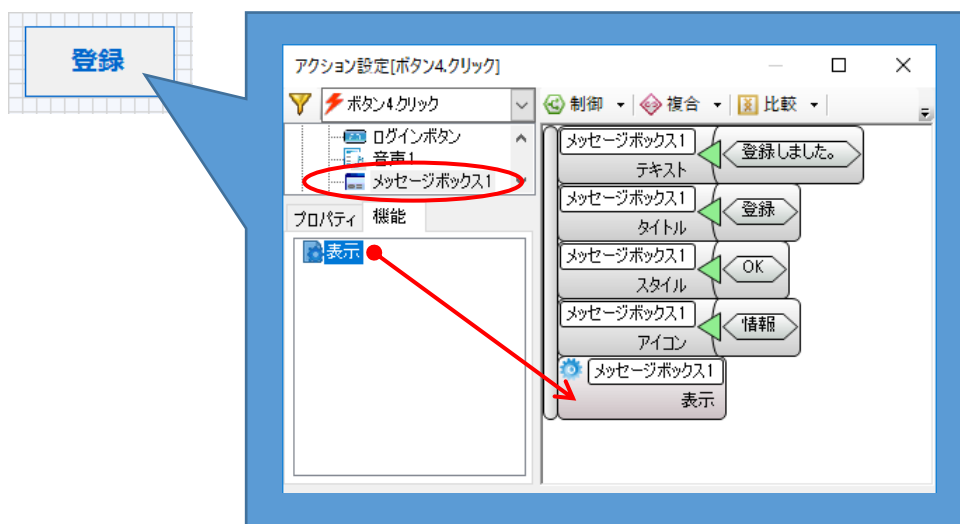
メッセージボックスの表示機能をボタンのクリックイベントに設定し、メッセージボックスを表示します。表示内容は下図のように設定します。

①	表示	
②	テキスト	登録しました。
③	タイトル	登録
④	スタイル	OK
	アイコン	情報
	フォント	メイリオ, 11.25pt

表示例 ②

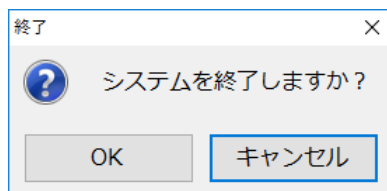


表示の各プロパティは、アクション設定でも設定が可能です。最後にメッセージボックスの「表示」ブロックを配置します。

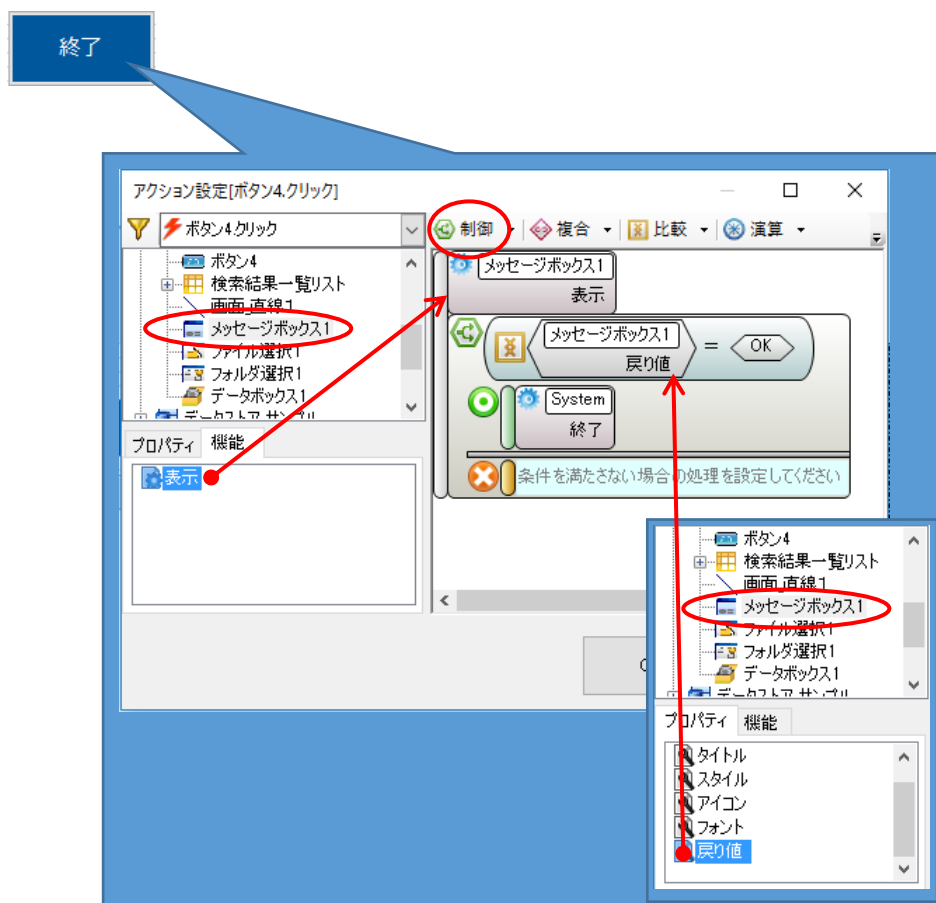


62. メッセージボックスから動作を分岐する

メッセージボックス部品を使い確認メッセージを表示させた場合、「OK」ボタンを押下した後の処理、「キャンセル」ボタンを押下した後の処理を分けることができます。



アクション設定画面に、メッセージボックス部品の「表示」ブロックを配置した後、「制御」の分岐ブロックを使用して処理を分岐させます。



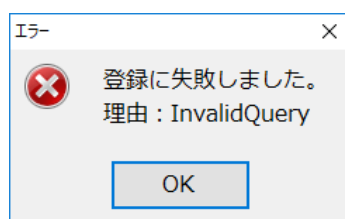
「キャンセル」ボタン押下時も処理を設定したい場合は、分岐ブロックの「×」にも設定を追加しましょう。

63. エラーメッセージを表示する

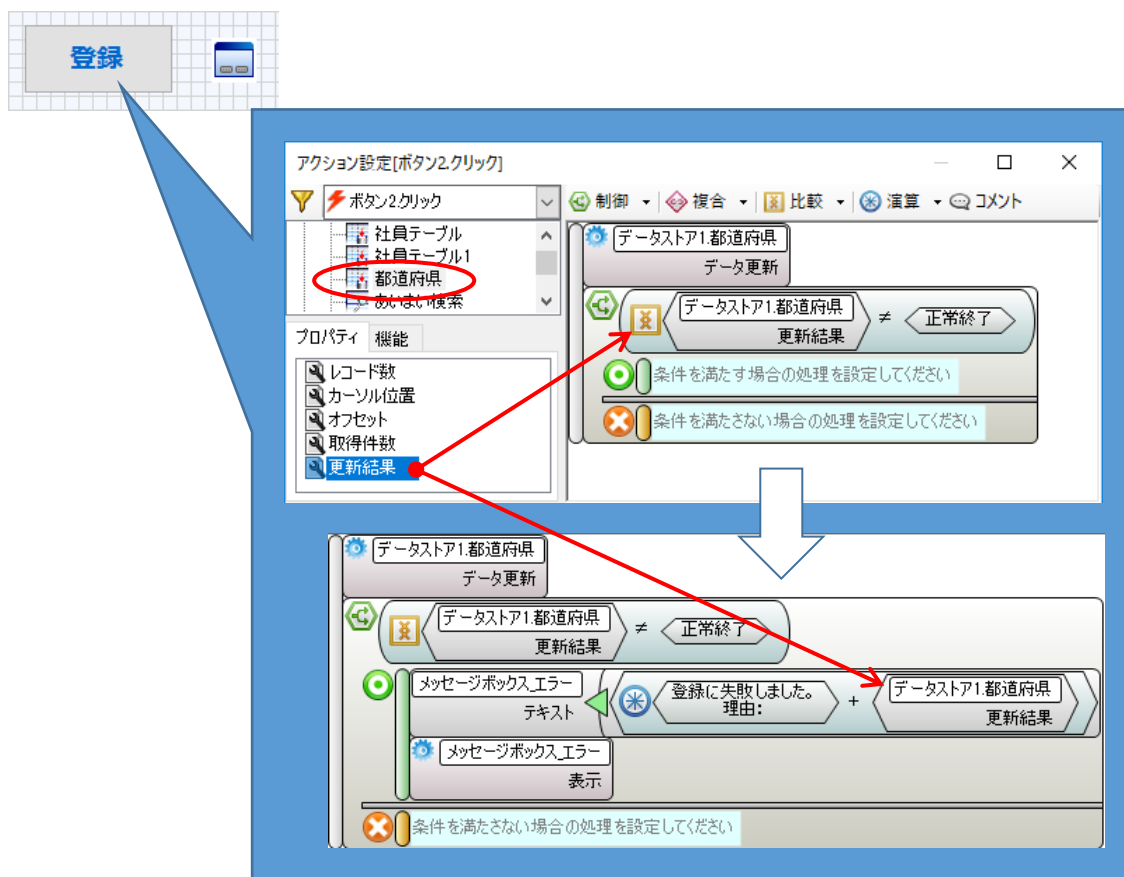
データ登録や取得でエラーが発生した時にメッセージを表示する場合、メッセージボックス部品を使用します。

RADEN では、テーブルやクエリの実行結果、更新結果を取得できるので、エラーの理由として表示させることもできます。

※メッセージボックスの表示については「63. エラーメッセージを表示する」を参照してください。



データストアに対するデータ更新に失敗した時にメッセージを表示するように、アクションを設定します。

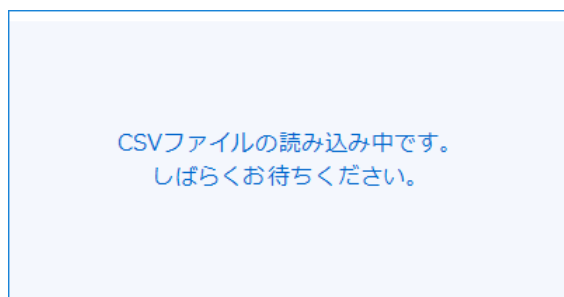


64. ダイアログでメッセージを表示する

ダイアログはメッセージボックスのように使うことも可能です。

ダイアログが表示中は他の画面操作ができないため、ダイアログをメッセージボックスのように表示させ、ユーザーの操作を制限することができます。ファイルの読み込みやデータの更新などで、処理に時間がかかる場合に役立ちます。

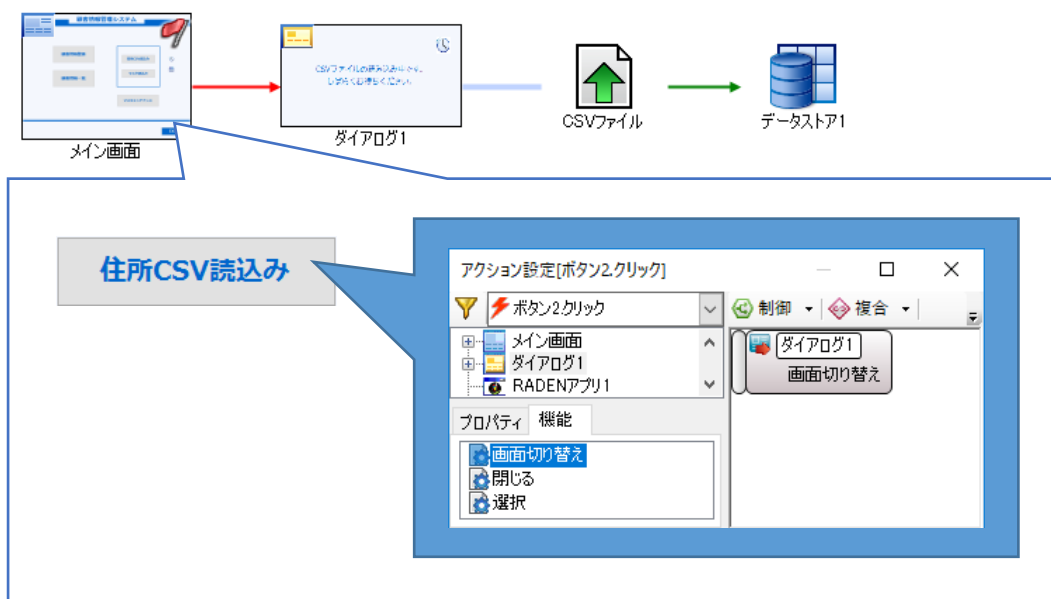
※ダイアログの表示については「72. ダイアログを表示する」を参照してください。



画面サイズを小さめに設定したダイアログを用意し、ラベル部品にメッセージを表示します。画面のプロパティウィンドウから、「タイトルバー表示」または「閉じるボタン」を非表示にしておくと、ユーザー操作によりダイアログを閉じることができなくなります。

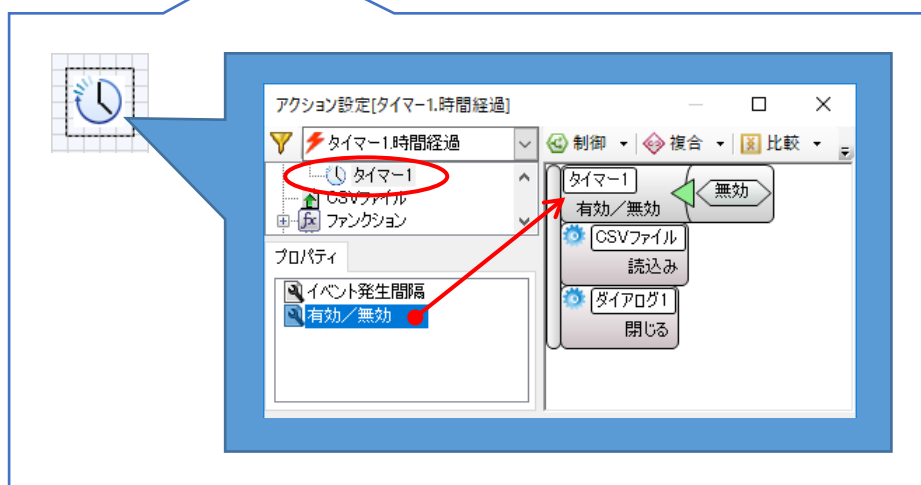
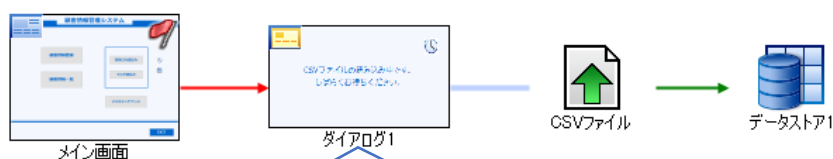
表示	
タイトル	ダイアログ1
背景色	244, 247, 253
背景画像	
背景画像レイアウト	並べて表示
タイトルバー表示	非表示
閉じるボタン	表示

まず、ダイアログを表示するアクションを作成します。



データの読み込みなどの処理はダイアログで行います。

ダイアログ表示後に処理を行うため、ダイアログにタイマー部品を配置し、時間経過イベントにアクションを作成します。タイマーの「イベント発生間隔」プロパティを「0」にすると、「有効／無効」プロパティが「有効」であっても作動しません。「1」以上の数値を指定するか、「有効／無効」プロパティを「無効」にして、ダイアログの初期化に「有効」を設定します。タイマーは以降動かないように、時間経過イベントに「無効」を設定します。

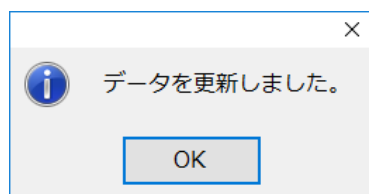


初期化イベントは、画面（ダイアログ）が表示される前に実行されます。タイマー部品を使わず、初期化にアクションを作成した場合、ダイアログを表示せずに閉じてしまうので注意しましょう。

65. 時間経過で動作を実行する

時間を指定して動作を実行させたい時や、一定周期で動作させたい時、タイマー部品を使用します。

例えば、一定周期でメッセージを表示する場合、タイマー部品を使って自動でメッセージボックスを表示することができます。

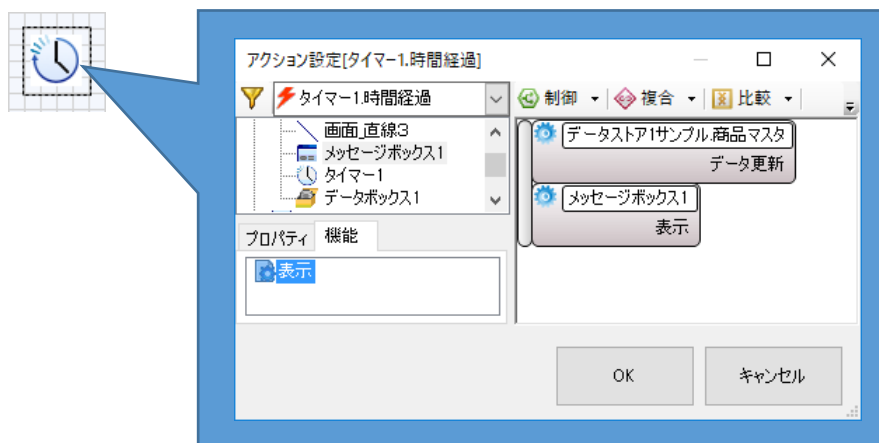


タイマー部品の設定時間は「イベント発生間隔」プロパティに設定します。1/1000 秒単位で指定でき、5 秒の場合は「5000」、1 分の場合は「60000」のように入力します。

動作	
イベント発生間隔	60000
有効/無効	有効

「有効」の場合、画面を表示すると同時にタイマーが作動します。作動させたくない場合は「無効」にし、アクションで「有効」に切り替えましょう。

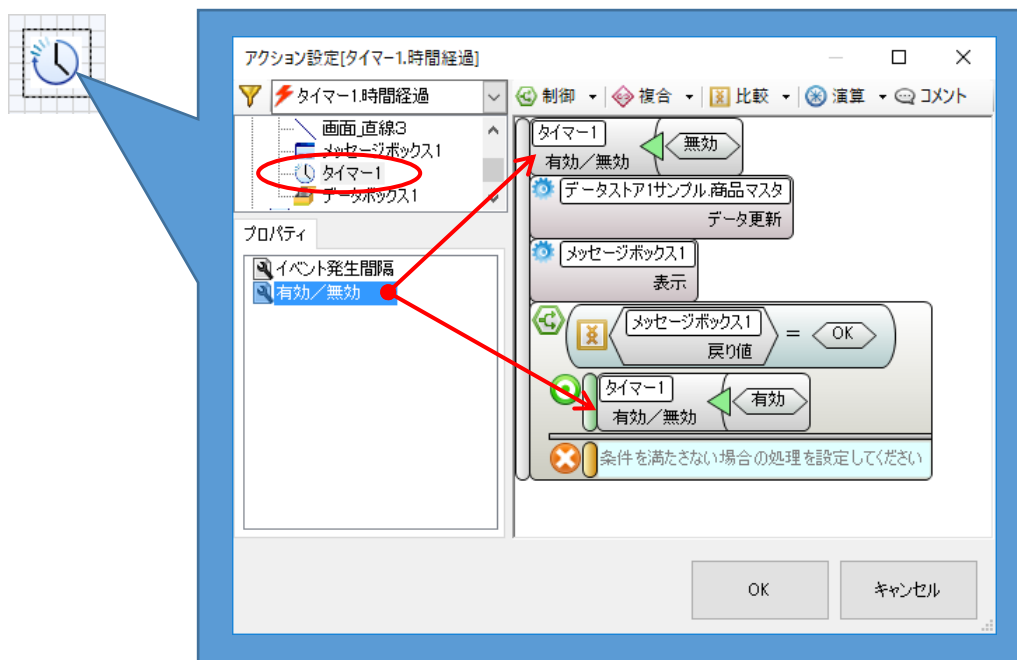
実行するアクションはタイマー部品の時間経過イベントに設定します。



タイマー部品を使用する時注意しなければならないのは、一度作動すると「無効」に切り替わるまで動き続けてしまう所です。

上図の場合、メッセージボックスが開いている時に時間が経過してしまうと、メッセージボックスを開くアクションが作動し、アクションに再入するエラーが起きます。

時間経過イベントが作動している間、タイマーを止めることで解消されます。



「イベント発生間隔」プロパティが「0」の場合は、「有効/無効」プロパティが「有効」であっても作動しません。
「イベント発生間隔」プロパティに「1」以上の値を設定しましょう。

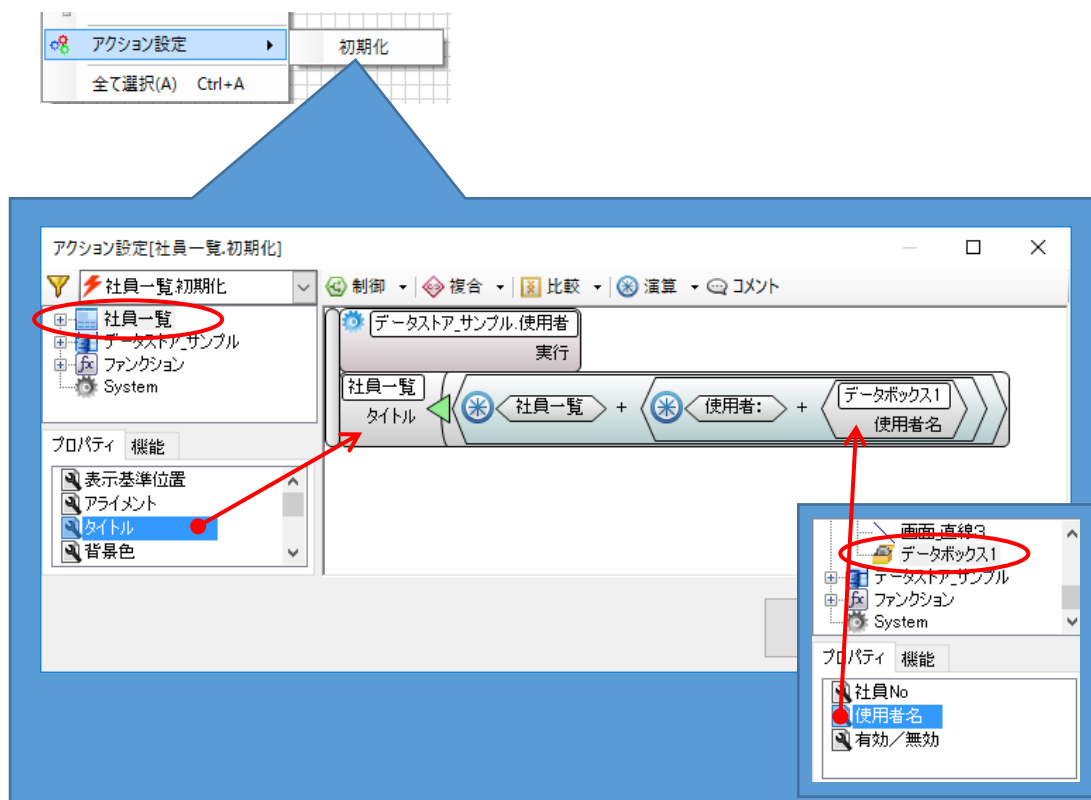
66. タイトルバーに文字列を表示する

画面上部に表示されるタイトルバーは、アクションから表示内容を変更することができます。

例えば、メイン画面やログイン画面などでユーザー情報を登録している場合、タイトルバーにユーザー名を表示することもできます。



画面の初期化イベントで画面の「タイトル」プロパティにユーザー情報を設定します。ユーザー情報は、画面切り替え前に切り替え先のデータボックスに設定しておく便利です。



67. 表示文字列を点滅させる

ラベル部品には点滅の機能があります。緊急のお知らせや、警告などの強調したい文字がある時に便利な機能です。



ラベルのプロパティウィンドウから「文字色」「背景色」と共に「文字点滅色」「背景点滅色」を設定します。

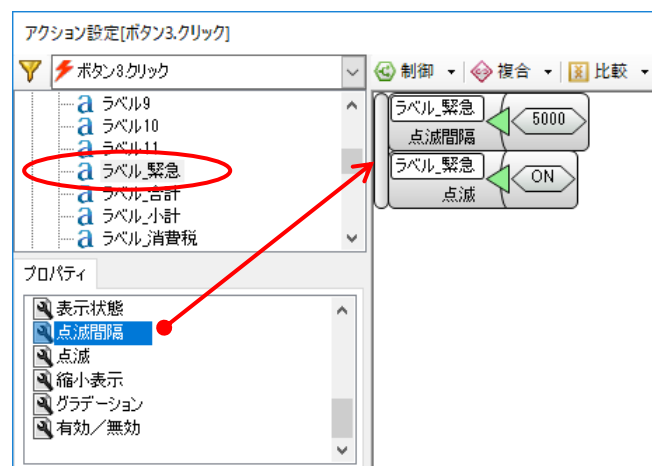
表示	
テキスト	緊急
フォント	メイリオ, 14.25pt, style=Bold
文字色	255, 224, 0
文字点滅色	0, 102, 204
背景色	0, 102, 204
背景点滅色	255, 224, 0

「点滅」プロパティを「ON」にして、点滅間隔を設定します。間隔は 1/1000 秒単位で指定できます。

例：5 秒間隔で点滅

書式	(テキスト)
点滅間隔	5000
点滅	ON
グラデーション	OFF

「点滅」プロパティを「ON」に設定すると、画面を表示時に点滅が開始します。各部品のイベントからも「点滅」「点滅間隔」プロパティを設定できます。



68. Tab キーによる移動順を設定する

画面のレイアウト作成では、Tab キーによるフォーカスの移動順序が指定できます。画面からユーザー操作が可能な部品は、「タブストップ」「タブオーダー」プロパティから動作が設定できます。

社員No	1007
名前	鈴木 太郎
住所 1	愛知県名古屋市
住所 2	
TEL	
生年月日	

テキストやチェックボックス、ボタンなどのプロパティで設定できます。

動作	
タブストップ	有効
タブオーダー	0

フォーカス移動を行うかどうか

フォーカス移動の順番

便利な機能として、ツールバーに「タブオーダーの設定」ボタンがあります。このボタンを使用すると、マウスでクリックした順にタブオーダー設定が可能です。設定ボタンを押下してからタブオーダー順に部品をクリックしていき、最後に再び設定ボタンを押下することにより、簡単にタブオーダーが設定できます。部品数が多い場合に便利です。



社員No	0
名前	1
住所 1	2
住所 2	3
TEL	4
生年月日	5
	戻る
	登録

69. 複数のチェックボックスから一つだけ選択する

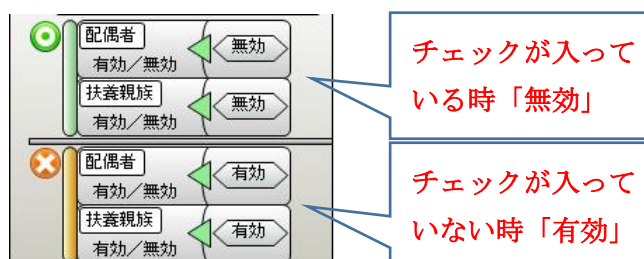
複数あるチェックボックスの中から、1つのチェックボックスのみ選択させます。選択肢から1つ選択するにはラジオボタンやコンボボックスの方が簡単ですが、チェックボックスを使うことで、画面構成の幅が広がります。

☐ 本人	☐ 寡婦	☐ 本人	☐ 一般の障害者
☐ 特別の寡婦	☒ 配偶者	☐ 特別障害者	
☐ 寡夫	☐ 扶養親族	☒ 同居特別障害者	
☐ 勤労学生			

動作の「有効／無効」プロパティを切り替えることで、1つだけ選択させることができます。切り替えはチェックボックスの選択変更イベントで設定します。



「制御」の分岐ブロックを使用して、1つのチェックボックスにチェックが入っている時、他のチェックボックスの「有効／無効」プロパティが「無効」になる設定をします。チェックを外した際は「有効」になるよう分岐ブロックの「×」に処理を設定します。

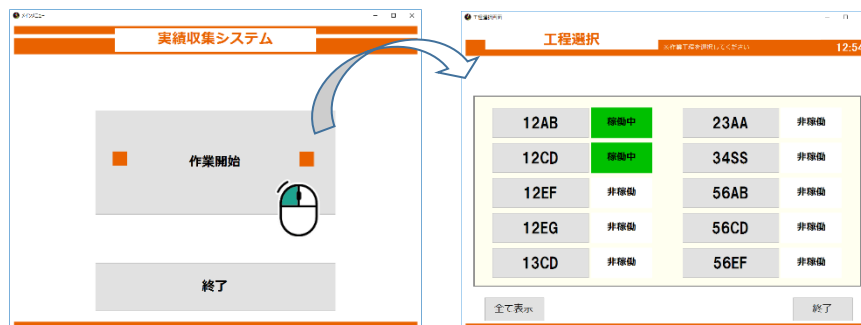


画面切り替え操作

70. ボタンで次の画面に切り替える

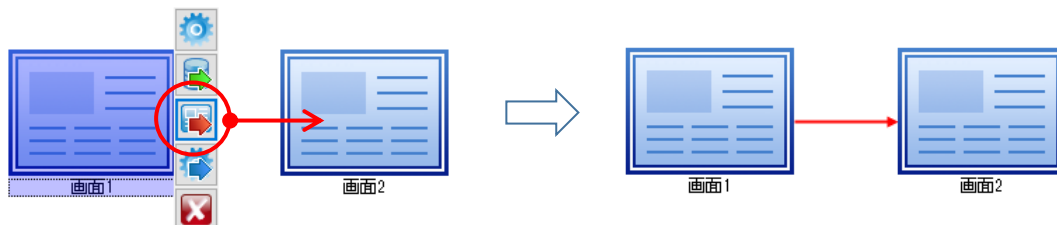
表示している画面から次の画面へ切り替わることを画面遷移といいます。

ボタンの押下で次の画面を表示するには、アクション設定の「画面切り替え」機能を使用します。

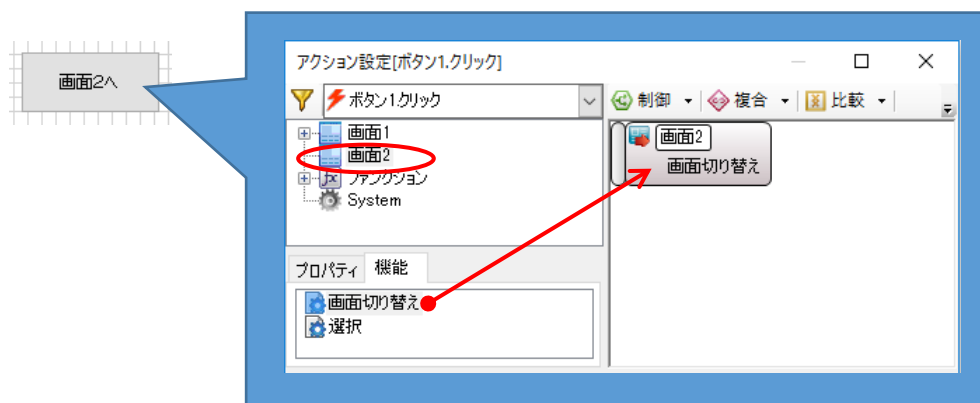


ボタンを押したら次の画面へ切り替わるように動作させるには、ボタンのクリックイベントに画面切り替え動作を設定します。

まずは、オブジェクト関連図上で2つの画面を画面遷移コネクタで接続します。



次に「画面1」に配置したボタンのアクション設定画面を開き、画面切り替えを設定します。



71. 時間経過で次の画面に切り替える

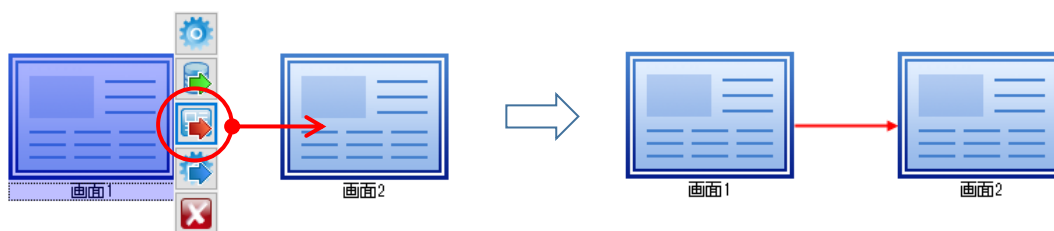
表示している画面から次の画面へ切り替わることを画面遷移といいます。

画面を表示してから一定時間の経過で次の画面を表示させるには、タイマー部品を使用します。



時間の経過は、タイマー部品の「時間経過」プロパティを設定します。

まずは、オブジェクト関連図上で2つの画面を画面遷移コネクタで接続します。



次に「画面1」にタイマーを配置し、「イベント発生間隔」プロパティを設定します。

タイマーの時間経過イベントのアクション設定に、画面切り替えを作成します。

1000 分の 1 秒単位で指定する。
5000 の場合、5 秒後にアクションが実行されます。

動作	
イベント発生間隔	5000
有効/無効	有効

アクション設定[タイマー-時間経過]

タイマー-時間経過

画面1

画面2

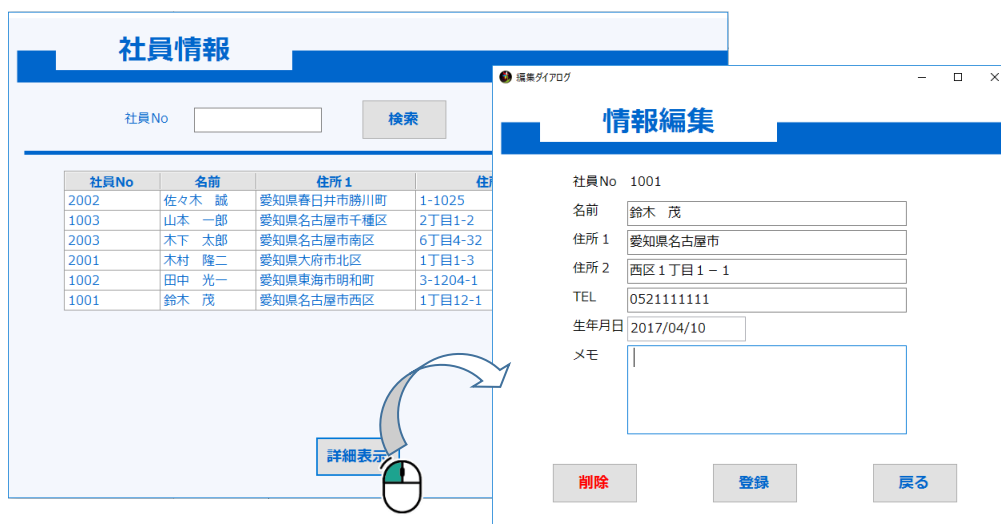
画面切り替え

画面切り替え

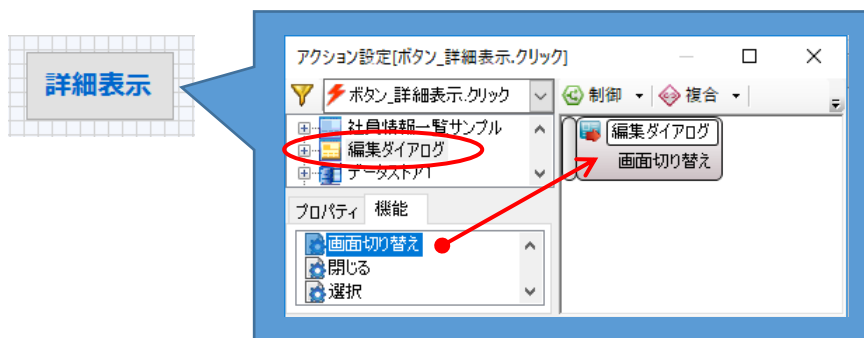
選択

72. ダイアログを表示する

ダイアログとは、画面の上に一時的に表示されるウィンドウです。情報入力や、選択したアイテムの状態を表示する場合に表示します。



オブジェクト関連図にダイアログ部品を配置し、画面からダイアログへ画面遷移コネクタを接続します。画面から画面への遷移と同様に、ダイアログへの画面切り替えをアクションに設定します。



ダイアログの表示位置は、「表示基準位置」「アライメント」プロパティから設定します。初期状態では、元の画面の中央に表示されます。

名称	
名称	編集ダイアログ
位置・サイズ	
位置	0, 0
サイズ	800, 600
表示基準位置	画面
アライメント	中央



画面間の遷移と異なり、切り替え元の画面の上に表示されます。不要になった場合、「閉じる」機能でダイアログを閉じてください。

73. ダイアログを閉じる

ダイアログは、画面の上に表示する画面です。画面同士の切り替えとは異なり、ダイアログが不要になった場合はユーザー操作により閉じる処理が必要です。

社員情報

社員No 1001

名前 鈴木 茂

住所1 愛知県名古屋市

住所2 西区1丁目1-1

TEL 0521111111

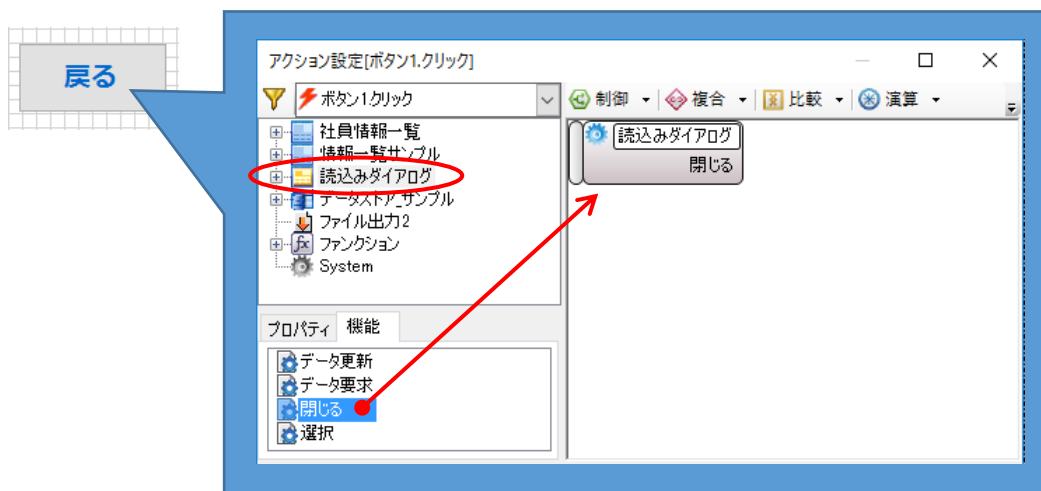
生年月日 2017/04/10

メモ

削除 登録 戻る

詳細表示

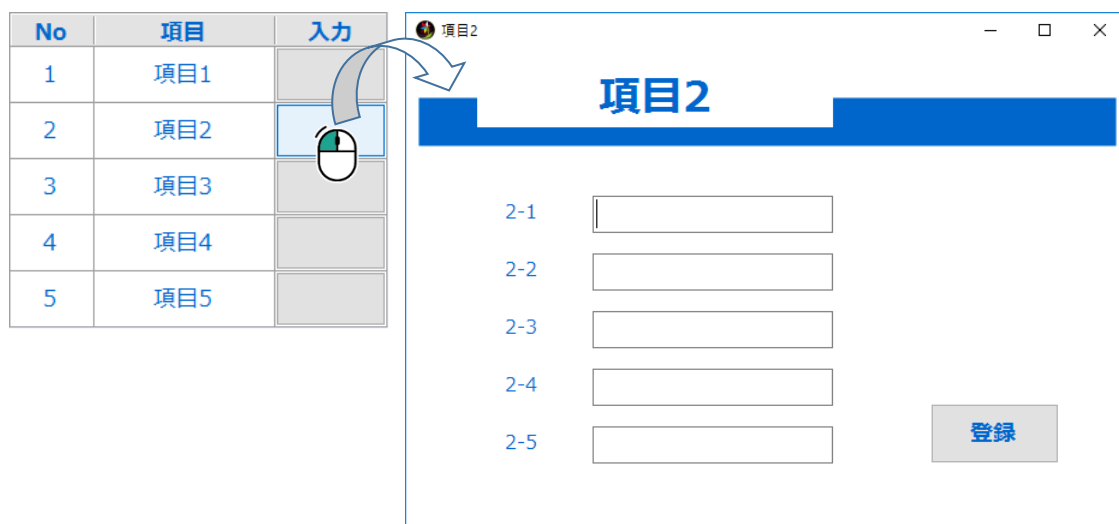
ダイアログに閉じる用のボタン部品を配置して、アクションを設定します。



ダイアログのタイトルバーの「閉じるボタン」でも、ダイアログを閉じることができます。

74. リストのボタンからダイアログを表示する。

リストの列にボタンを表示し、別の画面に切り替えることや、ダイアログを表示することができます。



クリックしたボタンと同じ行に表示中のデータを編集するダイアログを表示させます。

列の「編集タイプ」プロパティを「ボタン」に設定し、リストのセルクリックイベントにアクション設定をします。



75. 他の画面へデータを渡す

表示中の画面から次に表示する画面へデータを渡す場合、データボックスを利用すると便利です。一覧表示画面から詳細表示画面（ダイアログ）へ社員 No などの情報を渡し、その社員 No を検索条件として詳細を表示することができます。

社員No	名前	住所1	住所2	TEL
1001	木村 隆一	愛知県大府市		052-833-1234
1002	田中 光一	愛知県東海市		
1003	木下 太郎	愛知県名古屋市		
1004	鈴木 茂	愛知県名古屋市		
1005	佐々木 誠	愛知県春日井市		
1006	山本 一郎	愛知県名古屋市		

情報編集

社員No 1002

名前

住所1

住所2

事前にリストで選択中の「社員 No.」をデータボックスに保持するように設定しておきます。

例えば、詳細表示ボタンを押下して詳細表示用のダイアログを表示させる場合、画面のデータボックスからダイアログのデータボックスへ「社員 No.」を渡すようにアクション設定をします。

詳細表示

アクション設定[ボタン_詳細表示.クリック]

ボタン_詳細表示.クリック

画面_直線1

データボックス1

データストア1

編集ダイアログデータボックス1

社員No

データボックス1

社員No

編集ダイアログ

画面切り替え

プロパティ 機能

社員No

有効/無効



一覧から詳細表示を行うような場合、社員 No のようなデータのキーとなる情報のみ渡すことで、切り替え先で表示するデータは検索等で抽出できます。

アクション設定

全て選択(A) Ctrl+A

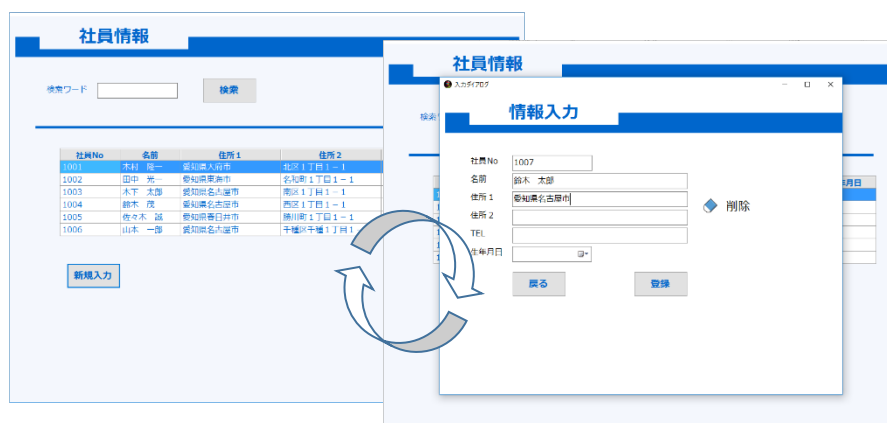
初期化

データストア1.社員No検索

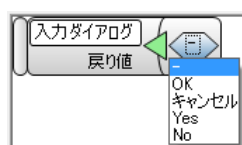
実行

76. ダイアログの戻り値で表示を更新する

ダイアログを閉じる時、戻り先の画面に戻り値を渡すことができます。一覧表示から入力ダイアログを表示し、データを追加・更新した場合、表示内容の更新が必要です。

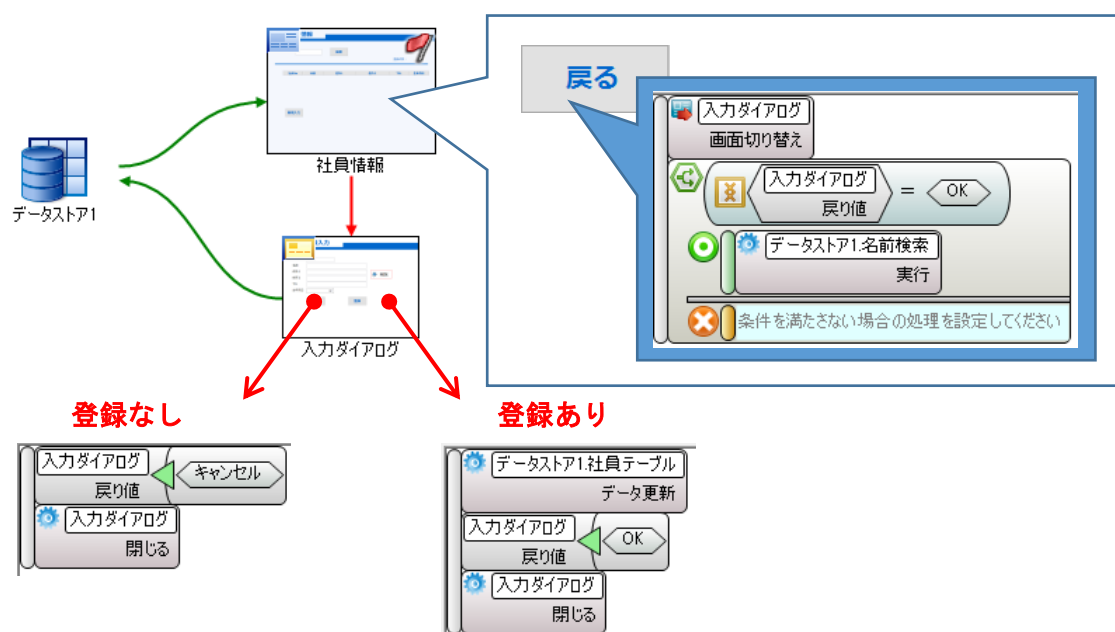


戻り値に指定できる値は、「OK」「キャンセル」「YES」「NO」の4種類です。



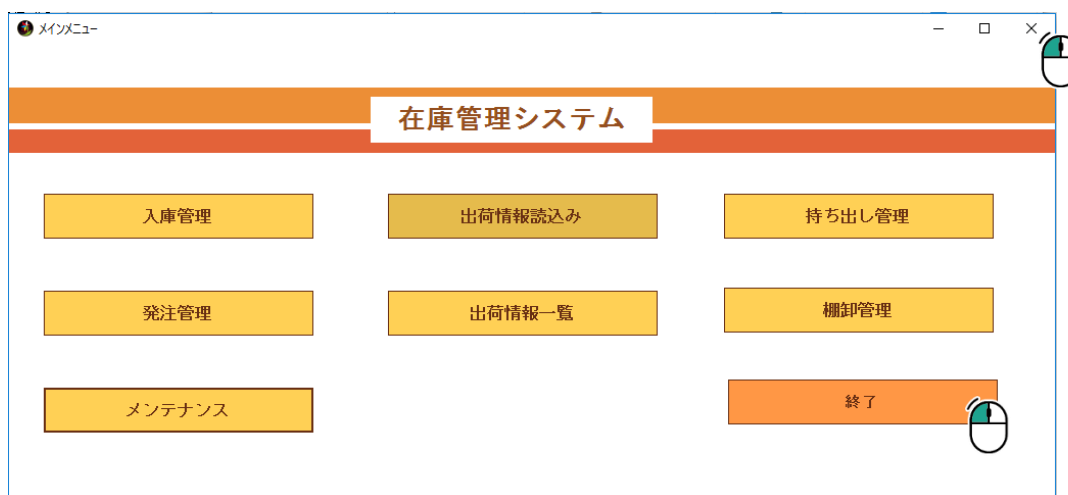
この4種類以外の値を渡したい場合はデータボックスを利用してください。

「戻り値」を設定した後、ダイアログを閉じると、ダイアログへ画面切り替えしたアクションに戻ります。ダイアログの「画面切り替え」後に、「戻り値」をチェックするアクションを設定してください。



77. アプリケーションを終了する

起動中のアプリケーションを終了させるには、タイトルバーの「×」（閉じるボタン）を押下する方法と、画面に配置したボタンから終了する方法があります。

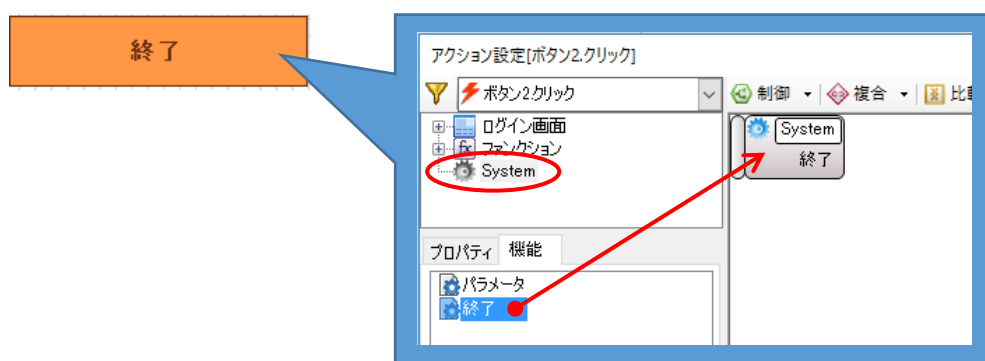


「閉じるボタン」は表示／非表示の設定が可能です。

表示	
タイトル	メインメニュー
背景色	White
背景画像	
背景画像レイアウト	並べて表示
タイトルバー表示	表示
閉じるボタン	表示

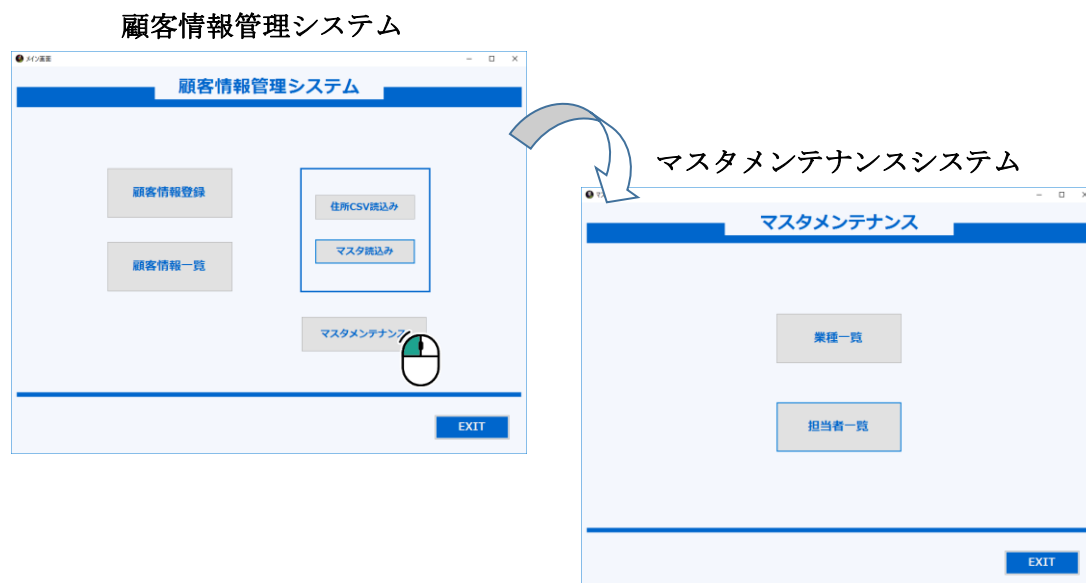
タイトルバーを非表示にすると、
閉じるボタンも表示されません。

アクションは下図のように設定します。ボタンで終了する場合は、閉じるボタンを非表示にしておくとい良いでしょう。

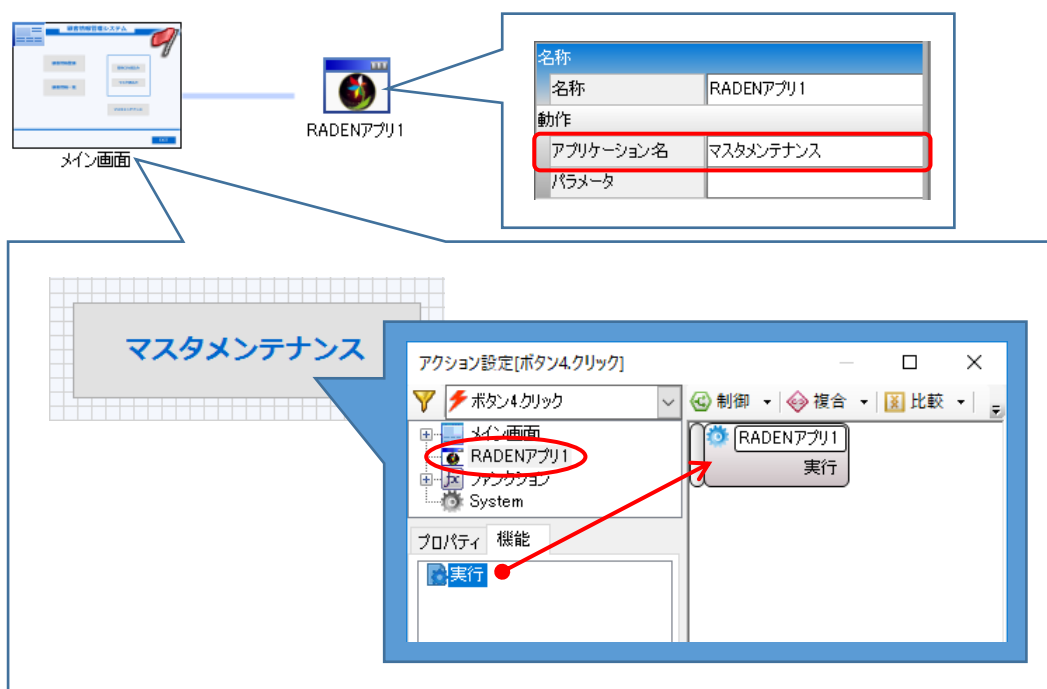


78. 別の RADEN アプリケーションを呼び出す

RADEN アプリケーションから別の RADEN アプリケーションを開くことができます。いくつかのアプリケーションを複合させたシステムを作成する場合、部品パレットの「モジュール」から「RADEN アプリ」部品を使って別のアプリケーションを呼び出します。



画面と RADEN アプリを参照コネクタで繋ぎ、「アプリケーション名」プロパティを設定します。呼び出すアプリケーションは、事前にプレーヤーに登録する必要があります。画面に RADEN アプリの「実行」機能呼び出すアクションを作成します。



79. RADEN 以外の実行ファイルを読み出す

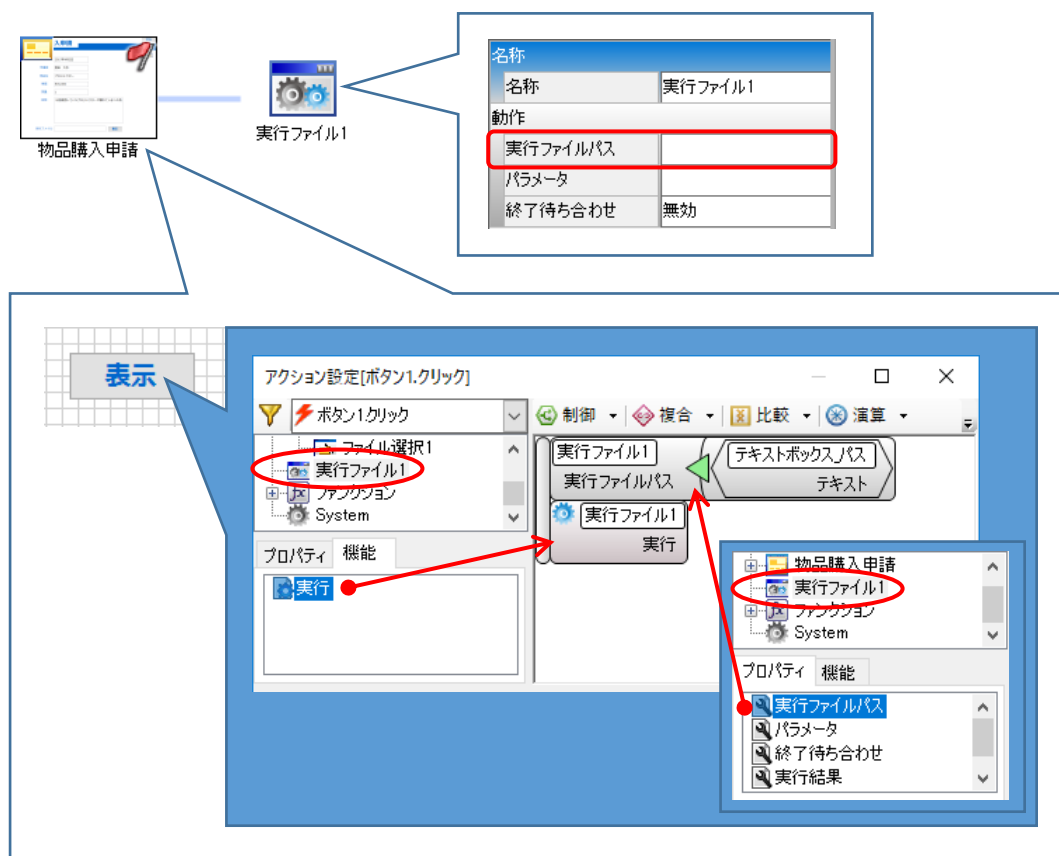
RADEN では、外部の実行ファイル、例えば Word や Excel、PDF などのファイルを開くことができます。

部品パレットの「モジュール」から「実行ファイル」部品を使って呼び出します。



画面と実行ファイルを参照コネクタで繋ぎ、「実行ファイルパス」プロパティを設定します。パスが固定でない場合は、アクションで設定することもできます。

画面に実行ファイルの「実行」機能を読み出すアクションを作成します。



ファイル入力／出力

80. CSV ファイルからデータを読み込む

カンマで値を区切った CSV 形式のファイルから RADEN ヘデータを読み込みます。

	0	1	2	3	4	5	6
1	社員No	名前	住所 1	住所 2	TEL		
2	1001	木村 隆一	愛知県大府市, 北区 1 丁目 1 - 1	0524444444			
3	1002	田中 光一	愛知県東海市, 名和町 1 丁目 1 - 1	0522222222			
4	1003	木下 太郎	愛知県名古屋市, 南区 1 丁目 1 - 1	0526666666			
5	1004	鈴木 茂	愛知県名古屋市, 西区 1 丁目 1 - 1	0521111111			
6	1005	佐々木 誠	愛知県春日井市, 勝川町 1 丁目 1 - 1	0525555555			
7	1006	山本 一郎	愛知県名古屋市, 千種区 千種 1 丁目 1 - 1	0523333333			

CSV ファイルからデータを読み込む場合、ファイル入力部品に対象ファイルの設定を行います。読み込み対象のファイル名やデータ項目の設定が必要です。

ファイル入力のデータ項目を追加し、列番号を設定します。ファイル入力部品に設定したデータ項目は、データリンク設定時に使用します。

項目名を入力し、列番号を設定する

ファイル入力1

名称

名称

ファイル入力1

動作

ファイル名

syain.csv

文字コードセット

日本語 (シフト JIS)

入力設定

タイトル行を無視

有効

データ更新方法

追加・更新

入力監視

無効

読み込み後削除

無効

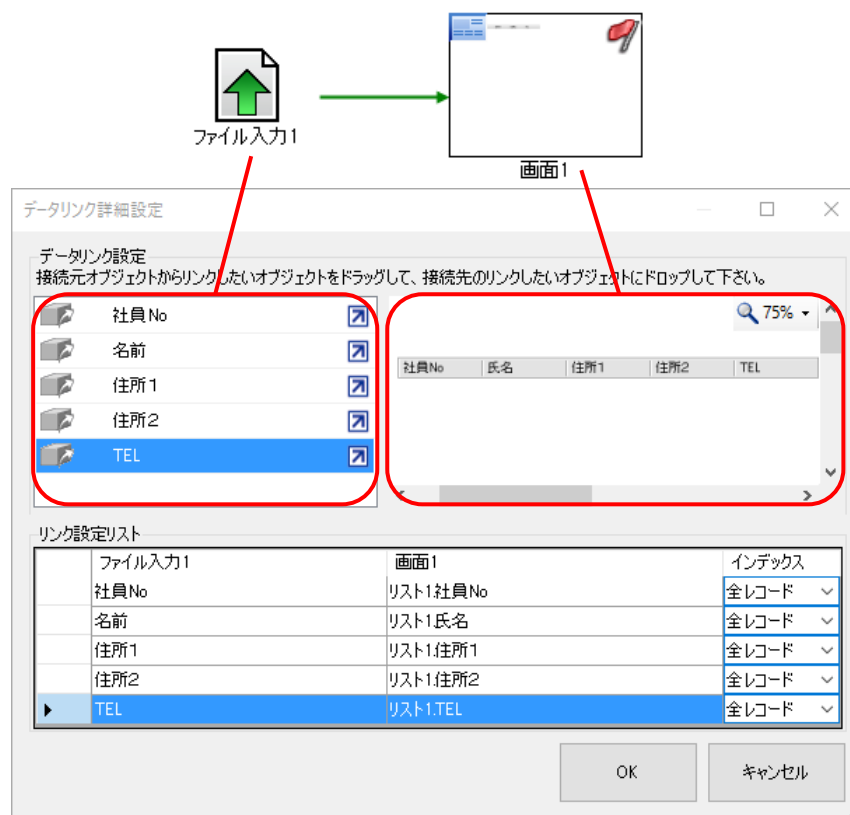
項目名	列番号
社員No	1
名前	2
住所1	3
住所2	4
TEL	5

タイトル行

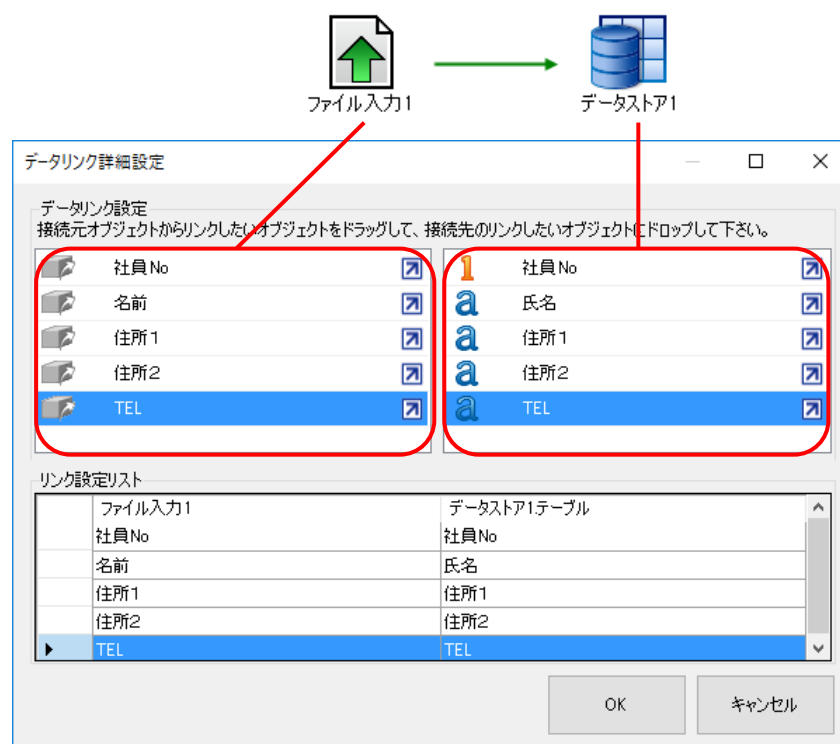
	0	1	2	3	4	5	6
1	社員No	名前	住所 1	住所 2	TEL		
2	1001	木村 隆一	愛知県大府市, 北区 1 丁目 1 - 1	0524444444			
3	1002	田中 光一	愛知県東海市, 名和町 1 丁目 1 - 1	0522222222			
4	1003	木下 太郎	愛知県名古屋市, 南区 1 丁目 1 - 1	0526666666			
5	1004	鈴木 茂	愛知県名古屋市, 西区 1 丁目 1 - 1	0521111111			
6	1005	佐々木 誠	愛知県春日井市, 勝川町 1 丁目 1 - 1	0525555555			
7	1006	山本 一郎	愛知県名古屋市, 千種区 千種 1 丁目 1 - 1	0523333333			

CSV データにタイトル行が含まれていた場合、「タイトル行を無視」プロパティを「有効」に設定してください。タイトル行を読み飛ばします。

CSV ファイルから画面にデータを読み込む場合、ファイル入力から画面にデータリンクを設定します。



CSV ファイルからテーブルにデータを読み込む場合、ファイル入力からデータストア内のテーブルにデータリンクを設定します。



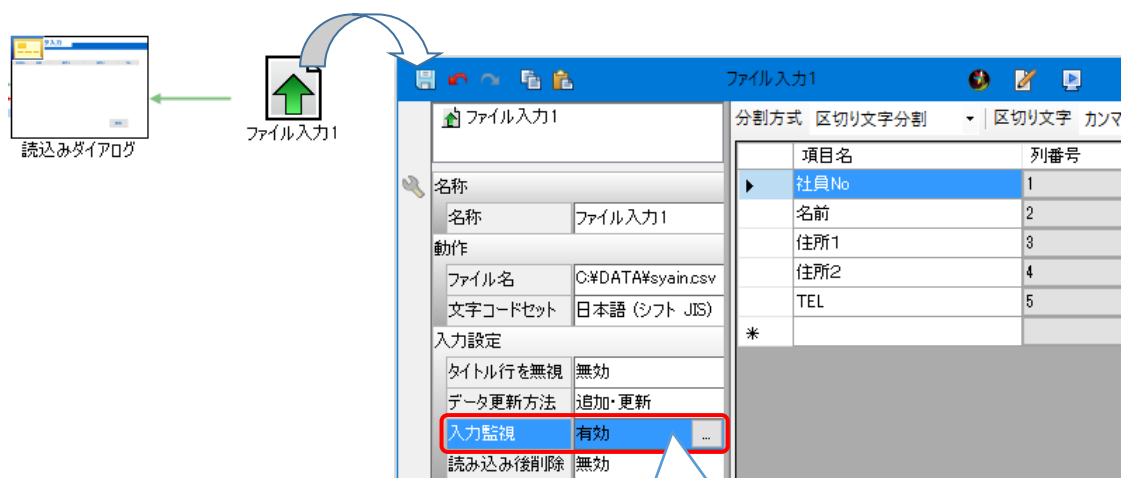
81. CSV ファイルが更新されたらデータを読み込む

CSV 形式のファイルから画面の表にデータを入力することができます。ファイル内のデータを画面へ表示します。表示した内容を確認後、データを保存することができます。



社員No	名前	住所 1	住所
1001	木村 隆一	愛知県大府市	北区 1 丁目 1 -
1002	田中 光一	愛知県東海市	名和町 1 丁目 1 -
1003	木下 太郎	愛知県名古屋市	南区 1 丁目 1 -
1004	鈴木 茂	愛知県名古屋市	西区 1 丁目 1 -

ファイル入力部品にファイル名や項目、列番号など必須事項を設定します。ファイル入力から画面（ダイアログ）へデータリンクコネクタを接続し、データリンクを設定します。画面の初期化アクションから「読み込み」機能呼び出し、画面にデータを表示します。



入力監視が「有効」の場合、データリンク中の画面表示中にファイルのデータが更新されると自動で読み込みます。

「入力監視」プロパティを「有効」に設定しておくことにより、画面表示中にデータリンク先のファイルが更新されたタイミングで画面の表示も更新されます。

82. リストのデータを CSV ファイルに出力する

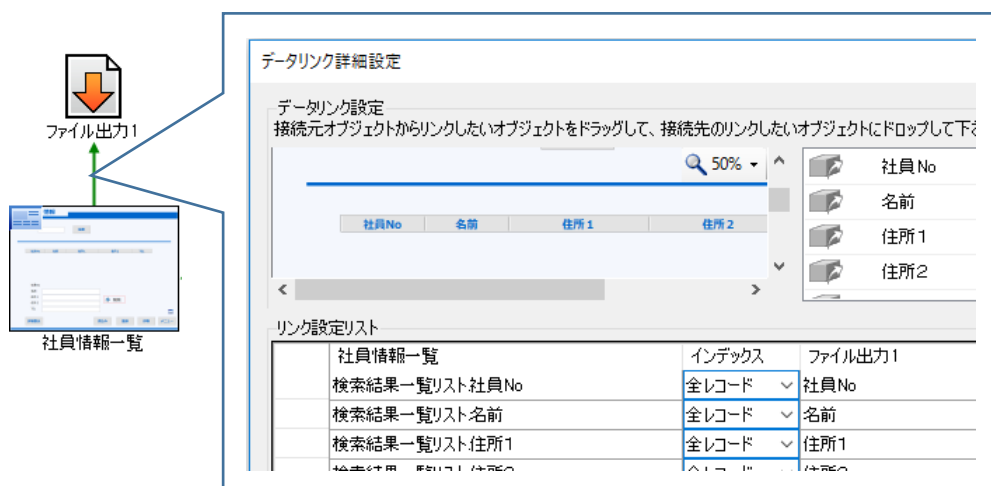
画面に表示中のデータを CSV 形式のファイルに出力します。データをファイルに保存し、移動やバックアップ等に利用することができます。

社員No	名前	住所 1	住所
1001	木村 隆一	愛知県大府市	北区 1 丁目 1 -
1002	田中 光一	愛知県東海市	名和町 1 丁目 :
1003	木下 太郎	愛知県名古屋市	南区 1 丁目 1 -
1004	鈴木 茂	愛知県名古屋市	西区 1 丁目 1 -
1005	佐々木 誠	愛知県春日井市	勝川町 1 丁目 :
1006	山本 一郎	愛知県名古屋市	千種区千種 1 :

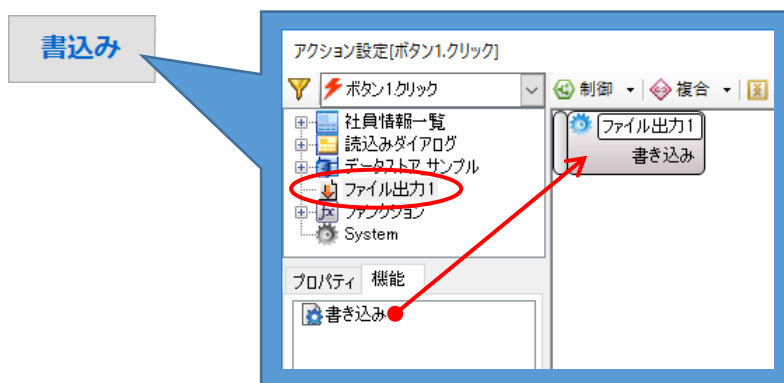
1	社員No,名前,住所 1,住所 2,TEL
2	1001,木村□隆一,愛知県大府市,北区 1 丁目 1 - 1,0524444444
3	1002,田中□光一,愛知県東海市,名和町 1 丁目 1 - 1,0522222222
4	1003,木下□太郎,愛知県名古屋市,南区 1 丁目 1 - 1,0528666666
5	1004,鈴木□茂,愛知県名古屋市,西区 1 丁目 1 - 1,0521111111
6	1005,佐々木□誠,愛知県春日井市,勝川町 1 丁目 1 - 1,0525555555
7	1006,山本□一郎,愛知県名古屋市,千種区千種 1 丁目 1 - 1,0523333333

↓ ファイル出力1

オブジェクト関連図上で画面からファイル出力部品にデータコネクタを接続します。



画面のリスト部品からファイル出力の項目に対してデータリンク設定を行います。最後に、画面の出力ボタン等のクリックアクションからファイル出力の書き込みを呼び出します。



RADEN デザイナー

テクニカル集 画面編

2016年 8月 1日 第1版

2017年 5月 1日 第2版

発 行

株式会社 KIT

〒460-0026

愛知県名古屋市中区伊勢山2丁目11-15 ASビル金山

Copyright (c) 2016 KIT Co.,Ltd. All Rights Reserved.